人 権 意 識 調 査

報 告 書

令和７年３月
北足立郡市町同和対策推進協議会

目次

１．調査の概要 1
１．調査の目的 1
２．調査の方法 1
３．回収結果 1
４．市町別抽出数 2
５．報告書の見方 2

２．回答者の属性 3

３．調査結果の概要 4
１．「人権」全般について 4
２．女性に関する人権について 14
３．子どもに関する人権について 18
４．高齢者に関する人権について 22
５．障害(がい)者に関する人権について 26
６．同和問題(部落差別)について 31
７．外国人に関する人権について 54
８．インターネットによる人権侵害について 59
９．性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権について 63
10．人権問題への取組について 68
11．自由記述 70

４．人権意識調査票 81

１．調査の概要

1. 調査の目的

人権に関する住民の意識を把握することにより、人権尊重の視点に立った施策を総合的かつ効率的に推進するための基礎資料とし、もって「住民一人ひとりの人権が尊重される社会」が実現することを目的とする。

2. 調査の方法

調査対象者	18歳以上の北足立郡内（13市1町）に在住する市町民
対象人数	1,760人
抽出方法	令和6年9月1日時点の住民基本台帳から無作為抽出（人口比に基づき各自治体の抽出数を決定後、年齢構成比、性別比に応じて抽出）
調査方法	郵送による配布、回収 インターネットによる回答、回収 無記名回答
調査期間	令和6年10月1日から10月31日まで
調査内容	1.「人権」全般について 2.女性に関する人権について 3.子どもに関する人権について 4.高齢者に関する人権について 5.障害(がい)者に関する人権について 6.同和問題(部落差別)について 7.外国人に関する人権について 8.インターネットによる人権侵害について 9.性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権について 10.人権問題への取組について 11. 自由記述

3. 回収結果

発送数	回収数	回収率
1,760	580	33.0%

4. 市町別抽出数

さいたま市	700	朝霞市	70
川口市	310	志木市	40
鴻巣市	60	和光市	40
上尾市	120	新座市	90
草加市	130	桶川市	40
蕨市	40	北本市	30
戸田市	70	伊奈町	20
		合計	1,760

5. 報告書の見方

●回収結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第２位で四捨五入したものである。そのため、単数回答（複数の選択肢から１つの選択肢を選ぶ方式）であっても、合計値が100.0%にならない場合がある。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても同様である。

●複数回答（複数の選択肢から２つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢毎の有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。

●図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものである。

●グラフ中にカッコ書きで回答実数を記載する。

●令和元年10月に実施した前回の調査と比較できるものについては、比較して掲載し、5.0ポイント以上の差がある場合については、分析文に記載する。

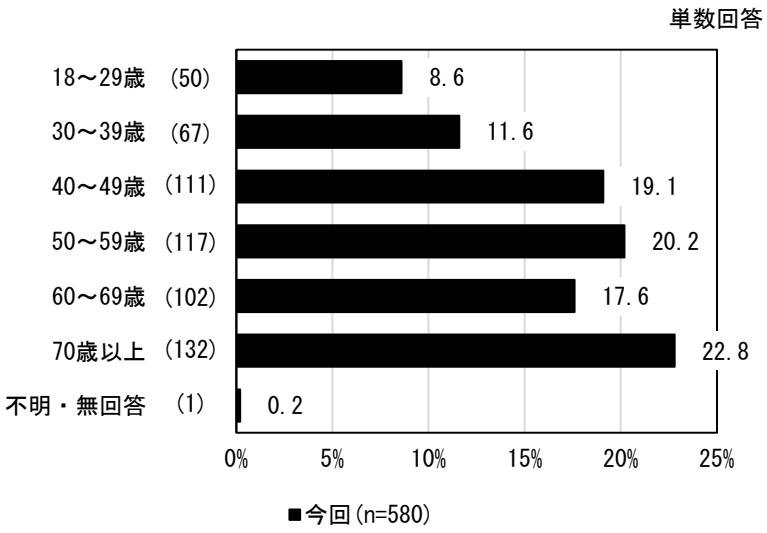
前回調査結果		
発送数	回収数	回収率
2,700	938	34.7%

●表中において、年齢別に見た際に最も高い値を着色にて表記している。

２．回答者の属性

問1　あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

回答者の構成年齢は、「70 歳以上」が 22.8%と最も高く、次いで「50～59 歳」が 20.2%、「40～49 歳」が 19.1%と続いている。



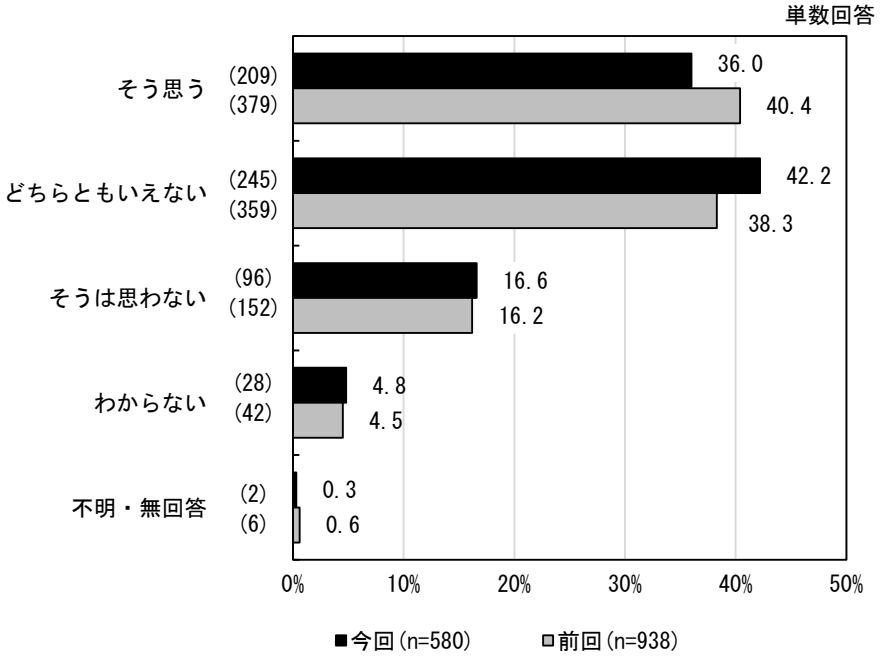
３．調査結果の概要

１．「人権」全般について

問2　今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が 36.0%と、「そうは思わない」の 16.6%を大きく上回っている。また、「どちらともいえない」は 42.2%と最も高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳及び 70 歳以上では「そう思う」が４割台と、他の年代と比べて高くなっている。

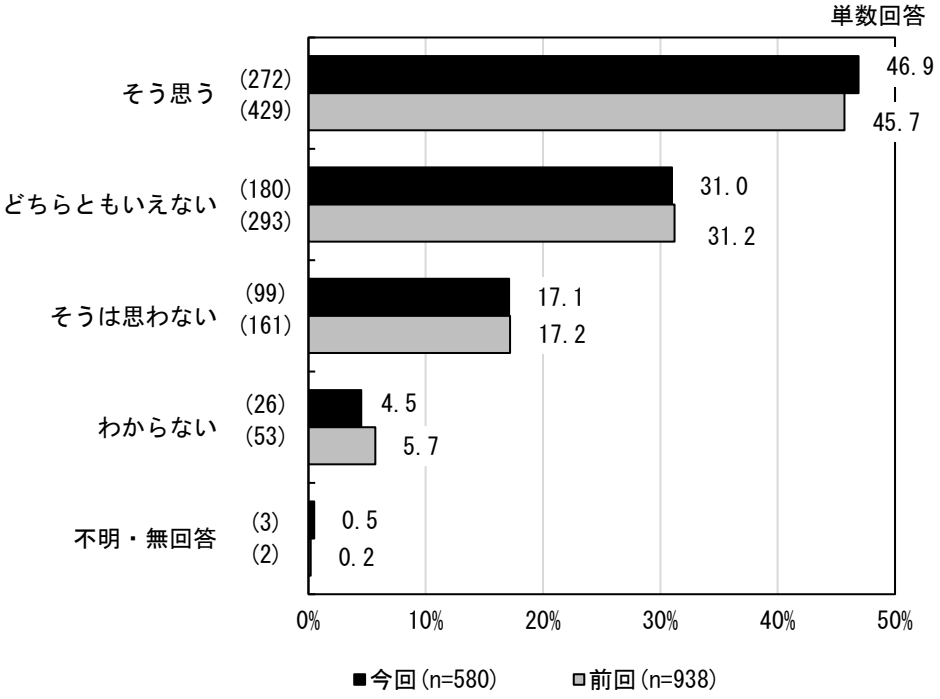
また、「そうは思わない」も、18～29 歳で２割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
そう思う	42.0%	35.8%	32.4%	29.9%	36.3%	42.4%
どちらともいえない	30.0%	41.8%	46.8%	47.9%	45.1%	36.4%
そうは思わない	24.0%	16.4%	16.2%	15.4%	15.7%	15.9%
わからない	4.0%	6.0%	3.6%	6.8%	2.9%	5.3%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%

問3　国民一人ひとりの人権意識は、以前に比べて高くなっていると思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が 46.9%と、「そうは思わない」の 17.1%を大きく上回っている。また、「どちらともいえない」は 31.0%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳以外の年代では「そう思う」が最も高く、４割台から５割台となっている。

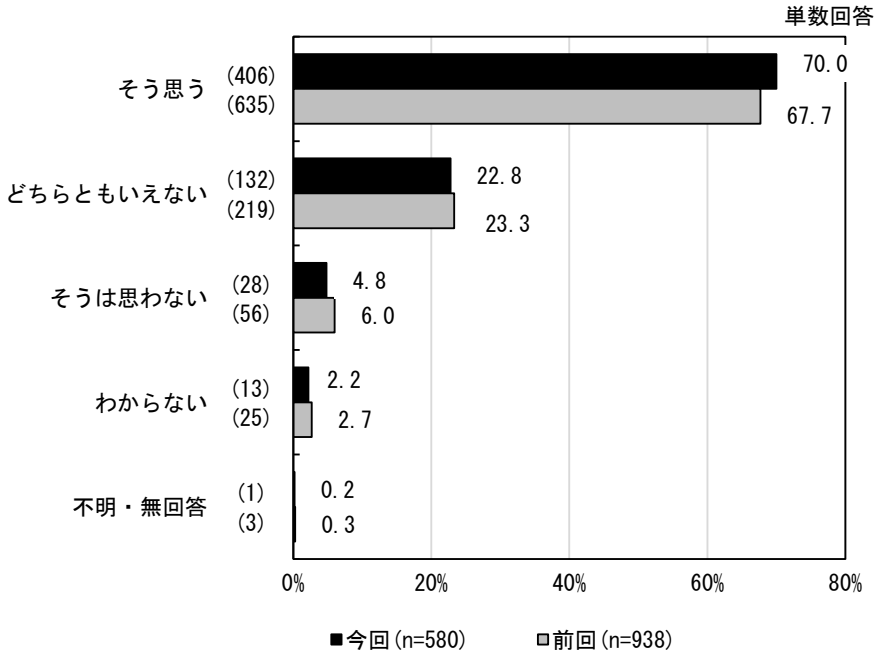
一方で、18～29 歳では「そうは思わない」が３割台と最も高く、他の年代と比べても高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
そう思う	32.0%	58.2%	52.3%	47.9%	47.1%	41.7%
どちらともいえない	26.0%	22.4%	31.5%	29.9%	31.4%	37.9%
そうは思わない	38.0%	14.9%	13.5%	16.2%	15.7%	15.2%
わからない	2.0%	4.5%	1.8%	6.0%	5.9%	5.3%
不明・無回答	2.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%

問4 「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思いますか。次の中から1つお選びください。

「そう思う」が 70.0%と、「そうは思わない」の 4.8%を大きく上回っている。また、「どちらともいえない」は 22.8%となっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「そう思う」が最も高く、６割台から７割台となっている。

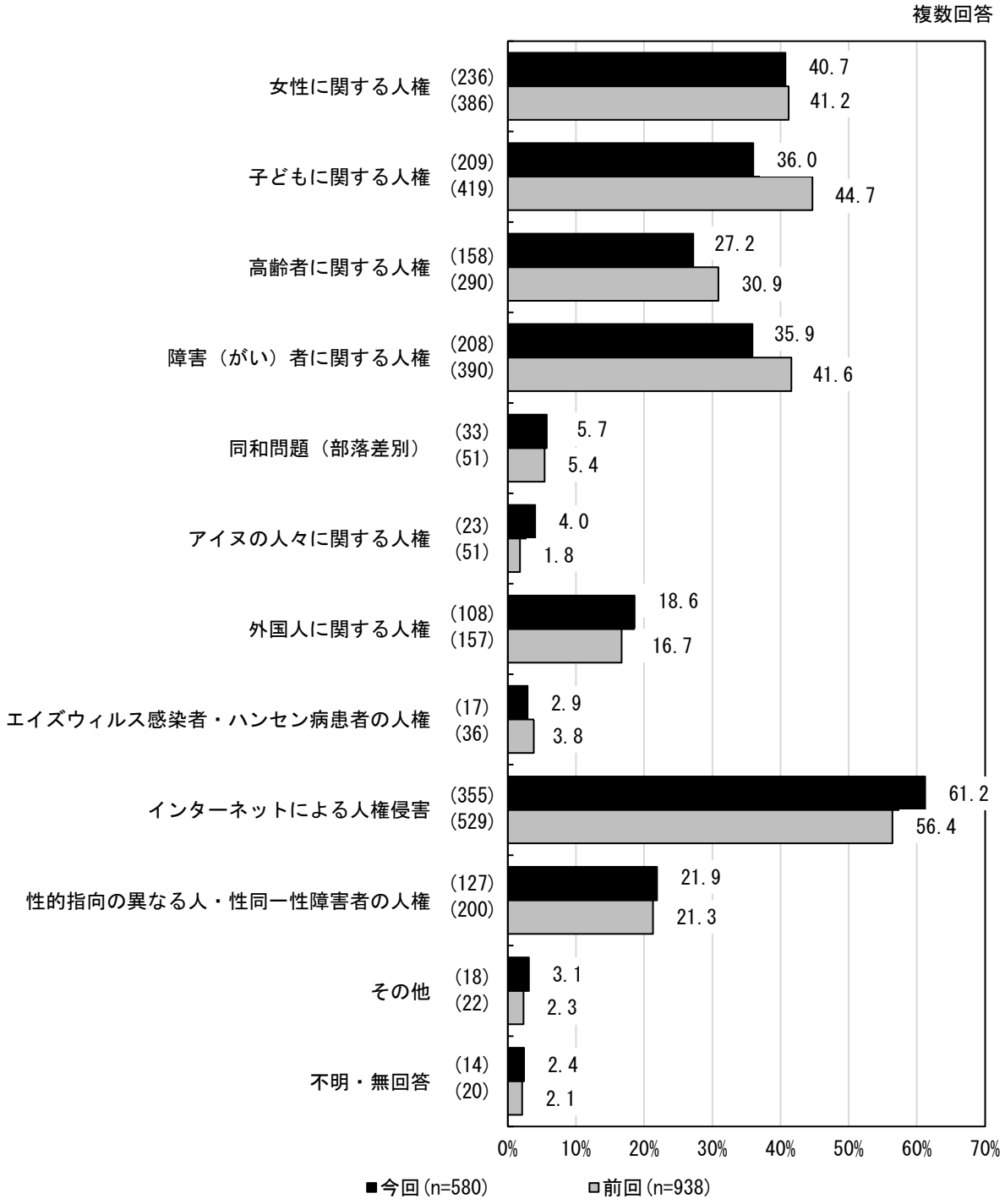
また、30～39 歳では「そうは思わない」が１割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
そう思う	68.0%	61.2%	65.8%	74.4%	78.4%	68.9%
どちらともいえない	26.0%	28.4%	26.1%	17.1%	21.6%	22.0%
そうは思わない	4.0%	10.4%	6.3%	3.4%	0.0%	6.1%
わからない	2.0%	0.0%	1.8%	5.1%	0.0%	3.0%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問5　日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものを次の中から3つまでお選びください。

「インターネットによる人権侵害」が 61.2%と最も高く、次いで「女性に関する人権」が 40.7%、「子どもに関する人権」が 36.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「子どもに関する人権」が 8.7 ポイント、「障害（がい）者に関する人権」が 5.7 ポイント減少している。



【年齢別】

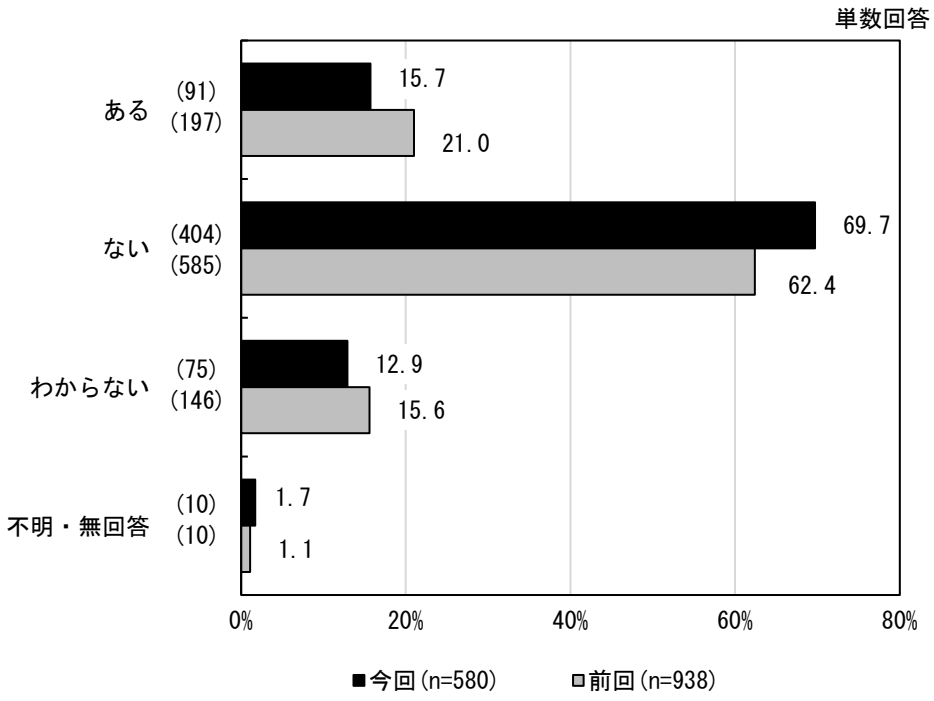
年齢別で見ると、すべての年代で「インターネットによる人権侵害」が最も高く５割台から７割台となっている。

また、「高齢者に関する人権」及び「障害（がい）者に関する人権」については、年代が上がるにつれて増加傾向にある一方、「外国人に関する人権」及び「性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権」については、年代が下がるにつれて増加傾向となっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
女性に関する人権	44.0%	38.8%	42.3%	46.2%	35.3%	37.9%
子どもに関する人権	44.0%	43.3%	43.2%	29.1%	32.4%	32.6%
高齢者に関する人権	12.0%	4.5%	16.2%	22.2%	39.2%	49.2%
障害（がい）者に関する人権	22.0%	26.9%	33.3%	35.9%	46.1%	40.2%
同和問題（部落差別）	6.0%	4.5%	4.5%	6.0%	6.9%	6.1%
アイヌの人々に関する人権	6.0%	3.0%	1.8%	3.4%	7.8%	3.0%
外国人に関する人権	26.0%	31.3%	20.7%	15.4%	13.7%	13.6%
エイズウィルス感染者・ハンセン病患者の人権	4.0%	0.0%	0.9%	2.6%	2.9%	6.1%
インターネットによる人権侵害	52.0%	65.7%	58.6%	70.9%	62.7%	54.5%
性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権	34.0%	29.9%	25.2%	23.9%	18.6%	11.4%
その他	2.0%	3.0%	3.6%	6.8%	0.0%	2.3%
不明・無回答	4.0%	0.0%	0.9%	0.9%	2.0%	6.1%

問6　あなたは、最近（過去5年間）、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。次の中から1つお選びください。

「ない」が 69.7%と、「ある」の 15.7%と比べて高くなっている。
前回調査と比較すると、「ない」が 7.3 ポイント増加、「ある」が 5.3 ポイント減少している。



【年齢別】

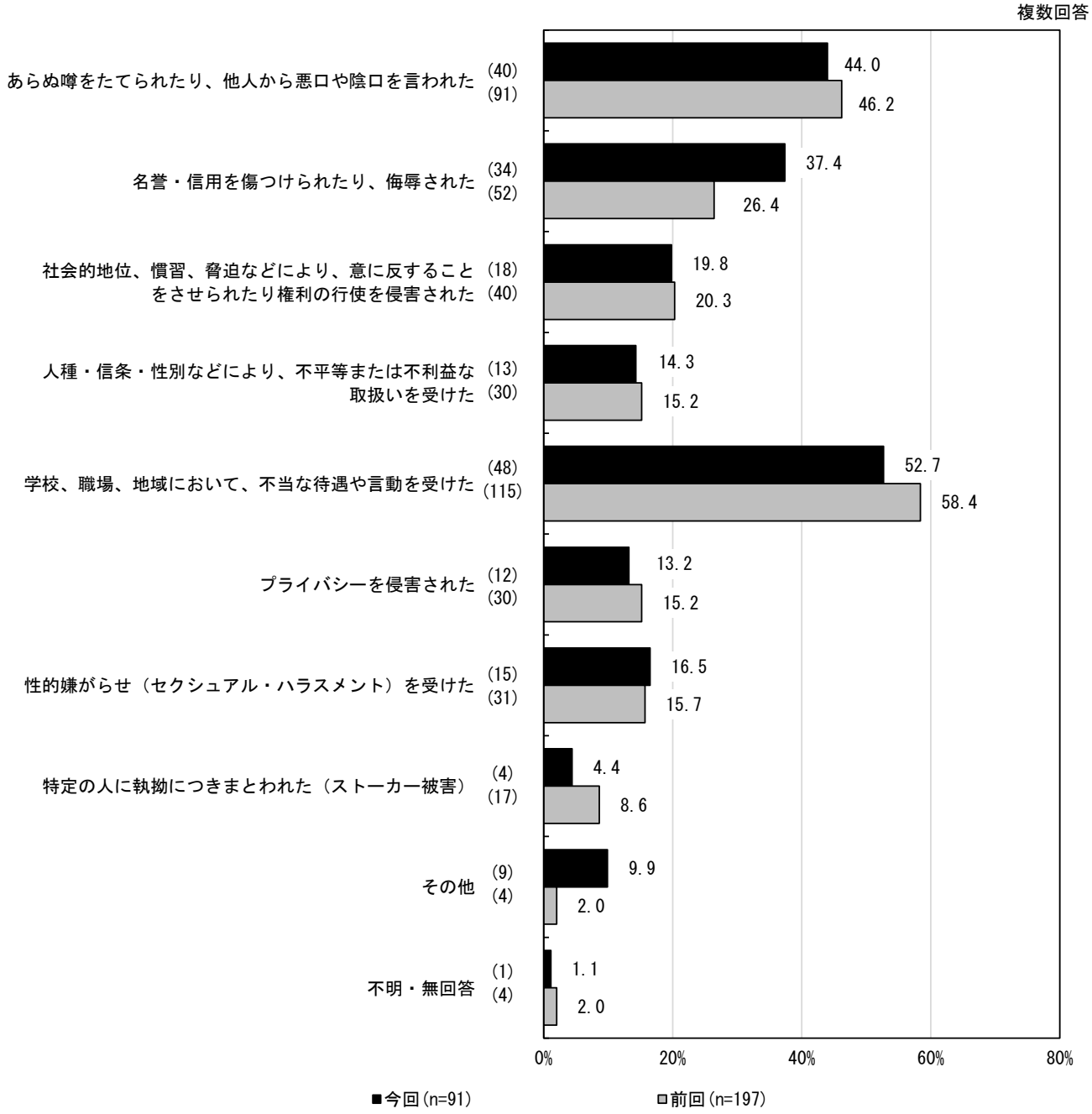
年齢別で見ると、すべての年代で「ない」が最も高く、特に 70 歳以上では 80.3%となっている。
一方で、18～29 歳では「ある」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
ある	30.0%	19.4%	25.2%	16.2%	7.8%	6.1%
ない	56.0%	64.2%	61.3%	70.1%	74.5%	80.3%
わからない	14.0%	16.4%	12.6%	12.8%	14.7%	9.8%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	2.9%	3.8%

【問6で「ある」と回答した方におたずねします。】
問7　どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が 52.7%と最も高く、次いで「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」が 44.0%、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が 37.4%と続いている。

前回調査と比較すると、「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」が 11.0 ポイント増加、「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」が 5.7 ポイント減少している。



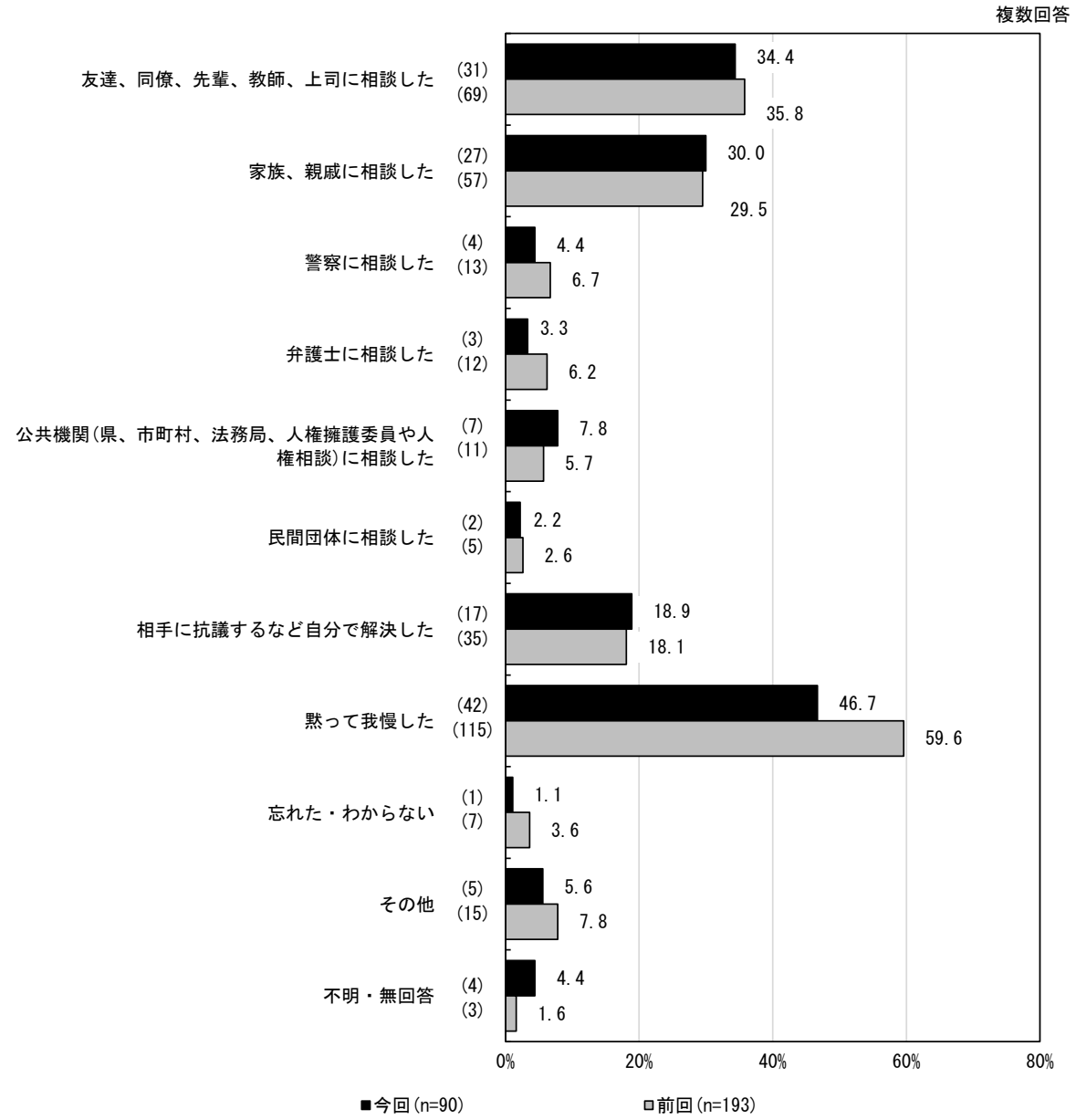
【年齢別】

年齢別で見ると、18～39 歳及び 50～59 歳で「学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた」、40～49 歳で「あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた」、60～69 歳で「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」、70 歳以上で「名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された」及び「社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された」が最も高くなっている

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	15人	13人	28人	19人	8人	8人
あらぬ噂をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた	46.7%	38.5%	50.0%	42.1%	37.5%	37.5%
名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された	26.7%	30.8%	25.0%	57.9%	50.0%	50.0%
社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された	33.3%	15.4%	7.1%	15.8%	25.0%	50.0%
人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた	13.3%	7.7%	14.3%	26.3%	12.5%	0.0%
学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた	53.3%	76.9%	46.4%	73.7%	25.0%	12.5%
プライバシーを侵害された	6.7%	15.4%	14.3%	10.5%	0.0%	37.5%
性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	20.0%	38.5%	7.1%	21.1%	12.5%	0.0%
特定の人に執拗につきまとわれた（ストーカー被害）	6.7%	0.0%	3.6%	10.5%	0.0%	0.0%
その他	6.7%	15.4%	7.1%	10.5%	25.0%	0.0%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%

【問7に回答した方におたずねします。】
問8　その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

「黙って我慢した」が 46.7%と最も高く、次いで「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」が 34.4%、「家族、親戚に相談した」が 30.0%と続いている。
前回調査と比較すると、「黙って我慢した」が 12.9 ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「家族、親戚に相談した」及び「黙って我慢した」、30～39 歳では「友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した」及び「黙って我慢した」、40～59 歳では「黙って我慢した」、60～69 歳では「家族、親戚に相談した」、70 歳以上では「相手に抗議するなど自分で解決した」が最も高くなっている。

また、70 歳以上では「相手に抗議するなど自分で解決した」が６割台と、他の年代と比べて高くなっている。

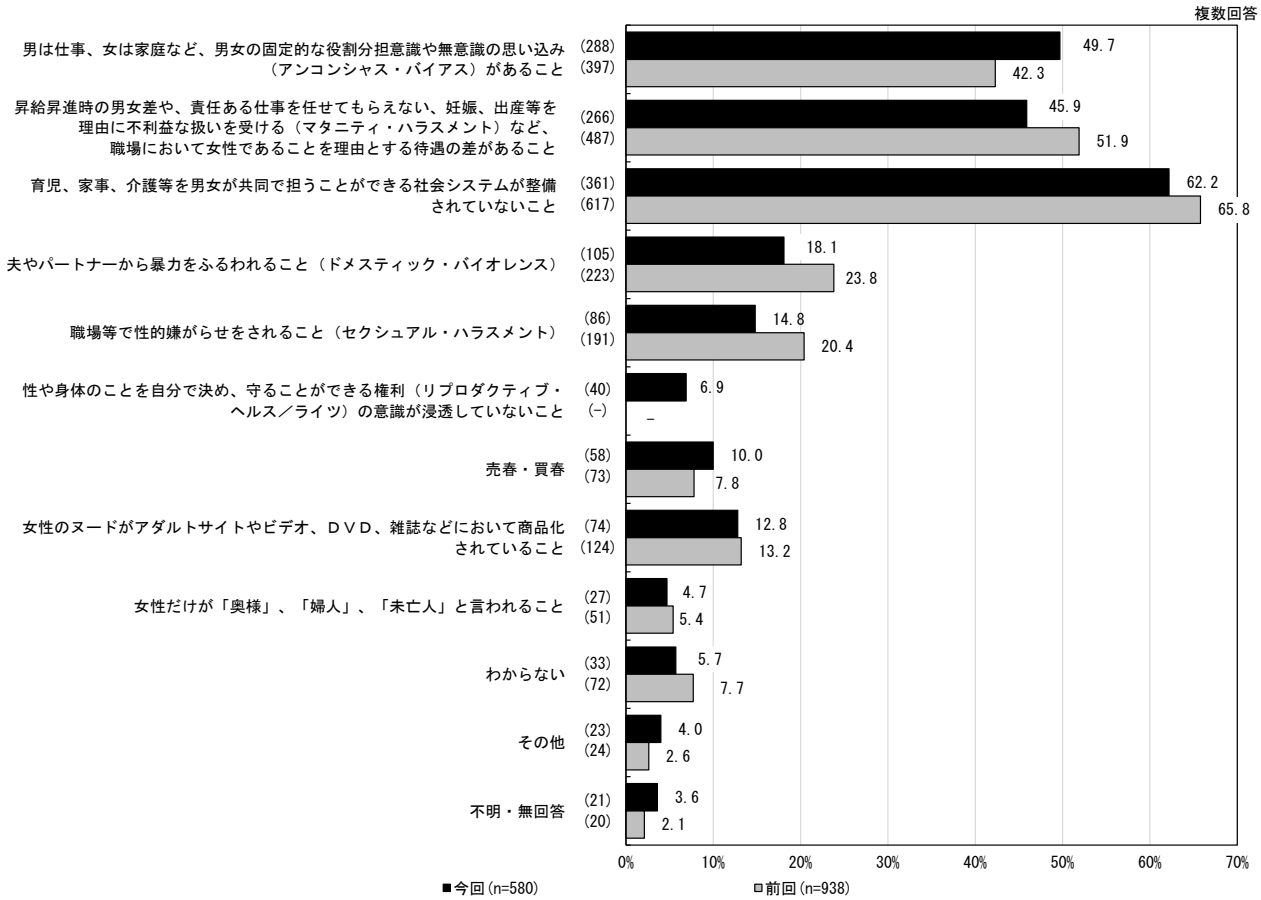
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	13人	10人	25人	16人	8人	8人
友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した	33.3%	38.5%	44.4%	31.6%	25.0%	12.5%
家族、親戚に相談した	53.3%	7.7%	25.9%	31.6%	62.5%	0.0%
警察に相談した	0.0%	0.0%	3.7%	15.8%	0.0%	0.0%
弁護士に相談した	0.0%	0.0%	3.7%	5.3%	12.5%	0.0%
公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した	6.7%	7.7%	3.7%	15.8%	0.0%	12.5%
民間団体に相談した	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	0.0%	0.0%
相手に抗議するなど自分で解決した	6.7%	15.4%	14.8%	21.1%	12.5%	62.5%
黙って我慢した	53.3%	38.5%	63.0%	36.8%	37.5%	25.0%
忘れた・わからない	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
その他	0.0%	15.4%	0.0%	10.5%	12.5%	0.0%
不明・無回答	0.0%	7.7%	0.0%	10.5%	0.0%	12.5%

2．女性に関する人権について

問9　女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が62.2%と最も高く、次いで「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）があること」が 49.7%、「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場において女性であることを理由とする待遇の差があること」が 45.9%と続いている。

前回調査と比較すると、「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）があること」が 7.4 ポイント増加、「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場において女性であることを理由とする待遇の差があること」が 6.0 ポイント減少、「夫やパートナーから暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）」が 5.7 ポイント減少、「職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）」が 5.6 ポイント減少している。



※「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）があること」の選択肢は、前回は「男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識があること」となっている。また、「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場において女性であることを理由とする待遇の差があること」の選択肢は、前回は「昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場における待遇が違うこと」となっている。さらに、「性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）の意識が浸透していないこと」の選択肢は、今回より新たに追加した選択肢となっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと」が最も高くなっている。

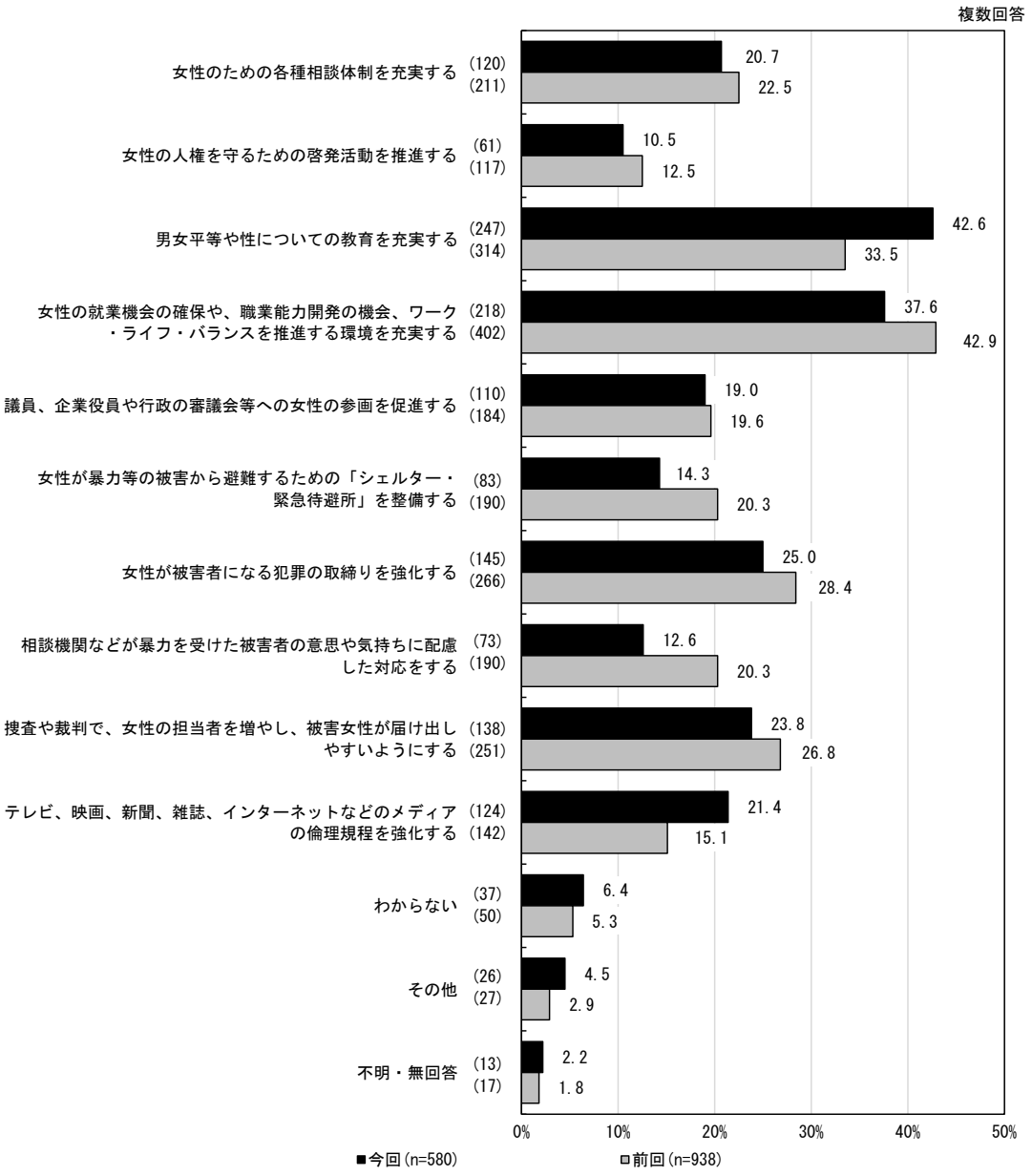
また、18～29 歳では「売春・買春」が２割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）があること	52.0%	58.2%	40.5%	52.1%	49.0%	50.0%
昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場において女性であることを理由とする待遇の差があること	46.0%	40.3%	41.4%	41.0%	53.9%	50.8%
育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと	64.0%	64.2%	57.7%	63.2%	64.7%	61.4%
夫やパートナーから暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）	16.0%	10.4%	18.0%	16.2%	26.5%	18.2%
職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）	18.0%	14.9%	18.0%	8.5%	16.7%	15.2%
性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）の意識が浸透していないこと	12.0%	10.4%	2.7%	8.5%	6.9%	5.3%
売春・買春	20.0%	3.0%	8.1%	11.1%	10.8%	9.8%
女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、ＤＶＤ、雑誌などにおいて商品化されていること	12.0%	6.0%	8.1%	13.7%	15.7%	16.7%
女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること	0.0%	6.0%	6.3%	5.1%	4.9%	3.8%
わからない	0.0%	7.5%	5.4%	4.3%	5.9%	8.3%
その他	4.0%	9.0%	10.8%	1.7%	1.0%	0.0%
不明・無回答	2.0%	4.5%	2.7%	1.7%	2.0%	7.6%

問 10　女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「男女平等や性についての教育を充実する」が 42.6%と最も高く、次いで「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」が 37.6%、「女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する」が 25.0%と続いている。

前回調査と比較すると、「男女平等や性についての教育を充実する」が 9.1 ポイント増加、「テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規定を強化する」が 6.3 ポイント増加、「相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする」が 7.7 ポイント減少、「女性が暴力等の被害から避難するための『シェルター・緊急避難所』を整備する」が 6.0 ポイント減少、「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」が 5.3 ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、30～39 歳及び 70 歳以上では「女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する」、それ以外の年代では「男女平等や性についての教育を充実する」が最も高くなっている。

また、60 歳以上では「捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている

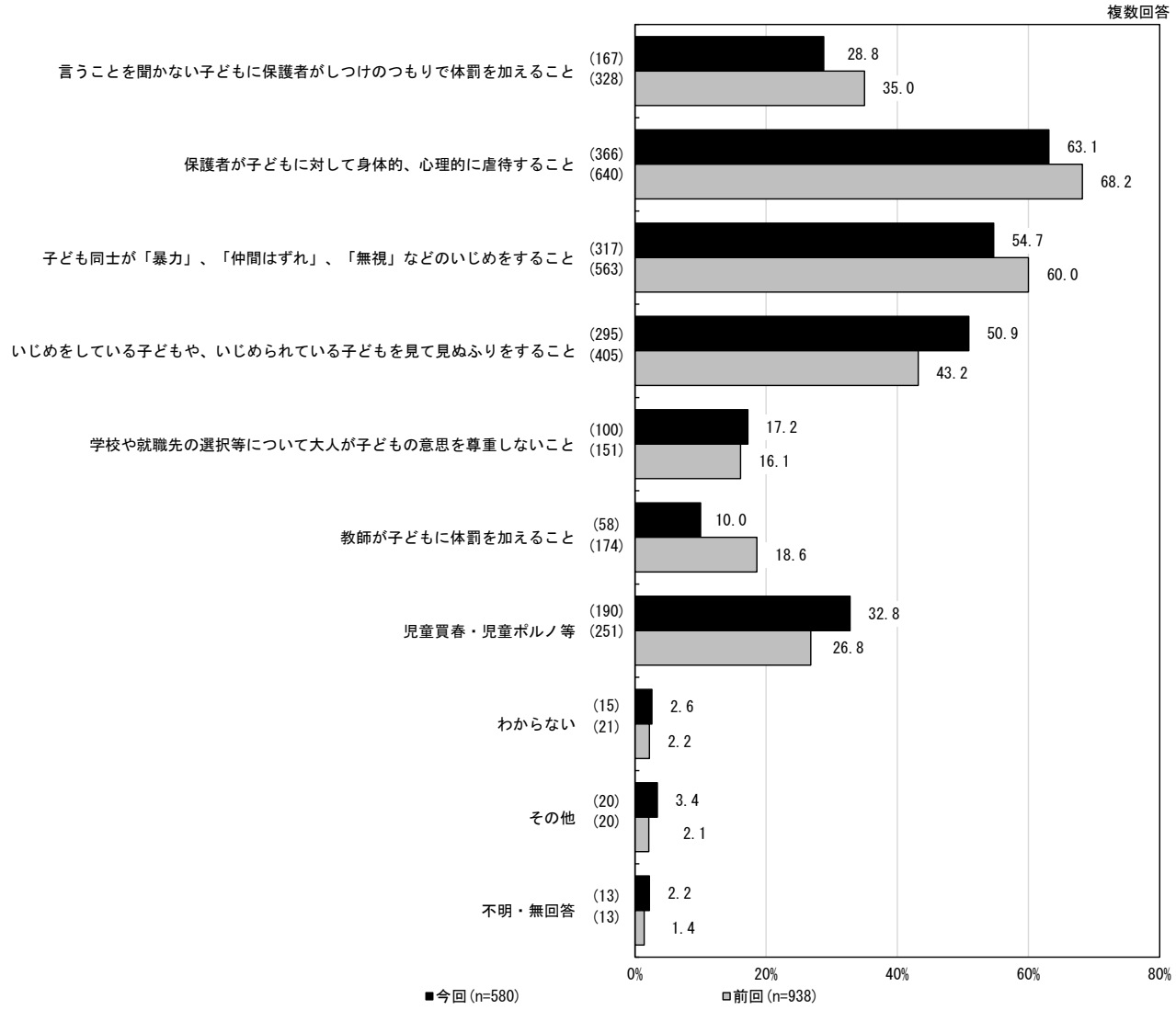
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
女性のための各種相談体制を充実する	20.0%	14.9%	11.7%	19.7%	24.5%	29.5%
女性の人権を守るための啓発活動を推進する	2.0%	9.0%	5.4%	9.4%	12.7%	17.4%
男女平等や性についての教育を充実する	58.0%	47.8%	42.3%	42.7%	44.1%	33.3%
女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する	38.0%	55.2%	33.3%	35.0%	38.2%	34.1%
議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する	18.0%	10.4%	18.9%	19.7%	23.5%	18.9%
女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する	16.0%	11.9%	9.0%	15.4%	12.7%	19.7%
女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する	22.0%	22.4%	27.9%	23.1%	29.4%	22.7%
相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする	18.0%	13.4%	13.5%	10.3%	10.8%	12.9%
捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする	20.0%	13.4%	20.7%	18.8%	30.4%	32.6%
テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する	16.0%	16.4%	18.0%	25.6%	19.6%	26.5%
わからない	2.0%	9.0%	6.3%	7.7%	4.9%	6.8%
その他	6.0%	3.0%	9.0%	8.5%	1.0%	0.0%
不明・無回答	2.0%	0.0%	1.8%	1.7%	2.0%	4.5%

3．子どもに関する人権について

問11　子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が 63.1%と最も高く、次いで「子ども同士が『暴力』、『仲間はずれ』、『無視』などのいじめをすること」が 54.7%、「いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをすること」が 50.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをすること」が 7.7 ポイント増加、「児童買春・児童ポルノ等」が 6.0 ポイント増加、「教師が子どもに体罰を加えること」が 8.6 ポイント減少、「言うことを聞かない子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること」が 6.2 ポイント減少、「子ども同士が『暴力』、『仲間はずれ』、『無視』などのいじめをすること」が 5.3 ポイント減少、「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が 5.1 ポイント減少している。



※「いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをすること」の選択肢は、前回は「いじめをしている人や、いじめられている人を見て見ぬふりをすること」となっている。

【年齢別】

年齢別で見ると、70 歳以上では「いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをすること」、それ以外の年代では「保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること」が最も高くなっている。

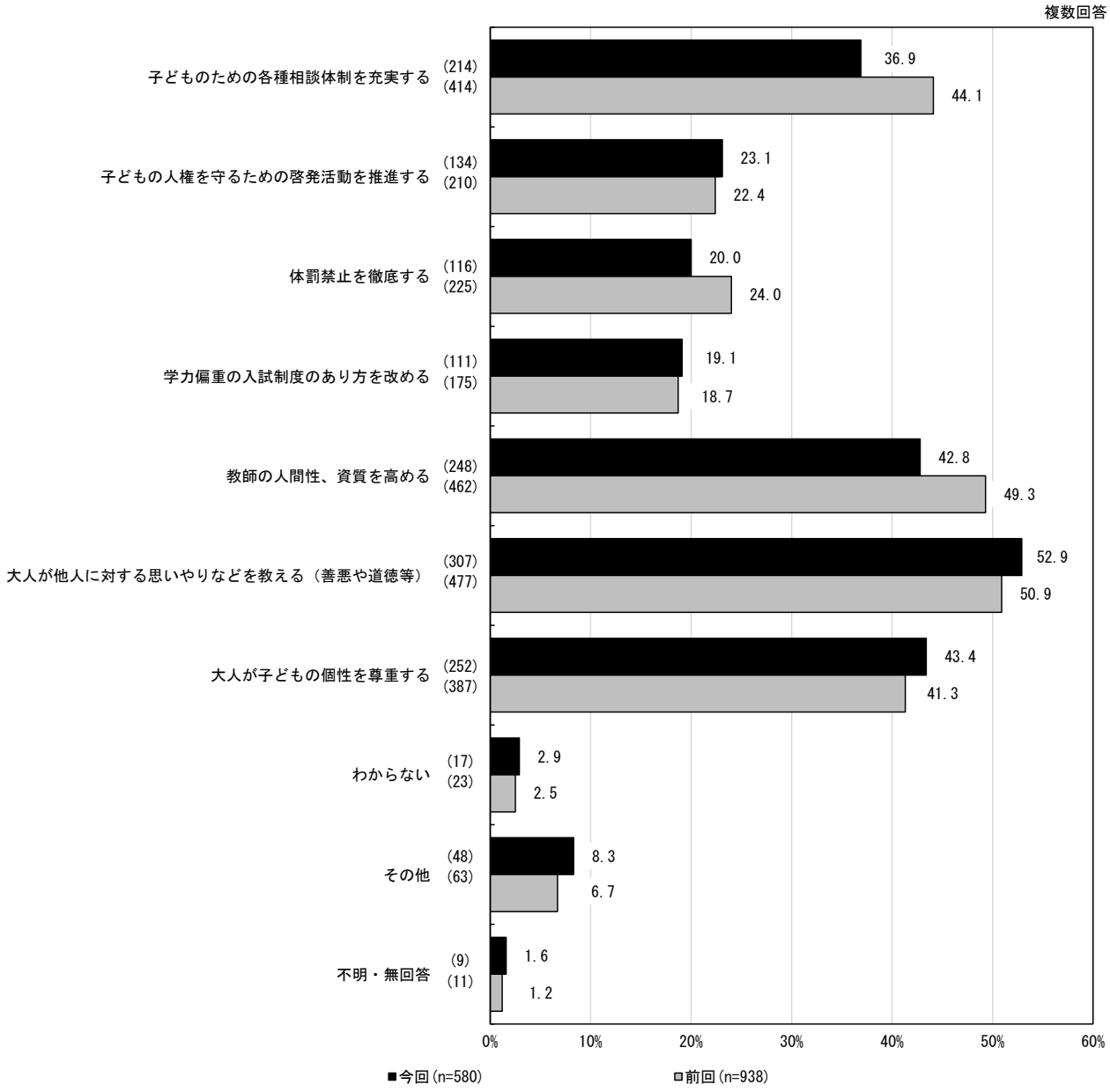
また、18～29 歳では「学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと」が４割台と、他の年代と比べて高くなっている

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
言うことを聞かない子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること	30.0%	16.4%	22.5%	23.1%	35.3%	40.2%
保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること	62.0%	59.7%	63.1%	70.1%	66.7%	56.8%
子ども同士が「暴力」、「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること	50.0%	50.7%	59.5%	55.6%	60.8%	48.5%
いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをすること	44.0%	44.8%	46.8%	42.7%	57.8%	61.4%
学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと	40.0%	19.4%	16.2%	17.1%	14.7%	10.6%
教師が子どもに体罰を加えること	16.0%	9.0%	11.7%	7.7%	7.8%	10.6%
児童買春・児童ポルノ等	32.0%	35.8%	34.2%	35.0%	29.4%	30.3%
わからない	0.0%	4.5%	0.9%	2.6%	2.0%	4.5%
その他	6.0%	7.5%	4.5%	5.1%	1.0%	0.0%
不明・無回答	0.0%	0.0%	2.7%	0.9%	2.0%	5.3%

問12 子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）」が 52.9%と最も高く、次いで「大人が子どもの個性を尊重する」が 43.4%、「教師の人間性、資質を高める」が 42.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「子どものための各種相談体制を充実する」が 7.2 ポイント減少、「教師の人間性、資質を高める」が 6.5 ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「大人が子どもの個性を尊重する」、それ以外の年代では「大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）」が最も高くなっている。

また、60～69 歳では「教師の人間性、資質を高める」が５割台と、他の年代と比べて高くなっている。

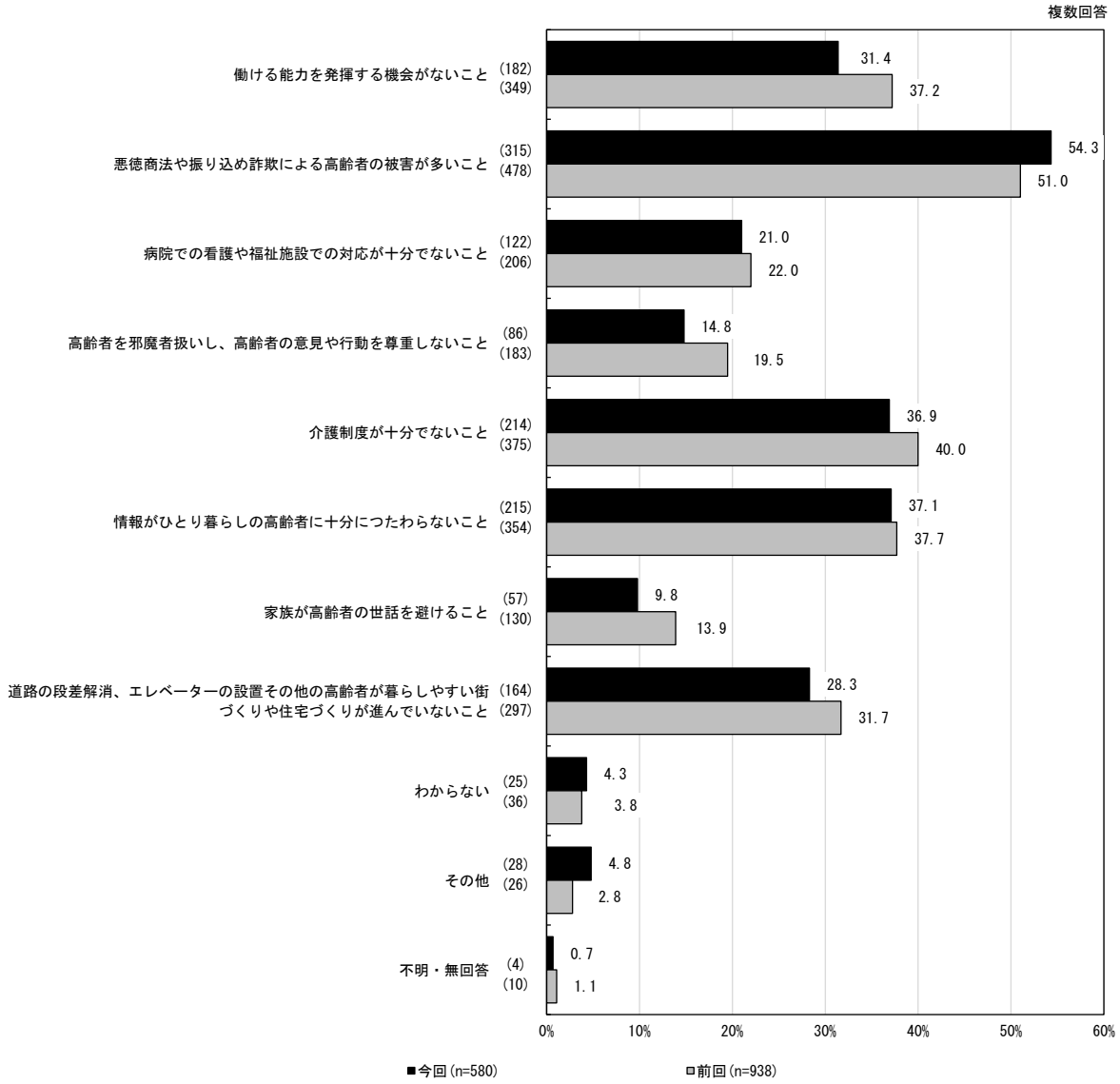
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
子どものための各種相談体制を充実する	44.0%	34.3%	32.4%	37.6%	38.2%	37.9%
子どもの人権を守るための啓発活動を推進する	20.0%	19.4%	24.3%	21.4%	17.6%	30.3%
体罰禁止を徹底する	28.0%	10.4%	18.0%	14.5%	21.6%	27.3%
学力偏重の入試制度のあり方を改める	12.0%	11.9%	12.6%	17.9%	26.5%	25.8%
教師の人間性、資質を高める	30.0%	38.8%	41.4%	39.3%	56.9%	42.4%
大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）	32.0%	53.7%	57.7%	53.8%	59.8%	50.8%
大人が子どもの個性を尊重する	62.0%	47.8%	41.4%	42.7%	36.3%	42.4%
わからない	0.0%	6.0%	0.9%	3.4%	3.9%	3.0%
その他	12.0%	11.9%	14.4%	9.4%	3.9%	2.3%
不明・無回答	0.0%	0.0%	2.7%	0.0%	1.0%	3.8%

4．高齢者に関する人権について

問 13　高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が 54.3%と最も高く、次いで「情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと」が 37.1%、「介護制度が十分でないこと」が 36.9%と続いています。

前回調査と比較すると、「働ける能力を発揮する機会がないこと」が 5.8 ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと」が最も高くなっている。

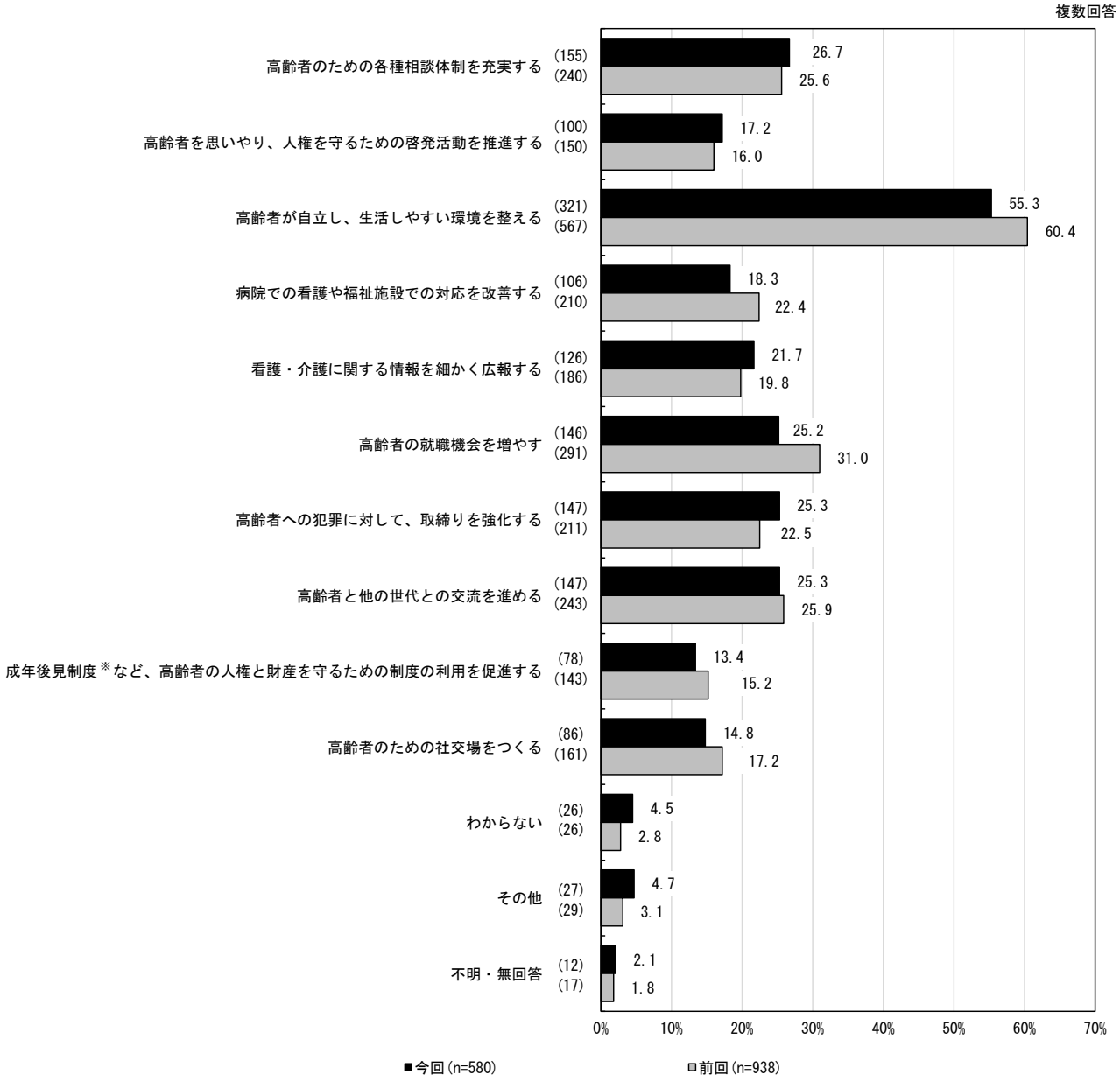
また、70 歳以上では「病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
働ける能力を発揮する機会がないこと	24.0%	28.4%	32.4%	32.5%	36.3%	29.5%
悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと	44.0%	53.7%	51.4%	58.1%	52.9%	58.3%
病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと	14.0%	9.0%	15.3%	23.9%	23.5%	30.3%
高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと	16.0%	16.4%	11.7%	11.1%	18.6%	16.7%
介護制度が十分でないこと	20.0%	26.9%	35.1%	47.0%	40.2%	38.6%
情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと	42.0%	31.3%	35.1%	34.2%	44.1%	37.1%
家族が高齢者の世話を避けること	10.0%	9.0%	9.0%	7.7%	13.7%	9.1%
道路の段差解消、エレベーターの設置その他の高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと	24.0%	26.9%	27.0%	22.2%	30.4%	35.6%
わからない	4.0%	9.0%	4.5%	2.6%	2.0%	5.3%
その他	10.0%	7.5%	8.1%	5.1%	2.9%	0.0%
不明・無回答	2.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	1.5%

問 14　高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が 55.3%と最も高く、次いで「高齢者のための各種相談体制を充実する」が 26.7%、「高齢者への犯罪に対して、取締りを強化する」及び「高齢者と他の世代との交流を進める」が 25.3%と続いている。

前回調査と比較すると、「高齢者の就職機会を増やす」が 5.8 ポイント減少、「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が 5.1 ポイント減少している。



※成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財産管理や契約などの法律、生活面を支える制度。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える」が最も高くなっている。

また、60 歳以上では「高齢者のための各種相談体制を充実する」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

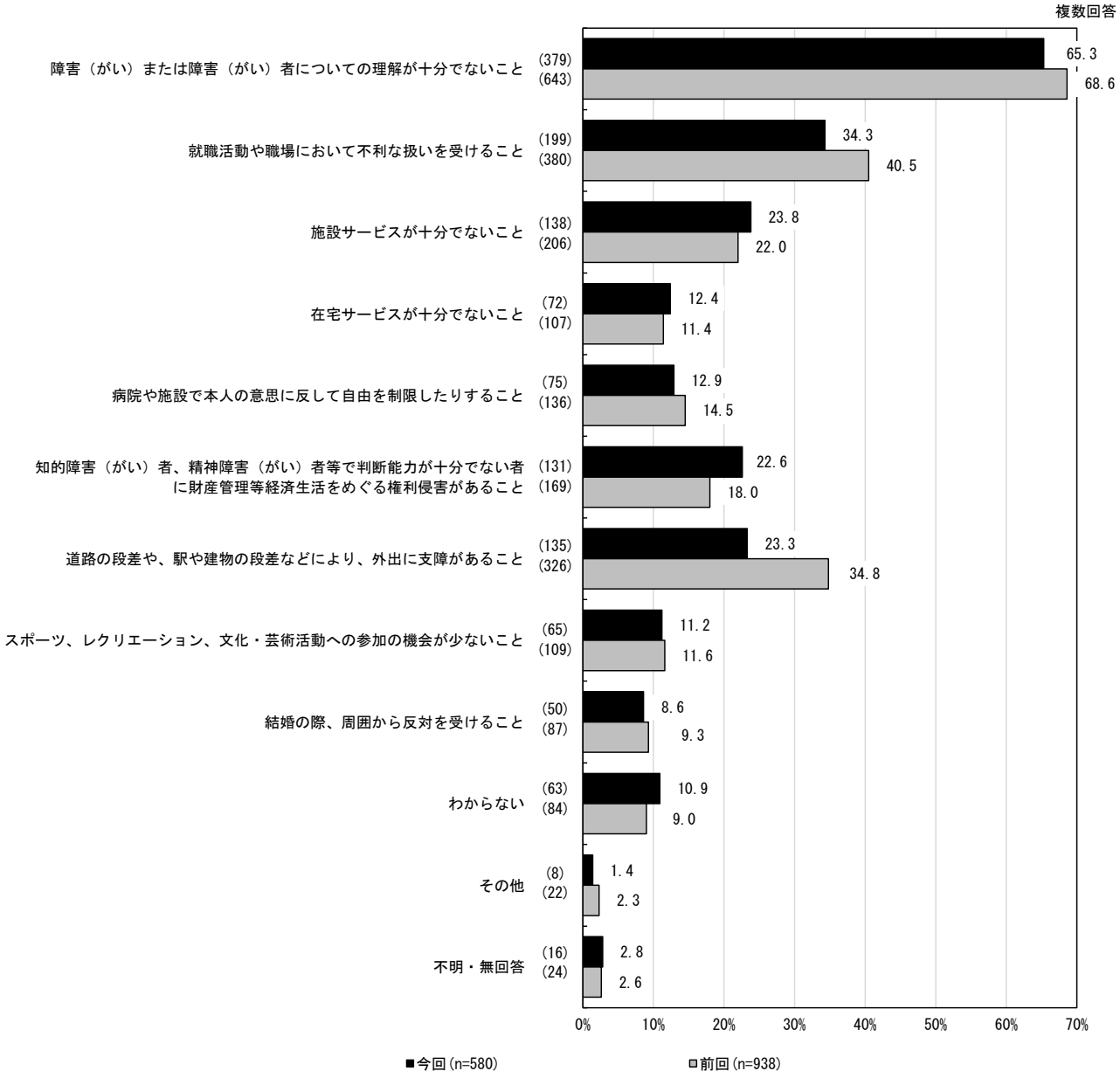
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
高齢者のための各種相談体制を充実する	20.0%	14.9%	22.5%	18.8%	35.3%	39.4%
高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する	6.0%	9.0%	16.2%	14.5%	21.6%	25.8%
高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える	48.0%	43.3%	53.2%	59.8%	64.7%	54.5%
病院での看護や福祉施設での対応を改善する	10.0%	16.4%	13.5%	25.6%	19.6%	18.9%
看護・介護に関する情報を細かく広報する	24.0%	11.9%	14.4%	27.4%	18.6%	29.5%
高齢者の就職機会を増やす	20.0%	23.9%	23.4%	26.5%	27.5%	25.8%
高齢者への犯罪に対して、取締りを強化する	22.0%	23.9%	29.7%	23.9%	27.5%	23.5%
高齢者と他の世代との交流を進める	22.0%	25.4%	28.8%	21.4%	24.5%	27.3%
成年後見制度など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する	12.0%	23.9%	9.9%	14.5%	15.7%	9.1%
高齢者のための社交場をつくる	24.0%	16.4%	18.0%	17.9%	10.8%	8.3%
わからない	10.0%	7.5%	4.5%	1.7%	2.0%	5.3%
その他	8.0%	6.0%	9.0%	4.3%	2.9%	0.8%
不明・無回答	4.0%	1.5%	0.9%	2.6%	1.0%	3.0%

5．障害（がい）者に関する人権について

問 15　障害（がい）者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと」が 65.3%と最も高く、次いで「就職活動や現場において不利な扱いを受けること」が 34.3%、「施設サービスが十分でないこと」が 23.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「道路の段差や、駅の建物の段差などにより、外出に支障があること」が 11.5 ポイント減少、「就職活動や現場において不利な扱いを受けること」が 6.2 ポイント減少となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと」が最も高くなっている。

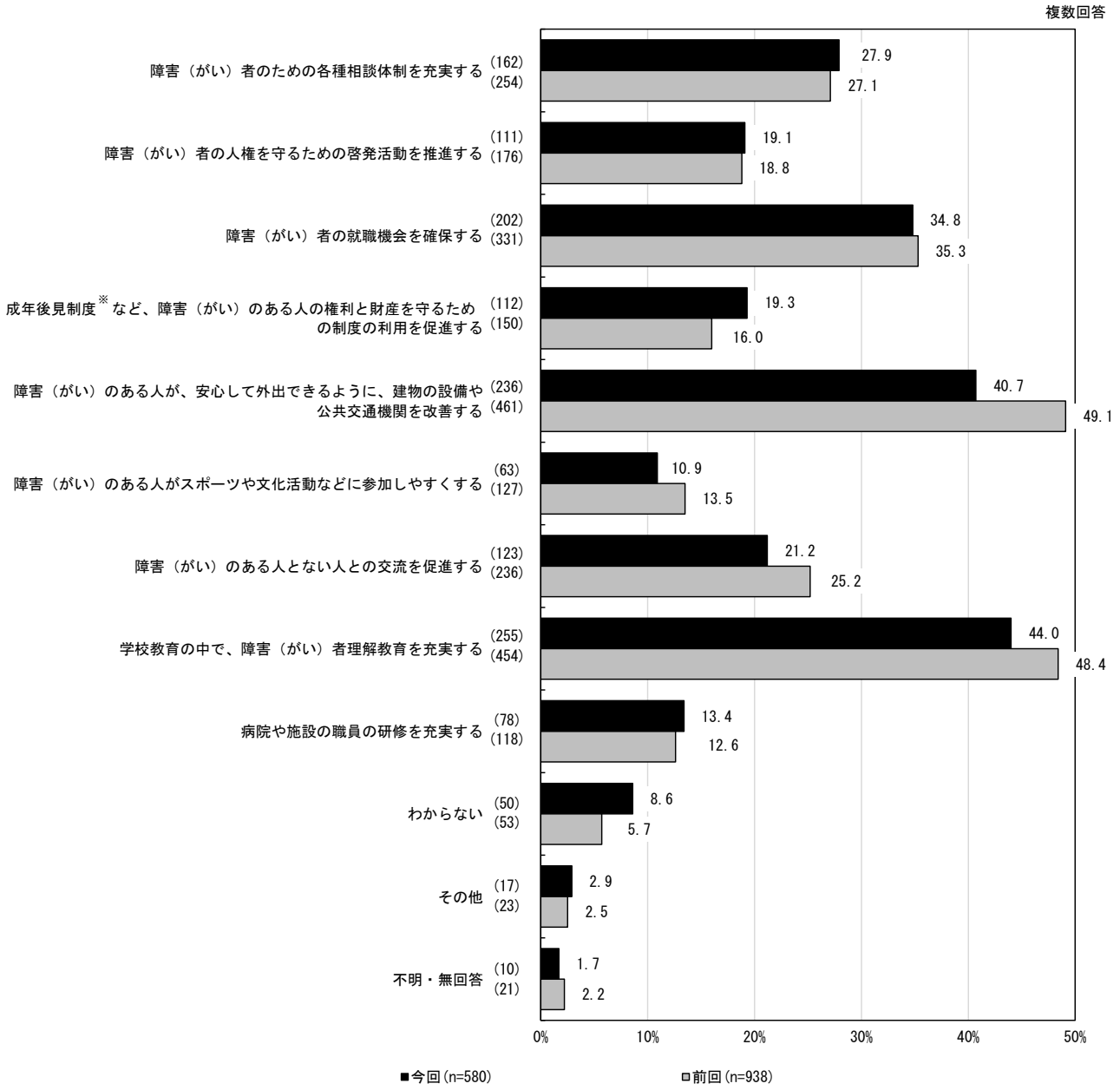
また、「道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること」では、年代が上がるにつれて増加傾向となっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと	64.0%	58.2%	67.6%	67.5%	70.6%	62.1%
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	46.0%	31.3%	28.8%	29.1%	40.2%	36.4%
施設サービスが十分でないこと	16.0%	17.9%	24.3%	20.5%	27.5%	28.8%
在宅サービスが十分でないこと	8.0%	11.9%	13.5%	12.0%	11.8%	14.4%
病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること	18.0%	11.9%	8.1%	10.3%	11.8%	18.9%
知的障害（がい）者、精神障害（がい）者等で判断能力が十分でない者に財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること	22.0%	25.4%	17.1%	23.9%	28.4%	20.5%
道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること	14.0%	14.9%	18.9%	23.9%	25.5%	32.6%
スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと	18.0%	4.5%	4.5%	12.0%	10.8%	16.7%
結婚の際、周囲から反対を受けること	14.0%	16.4%	9.9%	5.1%	3.9%	7.6%
わからない	6.0%	11.9%	15.3%	12.0%	6.9%	10.6%
その他	6.0%	1.5%	0.9%	0.9%	2.0%	0.0%
不明・無回答	0.0%	1.5%	4.5%	3.4%	2.9%	2.3%

問 16　あなたは、障害（がい）者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」が 44.0%と最も高く、次いで「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が 40.7%、「障害（がい）者の就職機会を確保する」が 34.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が 8.4 ポイント減少している。



※成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財産管理や契約などの法律、生活面を支える制度。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～59 歳では「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」、60～69 歳では「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」及び「学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する」、70 歳以上では「障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する」が最も高くなっている。

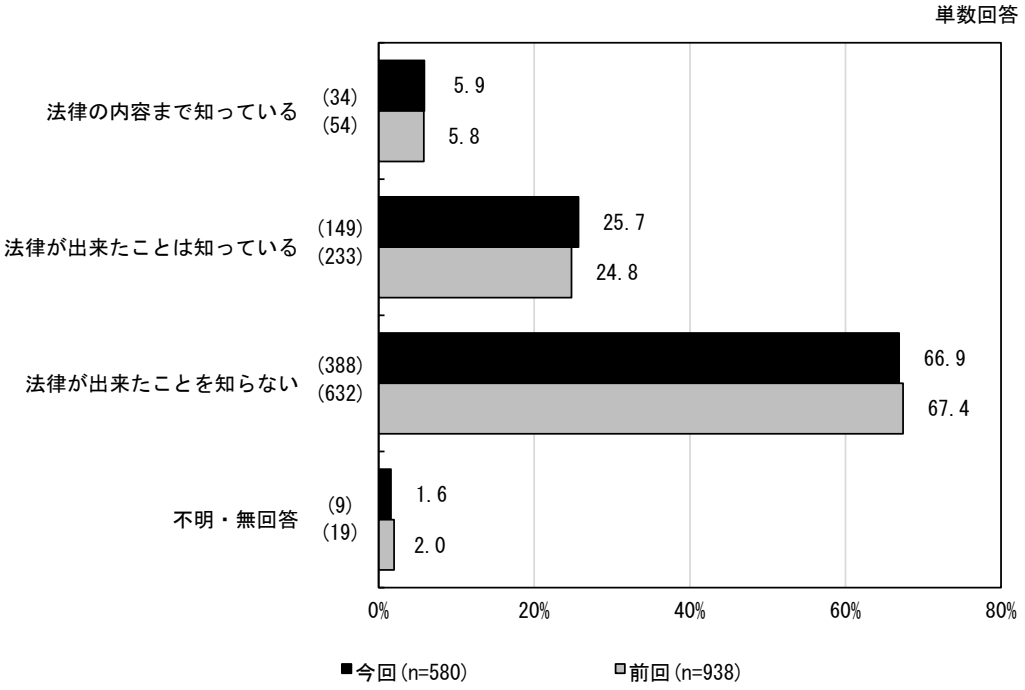
また、60 歳以上では「障害（がい）者の就職機会を確保する」が４割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
障害（がい）者のための各種相談体制を充実する	30.0%	25.4%	20.7%	23.1%	28.4%	38.6%
障害（がい）者の人権を守るための啓発活動を推進する	8.0%	13.4%	13.5%	17.1%	22.5%	29.5%
障害（がい）者の就職機会を確保する	34.0%	29.9%	30.6%	29.1%	42.2%	40.2%
成年後見制度など、障害（がい）のある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する	26.0%	17.9%	18.0%	20.5%	23.5%	14.4%
障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する	32.0%	28.4%	34.2%	43.6%	50.0%	46.2%
障害（がい）のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする	8.0%	4.5%	9.9%	11.1%	13.7%	12.9%
障害（がい）のある人とない人との交流を促進する	16.0%	17.9%	27.0%	22.2%	19.6%	20.5%
学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する	44.0%	40.3%	44.1%	47.9%	50.0%	37.9%
病院や施設の職員の研修を充実する	18.0%	10.4%	16.2%	13.7%	4.9%	17.4%
わからない	10.0%	16.4%	11.7%	8.5%	2.0%	6.8%
その他	6.0%	3.0%	3.6%	6.0%	1.0%	0.0%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	1.7%	1.0%	2.3%

問 17　平成28年4月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことを知らない」が 66.9%と、「法律が出来たことは知っている」の 25.7%及び、「法律の内容まで知っている」の 5.9%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことは知らない」が最も高くなっている。

また、18～29 歳では「法律の内容まで知っている」が1割台と、他の年代と比べて高くなっている。

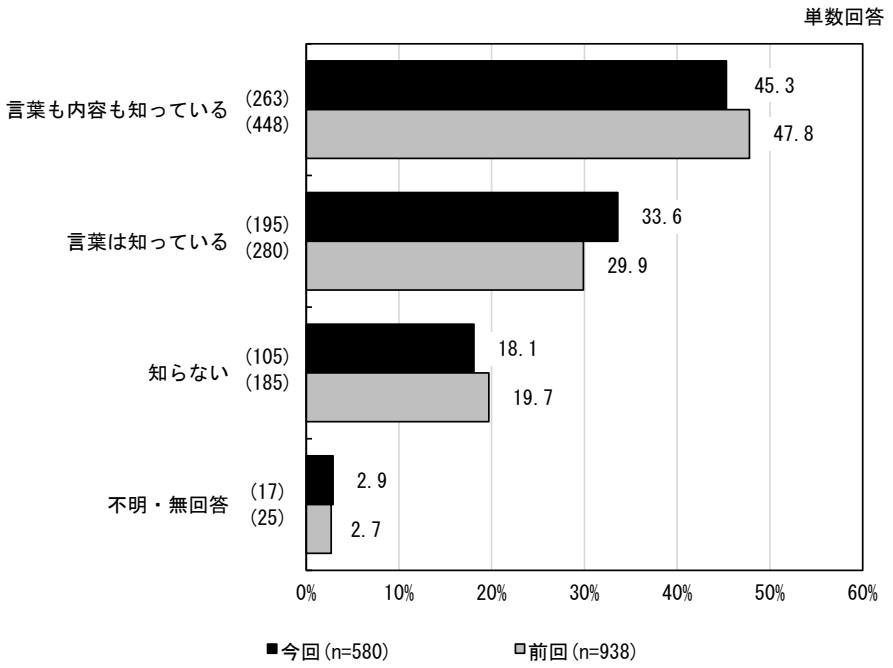
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	14.0%	7.5%	9.0%	5.1%	2.9%	2.3%
法律が出来たことは知っている	20.0%	25.4%	19.8%	27.4%	32.4%	25.8%
法律が出来たことを知らない	64.0%	67.2%	68.5%	65.8%	63.7%	70.5%
不明・無回答	2.0%	0.0%	2.7%	1.7%	1.0%	1.5%

6．同和問題（部落差別）について

問18 あなたは、同和問題（部落差別）について知っていますか。次の中から1つお選びください。

「言葉も内容も知っている」が 45.3%と、「言葉は知っている」の 33.6%及び、「知らない」の 18.1%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、30～39 歳では「言葉は知っている」、それ以外の年代では「言葉も内容も知っている」が最も高くなっている。

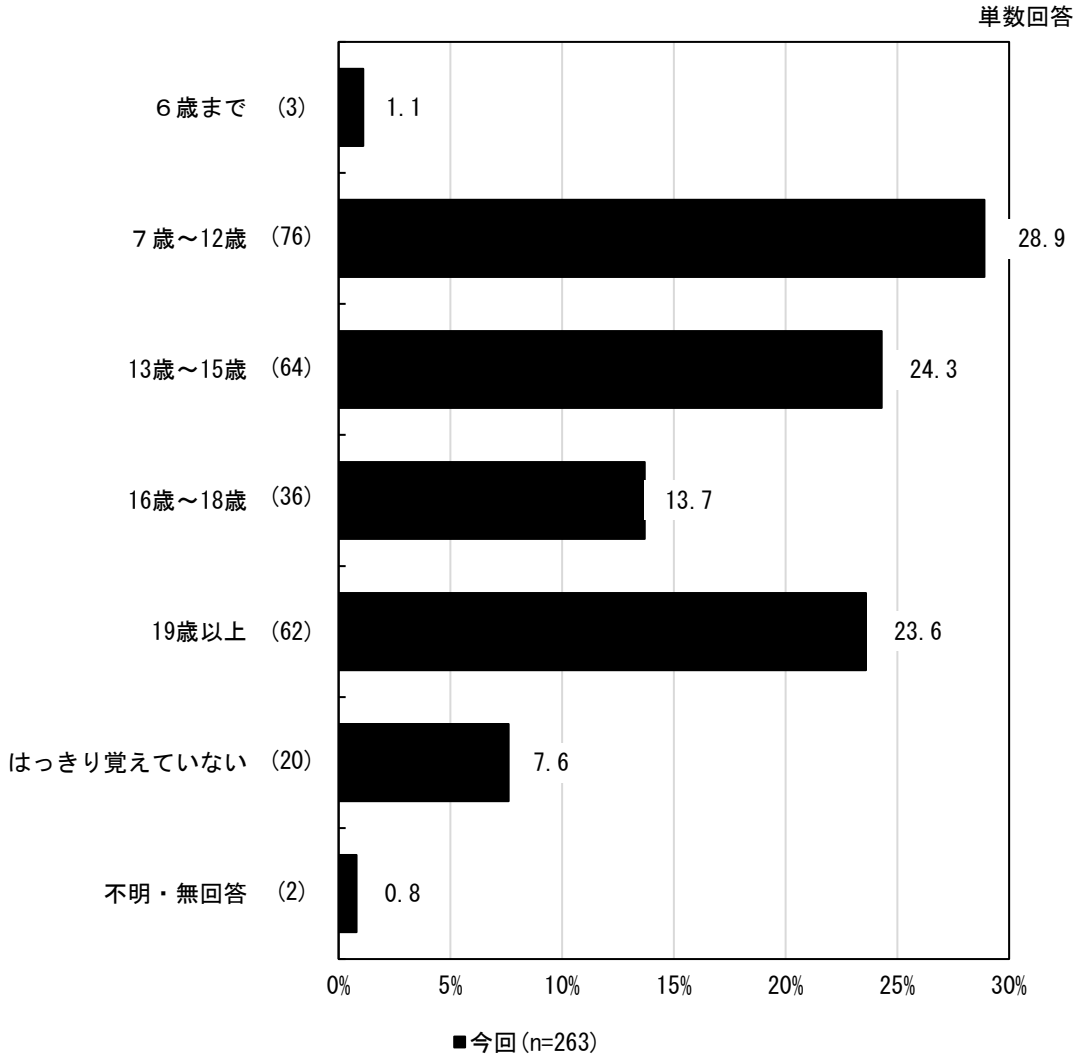
また、18～29 歳では「知らない」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
言葉も内容も知っている	36.0%	34.3%	46.8%	48.7%	54.9%	42.4%
言葉は知っている	30.0%	37.3%	29.7%	33.3%	30.4%	39.4%
知らない	32.0%	26.9%	21.6%	16.2%	10.8%	12.9%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	1.7%	3.9%	5.3%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 19　あなたが同和問題（部落差別）について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から1つお選びください。

「7歳～12 歳」が 28.9%と最も高く、次いで「13 歳～15 歳」が 24.3%、「19 歳以上」が 23.6%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳及び 70 歳以上では「19 歳以上」、30～59 歳では「7 歳～12 歳」、60～69 歳では「7 歳～12 歳」及び「19 歳以上」が最も高くなっている。

また、30～39 歳では「13 歳～15 歳」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

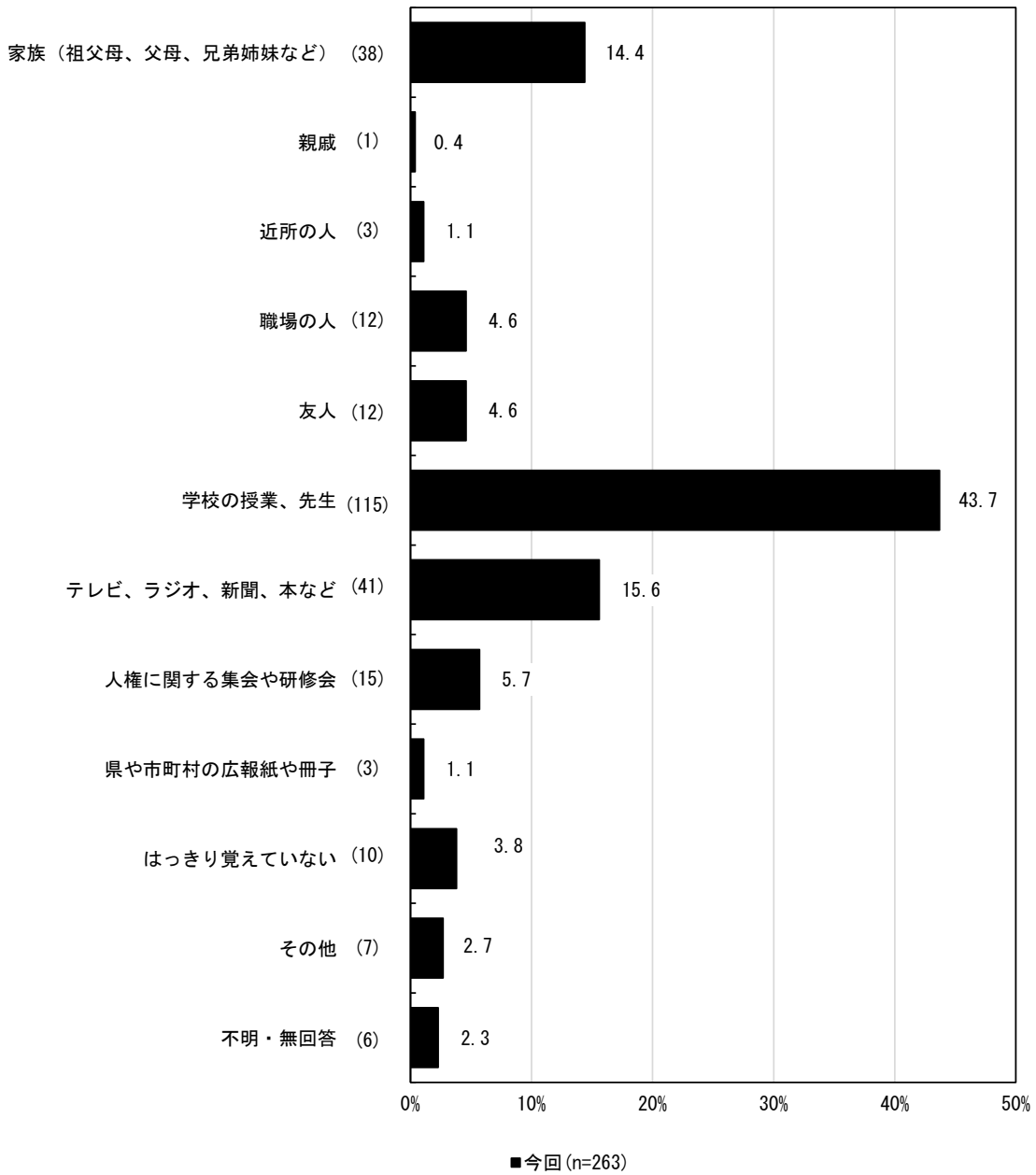
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
６歳まで	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	3.6%	0.0%
７歳～12歳	16.7%	34.8%	42.3%	40.4%	25.0%	10.7%
13歳～15歳	22.2%	30.4%	25.0%	21.1%	23.2%	26.8%
16歳～18歳	16.7%	13.0%	5.8%	10.5%	19.6%	17.9%
19歳以上	33.3%	17.4%	17.3%	17.5%	25.0%	32.1%
はっきり覚えていない	11.1%	4.3%	7.7%	8.8%	3.6%	10.7%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問20　あなたが同和問題（部落差別）について初めて知ったのは、誰（なに）からですか。次の中から1つお選びください。

「学校の授業、先生」が43.7%と最も高く、次いで「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が15.6%、「家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）」が14.4%と続いている。

単数回答



■今回(n=263)

※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～69 歳では「学校の授業、先生」、70 歳以上では「テレビ、ラジオ、新聞、本など」が最も高くなっている。

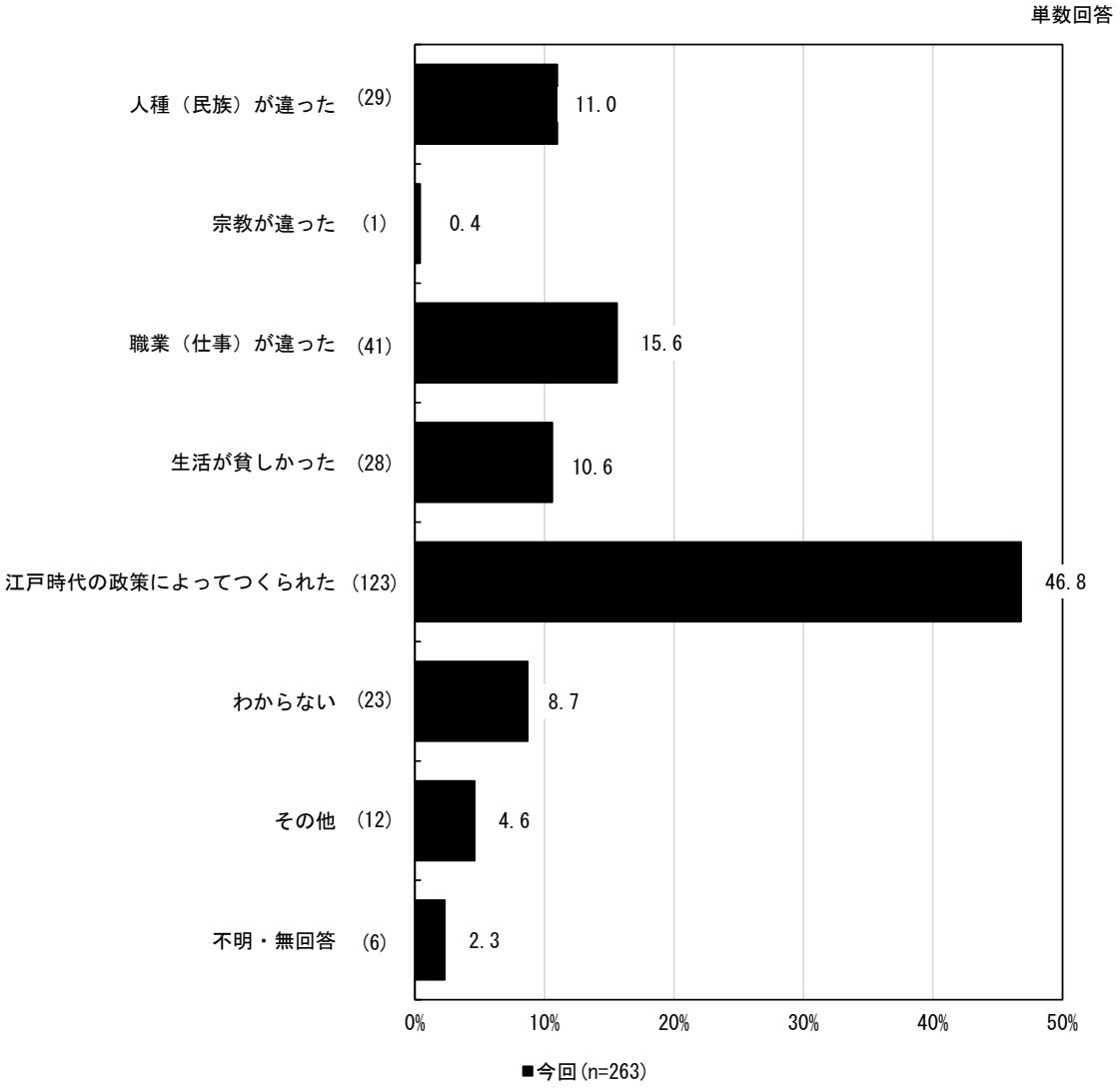
また、70 歳以上では「学校の授業、先生」が 1 割未満と、他の年代と比べて低くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）	11.1%	8.7%	19.2%	12.3%	8.9%	21.4%
親戚	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
近所の人	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%
職場の人	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	10.7%	8.9%
友人	0.0%	4.3%	0.0%	3.5%	10.7%	5.4%
学校の授業、先生	33.3%	73.9%	63.5%	56.1%	39.3%	8.9%
テレビ、ラジオ、新聞、本など	27.8%	4.3%	3.8%	10.5%	14.3%	33.9%
人権に関する集会や研修会	5.6%	4.3%	7.7%	3.5%	3.6%	8.9%
県や市町村の広報紙や冊子	0.0%	4.3%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%
はっきり覚えていない	11.1%	0.0%	3.8%	3.5%	5.4%	1.8%
その他	11.1%	0.0%	1.9%	0.0%	7.1%	0.0%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	5.4%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 21　あなたは同和問題（部落差別）の起源について、どのように受けとめていますか。次の中から1つお選びください。

「江戸時代の政策によってつくられた」が 46.8%と最も高く、次いで「職業（仕事）が違った」が 15.6%、「人種（民族）が違った」が 11.0%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「職業（仕事）が違った」、30 歳以上では「江戸時代の政策によってつくられた」が最も高くなっている。

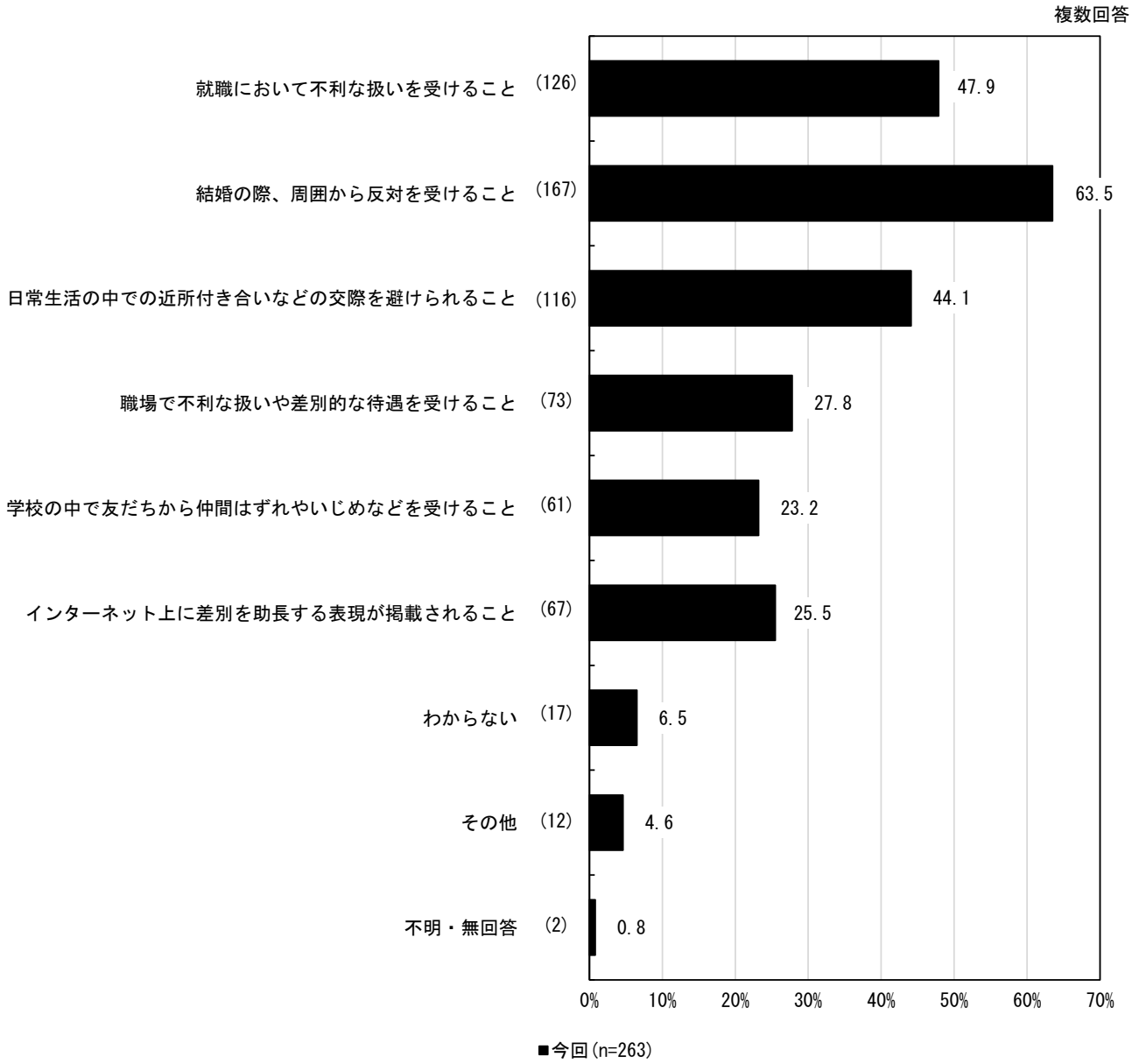
また、18～29 歳では「人種（民族）が違った」が２割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
人種（民族）が違った	22.2%	17.4%	7.7%	3.5%	16.1%	10.7%
宗教が違った	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%
職業（仕事）が違った	33.3%	17.4%	13.5%	7.0%	12.5%	23.2%
生活が貧しかった	16.7%	8.7%	15.4%	15.8%	7.1%	3.6%
江戸時代の政策によってつくられた	22.2%	47.8%	50.0%	54.4%	48.2%	41.1%
わからない	0.0%	4.3%	7.7%	7.0%	10.7%	14.3%
その他	5.6%	4.3%	5.8%	7.0%	3.6%	1.8%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	5.3%	1.8%	3.6%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問22　同和問題（部落差別）に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「結婚の際、周囲から反対を受けること」が63.5%と最も高く、次いで「就職において不利な扱いを受けること」が47.9%、「日常生活の中で近所付き合いなどの交際を避けられること」が44.1%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「就職において不利な扱いを受けること」及び「結婚の際、周囲から反対を受けること」、30～39 歳では「結婚の際、周囲から反対を受けること」及び「日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること」、40 歳以上では「結婚の際、周囲から反対を受けること」が最も高くなっている。

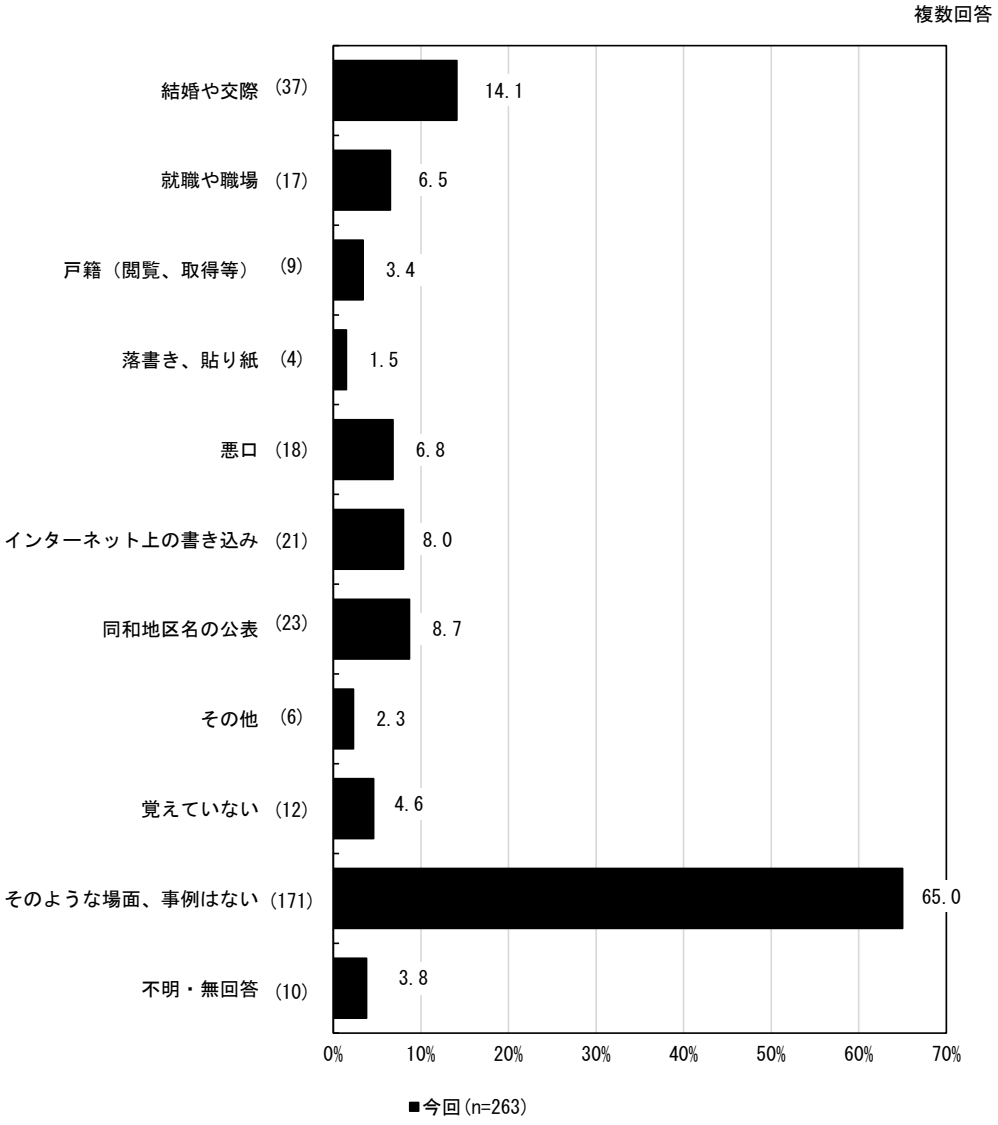
また、30～39 歳では「学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること」が 1 割未満と、他の年代と比べて低くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
就職において不利な扱いを受けること	55.6%	43.5%	40.4%	47.4%	44.6%	57.1%
結婚の際、周囲から反対を受けること	55.6%	56.5%	67.3%	61.4%	62.5%	67.9%
日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること	50.0%	56.5%	42.3%	36.8%	37.5%	51.8%
職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること	27.8%	30.4%	28.8%	24.6%	30.4%	26.8%
学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること	22.2%	4.3%	26.9%	26.3%	25.0%	23.2%
インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること	33.3%	30.4%	19.2%	22.8%	28.6%	26.8%
わからない	0.0%	8.7%	7.7%	5.3%	8.9%	5.4%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	7.1%	3.6%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 23　あなたは、過去に実社会やインターネット上で、部落差別による被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしたことがありますか。あるいは、あなたの親族・知人が、過去に同様の被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしているのを見聞きしたことがありますか。あるとしたら、どのような場面、事例でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

「そのような場面、事例はない」が 65.0%と最も高く、次いで「結婚や交際」が 14.1%、「同和地区名の公表」が 8.7%と続いている。



【年齢別】

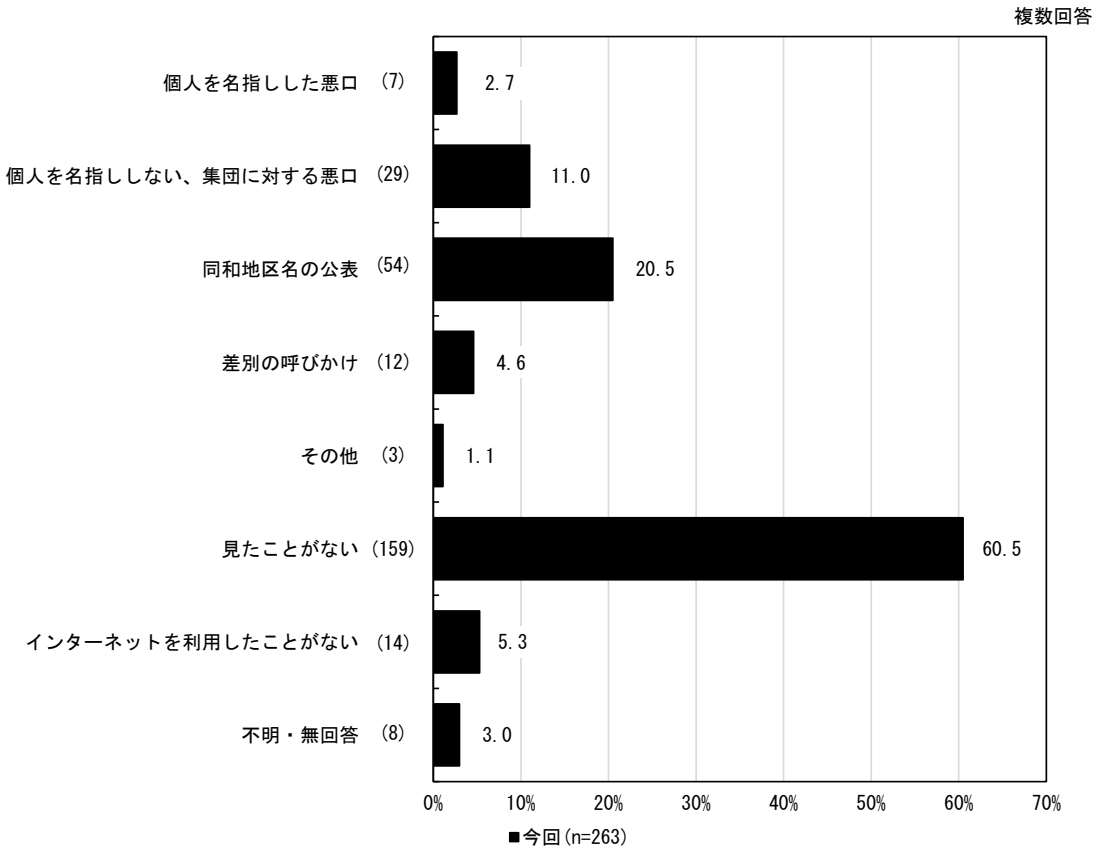
年齢別で見ると、すべての年代で「そのような場面、事例はない」が最も高くなっている。
また、70 歳以上では「結婚や交際」が２割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
結婚や交際	5.6%	4.3%	11.5%	12.3%	14.3%	23.2%
就職や職場	5.6%	0.0%	3.8%	1.8%	10.7%	12.5%
戸籍（閲覧、取得等）	0.0%	4.3%	1.9%	1.8%	5.4%	5.4%
落書き、貼り紙	0.0%	8.7%	0.0%	0.0%	1.8%	1.8%
悪口	5.6%	0.0%	3.8%	5.3%	8.9%	10.7%
インターネット上の書き込み	11.1%	8.7%	7.7%	3.5%	10.7%	8.9%
同和地区名の公表	0.0%	4.3%	3.8%	7.0%	7.1%	19.6%
その他	0.0%	4.3%	3.8%	0.0%	3.6%	1.8%
覚えていない	11.1%	4.3%	3.8%	1.8%	5.4%	5.4%
そのような場面、事例はない	66.7%	73.9%	71.2%	80.7%	57.1%	48.2%
不明・無回答	0.0%	0.0%	5.8%	1.8%	1.8%	8.9%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 24　同和問題（部落差別）に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。あるとしたら、どのような内容のものでしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

「見たことがない」が 60.5%と最も高く、次いで「同和地区名の公表」が 20.5%、「個人を名指ししない、集団に対する悪口」が 11.0%と続いている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「見たことがない」が最も高くなっている。

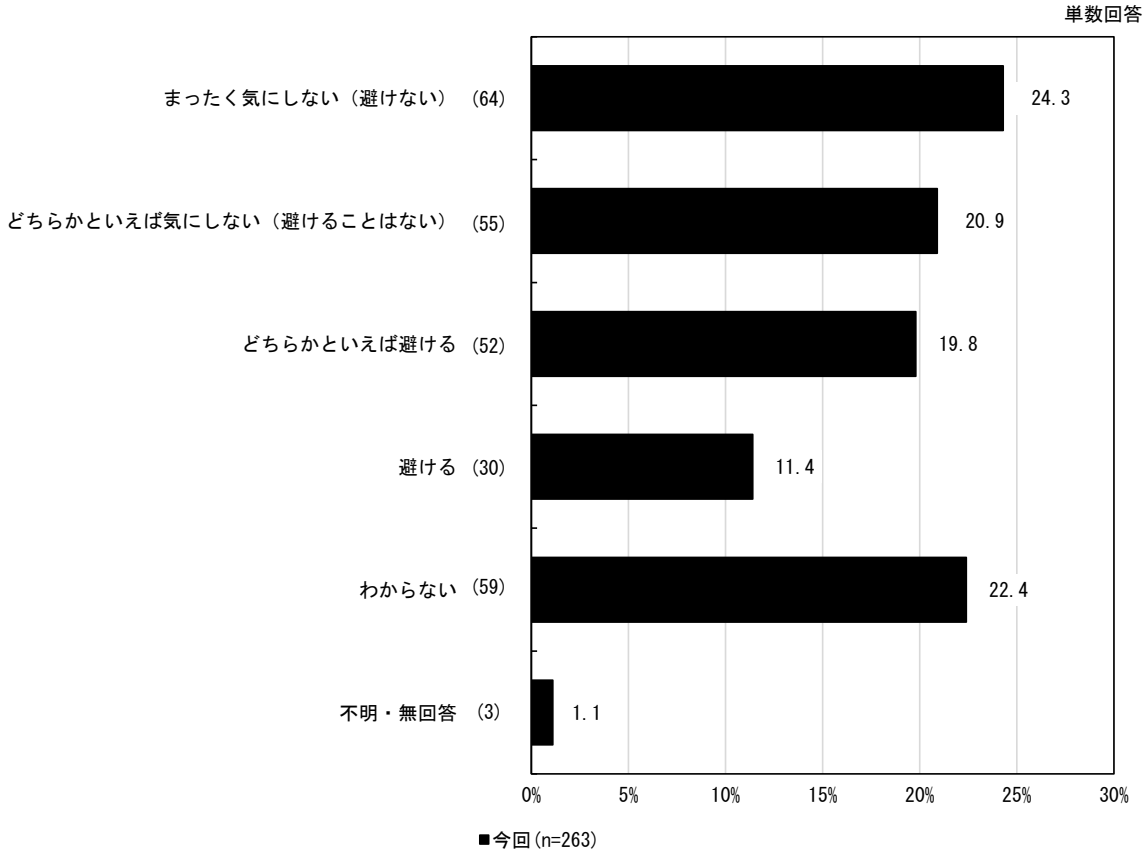
また、70 歳以上では「インターネットを利用したことがない」が 1 割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
個人を名指しした悪口	0.0%	4.3%	1.9%	1.8%	0.0%	7.1%
個人を名指ししない、集団に対する悪口	22.2%	8.7%	11.5%	10.5%	12.5%	7.1%
同和地区名の公表	27.8%	30.4%	13.5%	22.8%	21.4%	17.9%
差別の呼びかけ	11.1%	4.3%	7.7%	0.0%	7.1%	1.8%
その他	0.0%	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	1.8%
見たことがない	38.9%	56.5%	69.2%	64.9%	64.3%	53.6%
インターネットを利用したことがない	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	7.1%	14.3%
不明・無回答	5.6%	0.0%	3.8%	1.8%	0.0%	7.1%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問 25　あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から1つお選びください。

「まったく気にしない（避けない）」が 24.3%と最も高く、次いで「わからない」が 22.4%、「どちらかといえば気にしない（避けることはない）」が 20.9%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

18～29 歳及び 60～69 歳では「まったく気にしない（避けない）」、30～39 歳では「どちらかといえば避ける」、40～49 歳では「まったく気にしない（避けない）」及び「わからない」、50～59 歳では「わからない」、70 歳以上では「まったく気にしない（避けない）」及び「どちらかといえば気にしない（避けることはない）」が最も高くなっている。

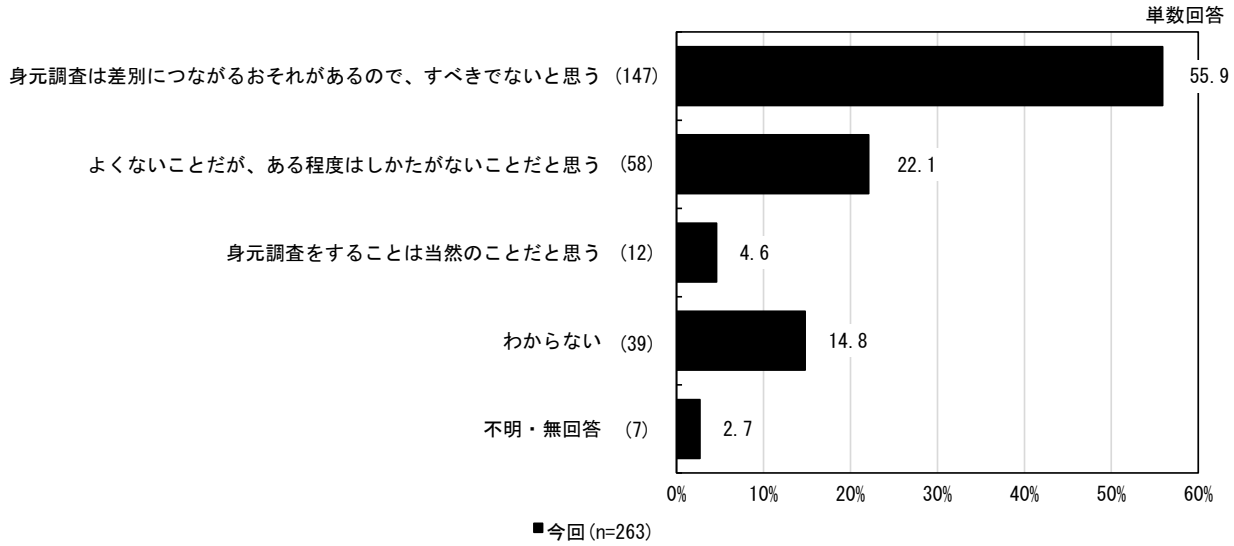
また、18～29 歳では「まったく気にしない（避けない）」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
まったく気にしない（避けない）	38.9%	21.7%	23.1%	14.0%	26.8%	28.6%
どちらかといえば気にしない（避けることはない）	16.7%	17.4%	17.3%	21.1%	19.6%	28.6%
どちらかといえば避ける	27.8%	26.1%	13.5%	19.3%	21.4%	19.6%
避ける	11.1%	13.0%	19.2%	10.5%	10.7%	5.4%
わからない	5.6%	21.7%	23.1%	35.1%	21.4%	16.1%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.8%	0.0%	0.0%	1.8%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問26　あなたは、結婚や就職の際に同和地区出身者であるか身元調査をすることについて、どのようにお考えですか。次の中から1つお選びください。

「身辺調査は差別につながるおそれがあるので、すべきではないと思う」が 55.9%と最も高く、次いで「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が 22.1%、「わからない」が 14.8%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「身辺調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う」が最も高くなっている。

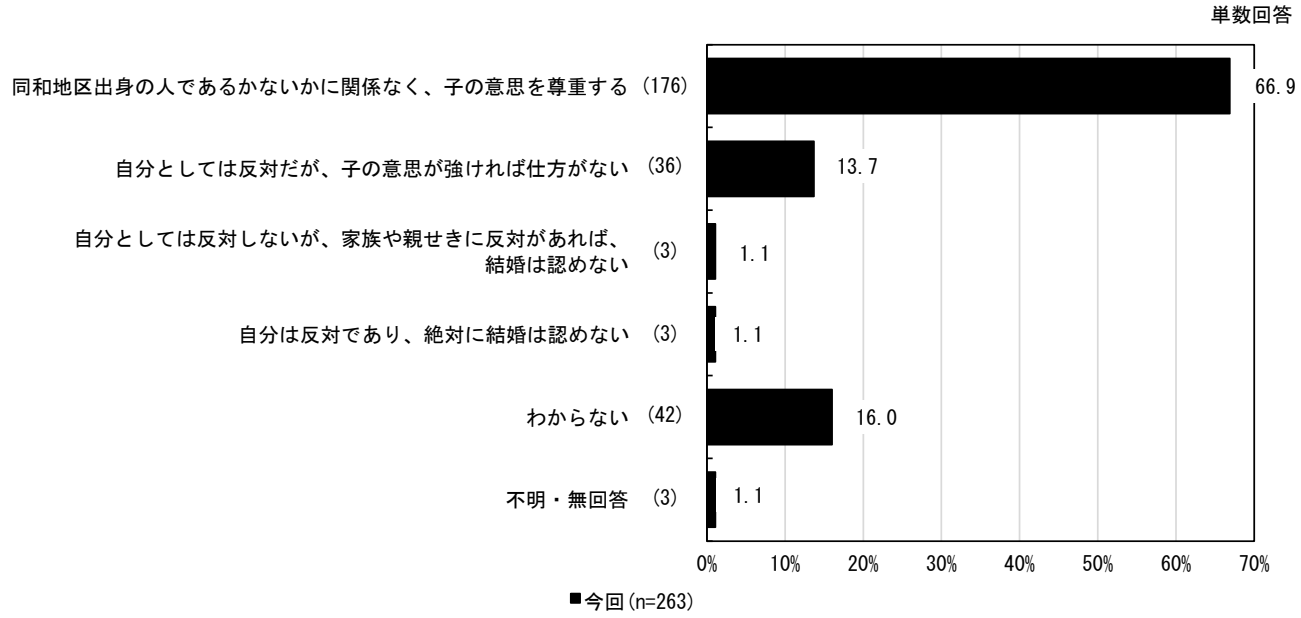
また、18～29 歳では「よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う	55.6%	60.9%	65.4%	45.6%	55.4%	55.4%
よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う	33.3%	26.1%	13.5%	24.6%	28.6%	16.1%
身元調査をすることは当然のことだと思う	11.1%	0.0%	3.8%	5.3%	0.0%	8.9%
わからない	0.0%	13.0%	13.5%	22.8%	16.1%	12.5%
不明・無回答	0.0%	0.0%	3.8%	1.8%	0.0%	7.1%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問27　あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から1つお選びください。

「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が66.9%と最も高く、次いで「わからない」が16.0%、「自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない」が13.7%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する」が最も高くなっている。

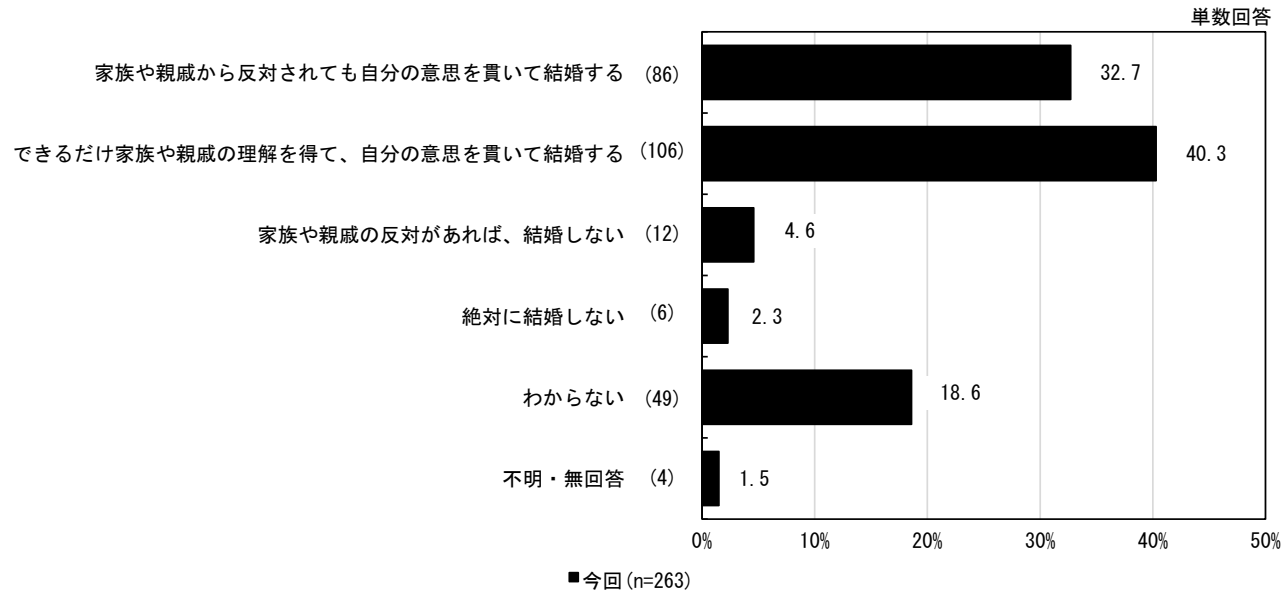
また、60～69 歳以外の年代では「自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない」の回答が0件となっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する	72.2%	82.6%	71.2%	61.4%	58.9%	67.9%
自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない	5.6%	8.7%	11.5%	17.5%	14.3%	16.1%
自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.4%	0.0%
自分は反対であり、絶対に結婚は認めない	0.0%	0.0%	1.9%	1.8%	0.0%	1.8%
わからない	22.2%	8.7%	13.5%	19.3%	21.4%	10.7%
不明・無回答	0.0%	0.0%	1.9%	0.0%	0.0%	3.6%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問28　あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどうされますか。次の中から1つお選びください。

「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が40.3%と最も高く、次いで「家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する」が 32.7%、「わからない」が18.6%と続いている。



※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する」が最も高くなっている。

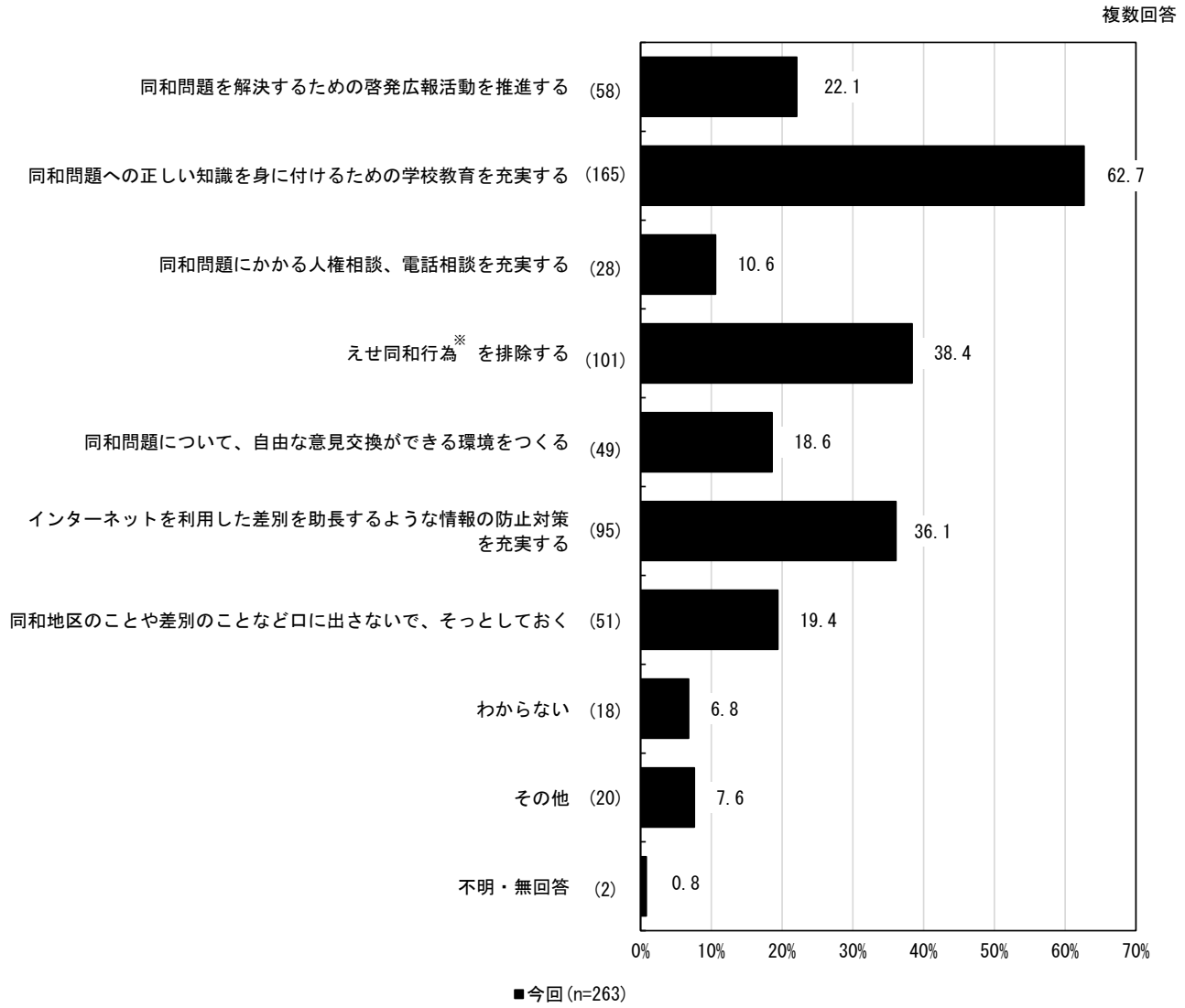
特に、30～39歳では5割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する	33.3%	34.8%	38.5%	29.8%	28.6%	33.9%
できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する	38.9%	52.2%	42.3%	38.6%	37.5%	37.5%
家族や親戚の反対があれば、結婚しない	0.0%	4.3%	1.9%	7.0%	5.4%	5.4%
絶対に結婚しない	0.0%	4.3%	1.9%	1.8%	3.6%	1.8%
わからない	27.8%	4.3%	15.4%	21.1%	25.0%	16.1%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	1.8%	0.0%	5.4%

【問18で「言葉も内容も知っている」と回答した方におたずねします。】

問29　あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が62.7%と最も高く、次いで「えせ同和行為を排除する」が38.4%、「インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する」が36.1%と続いている。



※えせ同和行為とは、同和問題を口実として行われる不法、不当な行為や要求。

※前回と調査対象者が異なるため、前回比較は非掲載としている。

【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する」が最も高くなっている。

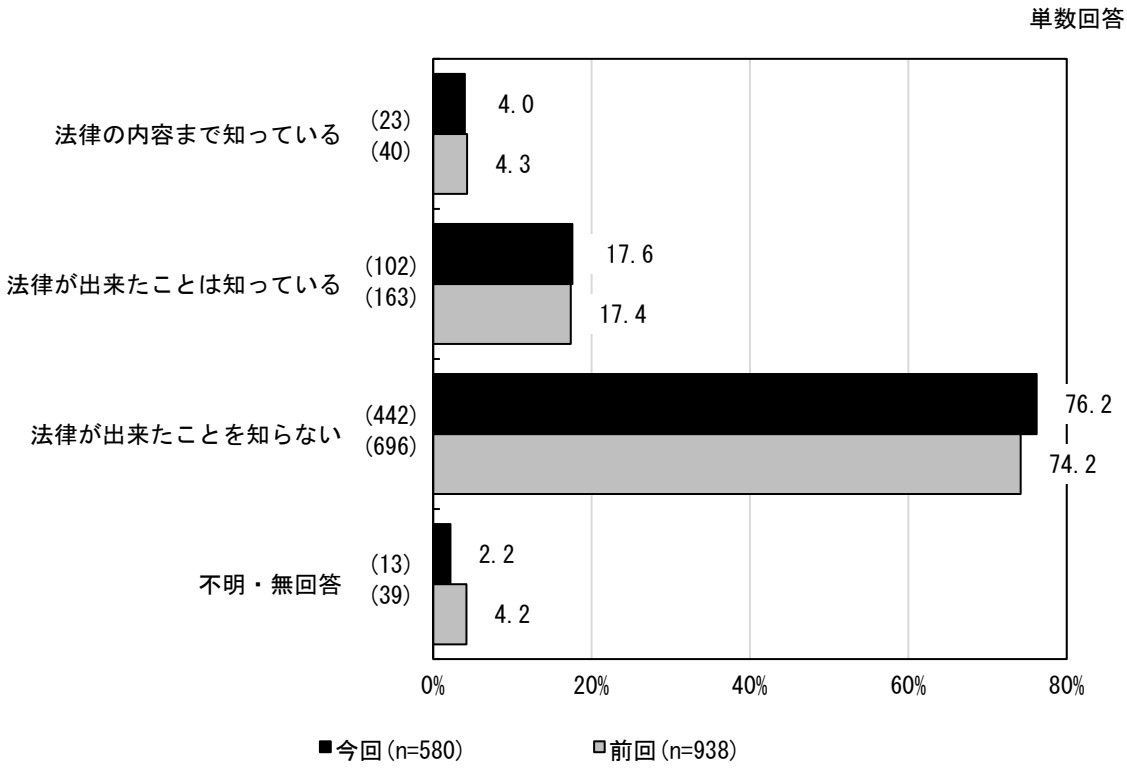
また、18～29 歳では「同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく」が３割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	18人	23人	52人	57人	56人	56人
同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する	16.7%	8.7%	17.3%	21.1%	26.8%	30.4%
同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する	61.1%	56.5%	61.5%	56.1%	75.0%	60.7%
同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する	11.1%	17.4%	3.8%	5.3%	7.1%	23.2%
えせ同和行為を排除する	44.4%	30.4%	36.5%	29.8%	46.4%	42.9%
同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる	16.7%	13.0%	11.5%	24.6%	12.5%	26.8%
インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する	44.4%	43.5%	32.7%	33.3%	46.4%	26.8%
同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく	33.3%	26.1%	23.1%	14.0%	12.5%	19.6%
わからない	5.6%	4.3%	13.5%	5.3%	5.4%	5.4%
その他	0.0%	30.4%	5.8%	10.5%	5.4%	1.8%
不明・無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%

問 30　平成28年12月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことを知らない」が 76.2%と、「法律が出来たことは知っている」の 17.6%、「法律の内容まで知っている」の 4.0%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

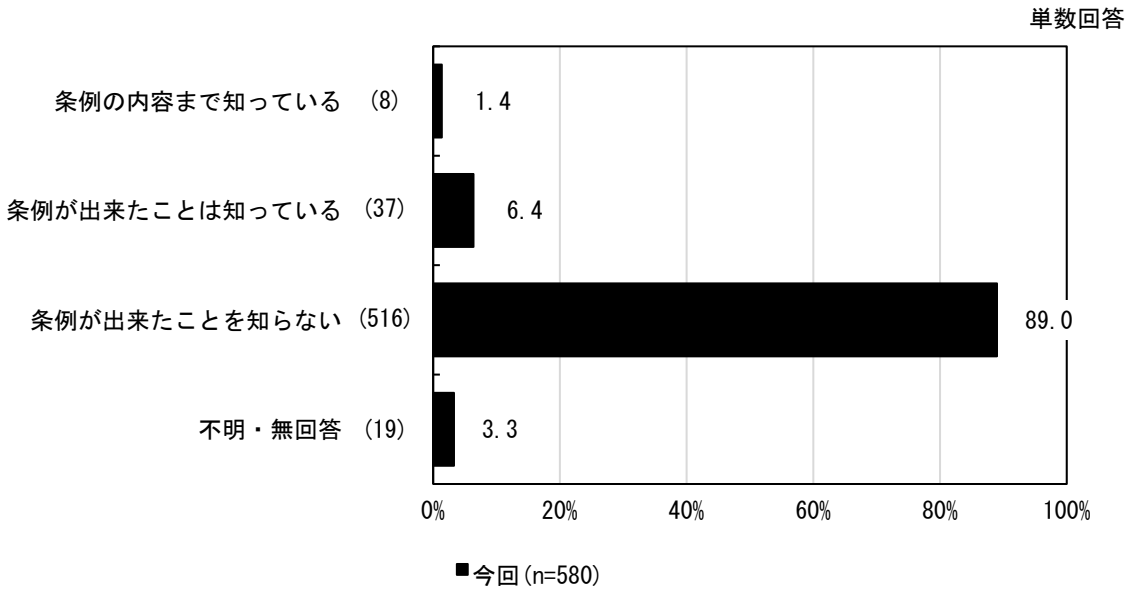
年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

また、すべての年代で「法律の内容まで知っている」は１割未満となっているが、18～29 歳及び 70 歳以上では「法律が出来たことは知っている」が２割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	4.0%	7.5%	5.4%	3.4%	2.0%	3.0%
法律が出来たことは知っている	22.0%	9.0%	11.7%	15.4%	18.6%	25.8%
法律が出来たことを知らない	70.0%	82.1%	81.1%	80.3%	78.4%	66.7%
不明・無回答	4.0%	1.5%	1.8%	0.9%	1.0%	4.5%

問 31　令和4年7月に、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」が施行されました。あなたは、この条例をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「条例が出来たことを知らない」が 89.0%と、「条例が出来たことは知っている」の 6.4%、「条例の内容まで知っている」の 1.4%と比べて高くなっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「条例が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

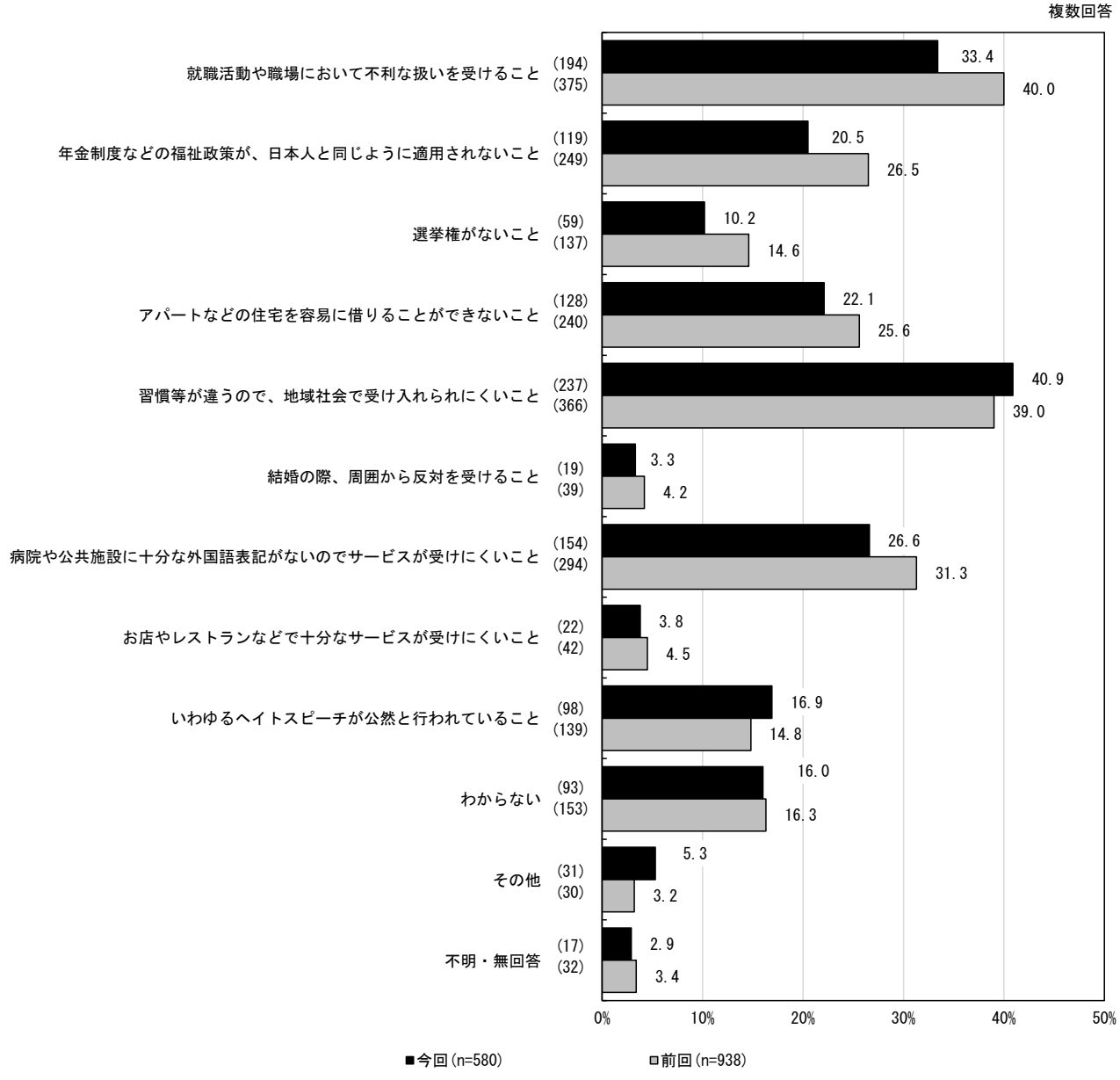
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
条例の内容まで知っている	4.0%	3.0%	0.9%	0.9%	1.0%	0.8%
条例が出来たことは知っている	10.0%	6.0%	4.5%	5.1%	2.9%	10.6%
条例が出来たことを知らない	84.0%	89.6%	92.8%	91.5%	92.2%	82.6%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	2.6%	3.9%	6.1%

7．外国人に関する人権について

問 32　日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」が 40.9%と最も高く、次いで「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が 33.4%、「病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと」が 26.6%と続いている。

前回調査と比較すると、「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が 6.6 ポイント減少、「年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと」が 6.0 ポイント減少となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳では「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」及び「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」、30～39 歳及び 50 歳以上では「習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと」、40～49 歳では「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が最も高くなっている。

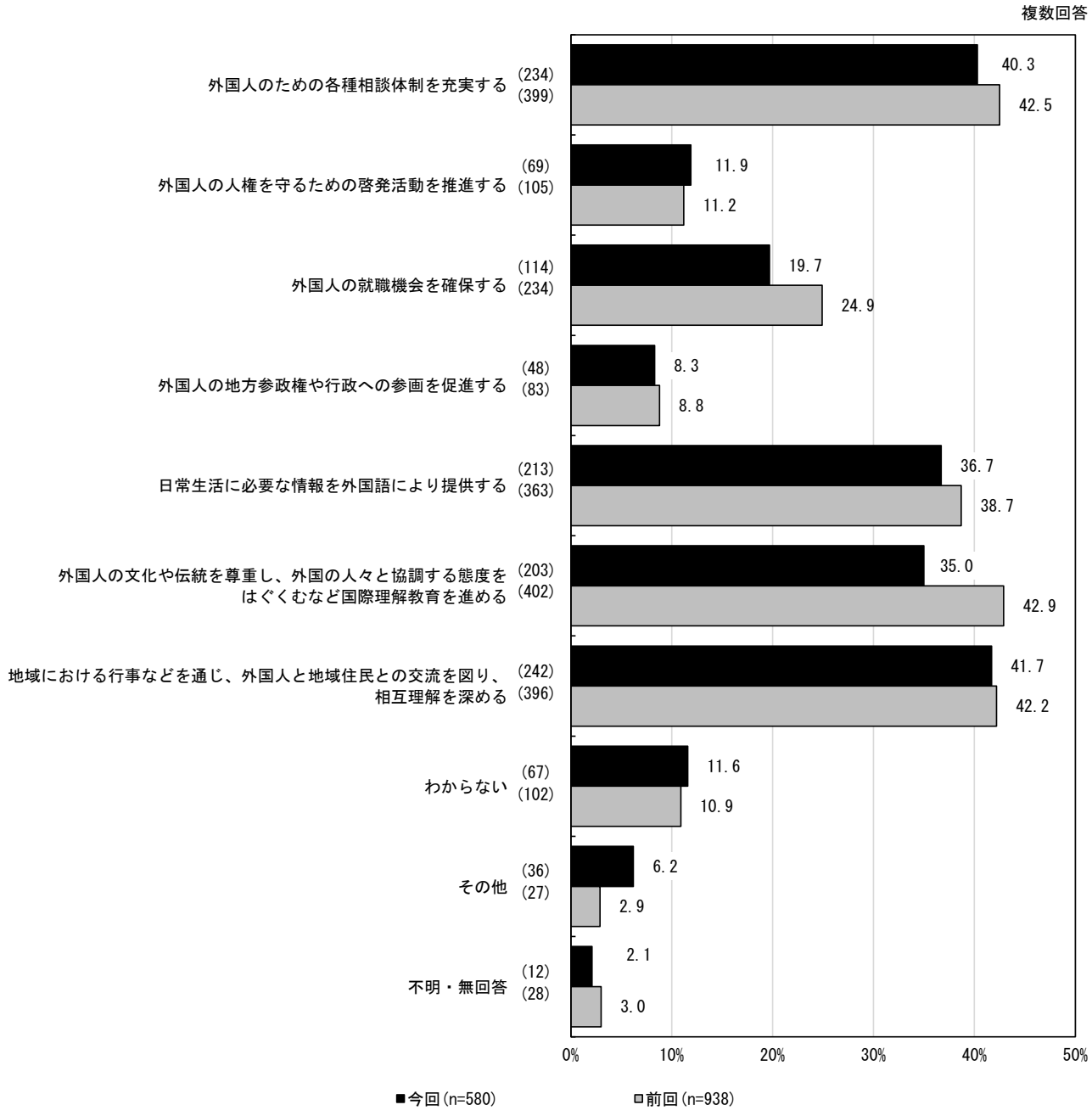
また、60～69 歳では「就職活動や職場において不利な扱いを受けること」が４割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
就職活動や職場において不利な扱いを受けること	28.0%	29.9%	36.9%	28.2%	41.2%	32.6%
年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと	14.0%	14.9%	17.1%	15.4%	26.5%	28.8%
選挙権がないこと	10.0%	4.5%	14.4%	8.5%	8.8%	12.1%
アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと	24.0%	26.9%	20.7%	16.2%	18.6%	27.3%
習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと	28.0%	40.3%	26.1%	47.9%	49.0%	46.2%
結婚の際、周囲から反対を受けること	10.0%	3.0%	3.6%	0.9%	1.0%	4.5%
病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと	16.0%	22.4%	25.2%	26.5%	34.3%	27.3%
お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと	4.0%	4.5%	5.4%	2.6%	3.9%	3.0%
いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること	26.0%	22.4%	16.2%	16.2%	14.7%	13.6%
わからない	16.0%	13.4%	11.7%	17.1%	15.7%	20.5%
その他	6.0%	1.5%	11.7%	6.0%	2.9%	3.0%
不明・無回答	2.0%	1.5%	1.8%	0.9%	4.9%	5.3%

問 33 あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」が 41.7%と最も高く、次いで「外国人のための各種相談体制を充実する」が 40.3%、「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が 36.7%と続いている。

前回調査と比較すると、「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」が 7.9 ポイント減少、「外国人の就職機会を確保する」が 5.2 ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～29 歳及び 60～69 歳では「外国人のための各種相談体制を充実する」、30～49 歳及び 70 歳以上では「地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める」、50～59 歳では「日常生活に必要な情報を外国語により提供する」が最も高くなっている。

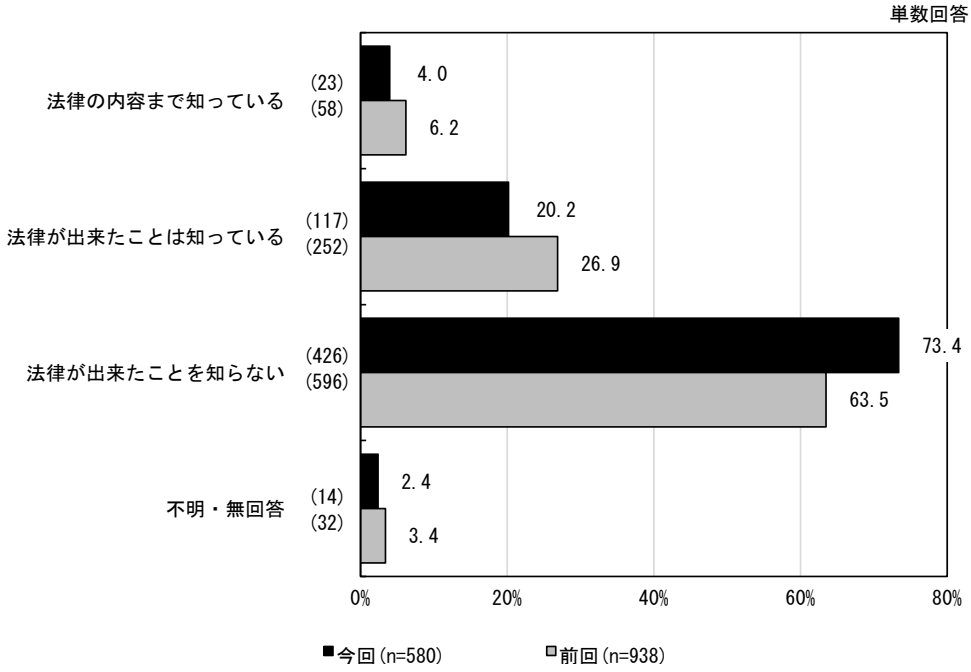
また、60～69 歳では「外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める」が４割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
外国人のための各種相談体制を充実する	42.0%	31.3%	34.2%	35.9%	47.1%	47.7%
外国人の人権を守るための啓発活動を推進する	4.0%	7.5%	7.2%	9.4%	12.7%	22.7%
外国人の就職機会を確保する	24.0%	19.4%	20.7%	15.4%	21.6%	19.7%
外国人の地方参政権や行政への参画を促進する	6.0%	4.5%	9.9%	8.5%	6.9%	10.6%
日常生活に必要な情報を外国語により提供する	22.0%	29.9%	28.8%	38.5%	43.1%	45.5%
外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める	36.0%	32.8%	32.4%	35.0%	43.1%	31.8%
地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める	34.0%	38.8%	36.9%	37.6%	41.2%	53.8%
わからない	10.0%	19.4%	10.8%	16.2%	6.9%	8.3%
その他	10.0%	4.5%	13.5%	6.8%	2.9%	1.5%
不明・無回答	4.0%	1.5%	0.9%	0.0%	2.0%	4.5%

問 34　平成28年6月に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことは知らない」が 73.4%と、「法律が出来たことは知っている」の 20.2%、「法律の内容まで知っている」の 4.0%と比べて高くなっている。

前回調査と比較すると、「法律が出来たことを知らない」が 9.9 ポイント増加、「法律が出来たことは知っている」が 6.7 ポイント減少している。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年齢で「法律が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

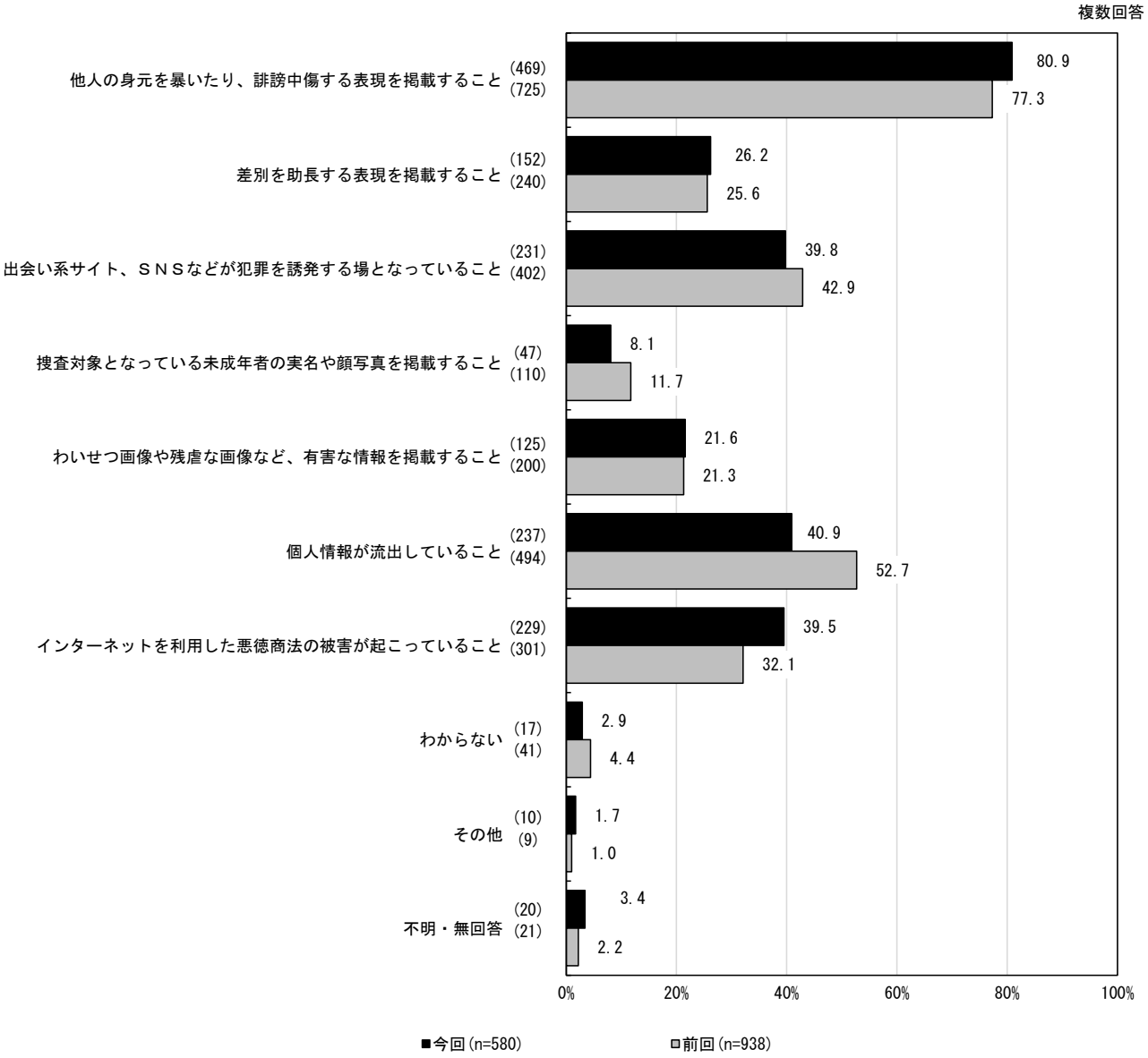
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	4.0%	4.5%	4.5%	5.1%	2.9%	3.0%
法律が出来たことは知っている	20.0%	13.4%	19.8%	21.4%	16.7%	25.0%
法律が出来たことを知らない	74.0%	80.6%	74.8%	73.5%	78.4%	65.2%
不明・無回答	2.0%	1.5%	0.9%	0.0%	2.0%	6.8%

8．インターネットによる人権侵害について

問 35　インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が 80.9%と最も高く、次いで「個人情報が流出していること」が 40.9%、「出会い系サイト、ＳＮＳなどが犯罪を誘発する場となっていること」が 39.8%と続いている。

前回調査と比較すると、「インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること」が 7.4 ポイント増加、「個人情報が流出していること」が 11.8 ポイント減少している。



【年齢別】

すべての年齢で「他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること」が最も高くなっている。

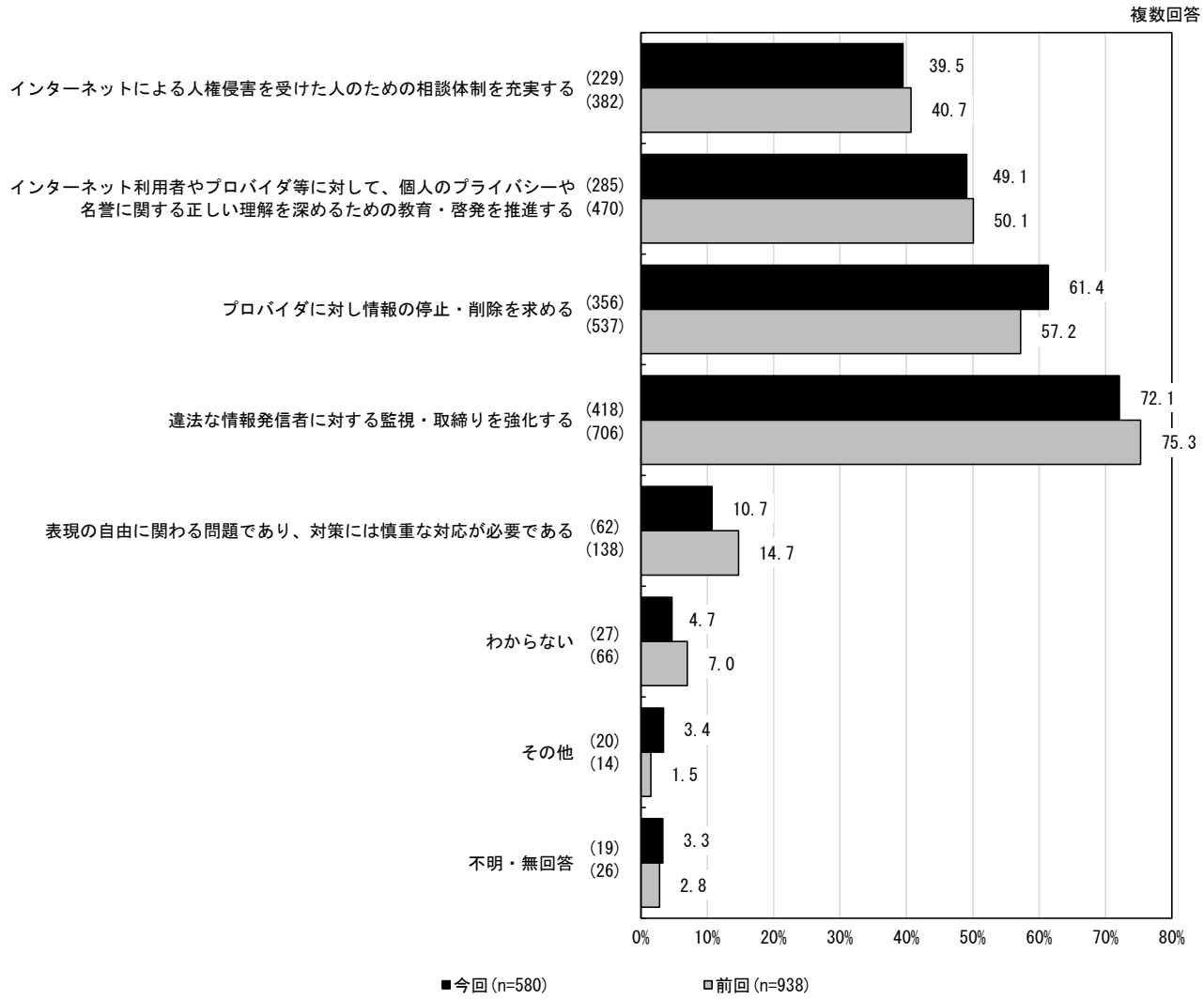
また、30～39 歳では「個人情報が流出していること」が５割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
他人の身元を暴いたり、誹謗中傷する表現を掲載すること	80.0%	82.1%	80.2%	82.1%	86.3%	75.8%
差別を助長する表現を掲載すること	32.0%	38.8%	27.9%	19.7%	28.4%	20.5%
出会い系サイト、ＳＮＳなどが犯罪を誘発する場となっていること	36.0%	25.4%	34.2%	43.6%	42.2%	47.7%
捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること	8.0%	10.4%	9.9%	7.7%	6.9%	6.8%
わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること	20.0%	22.4%	26.1%	19.7%	17.6%	22.0%
個人情報が流出していること	44.0%	52.2%	38.7%	43.6%	45.1%	30.3%
インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること	30.0%	28.4%	41.4%	40.2%	43.1%	43.9%
わからない	2.0%	1.5%	0.9%	1.7%	3.9%	6.1%
その他	4.0%	3.0%	2.7%	2.6%	0.0%	0.0%
不明・無回答	2.0%	1.5%	2.7%	2.6%	2.9%	6.8%

問 36 インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が 72.1%と最も高く、次いで「プロバイダに対し情報の停止・削除を求める」が 61.4%、「インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する」が 49.1%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する」が最も高くなっている。

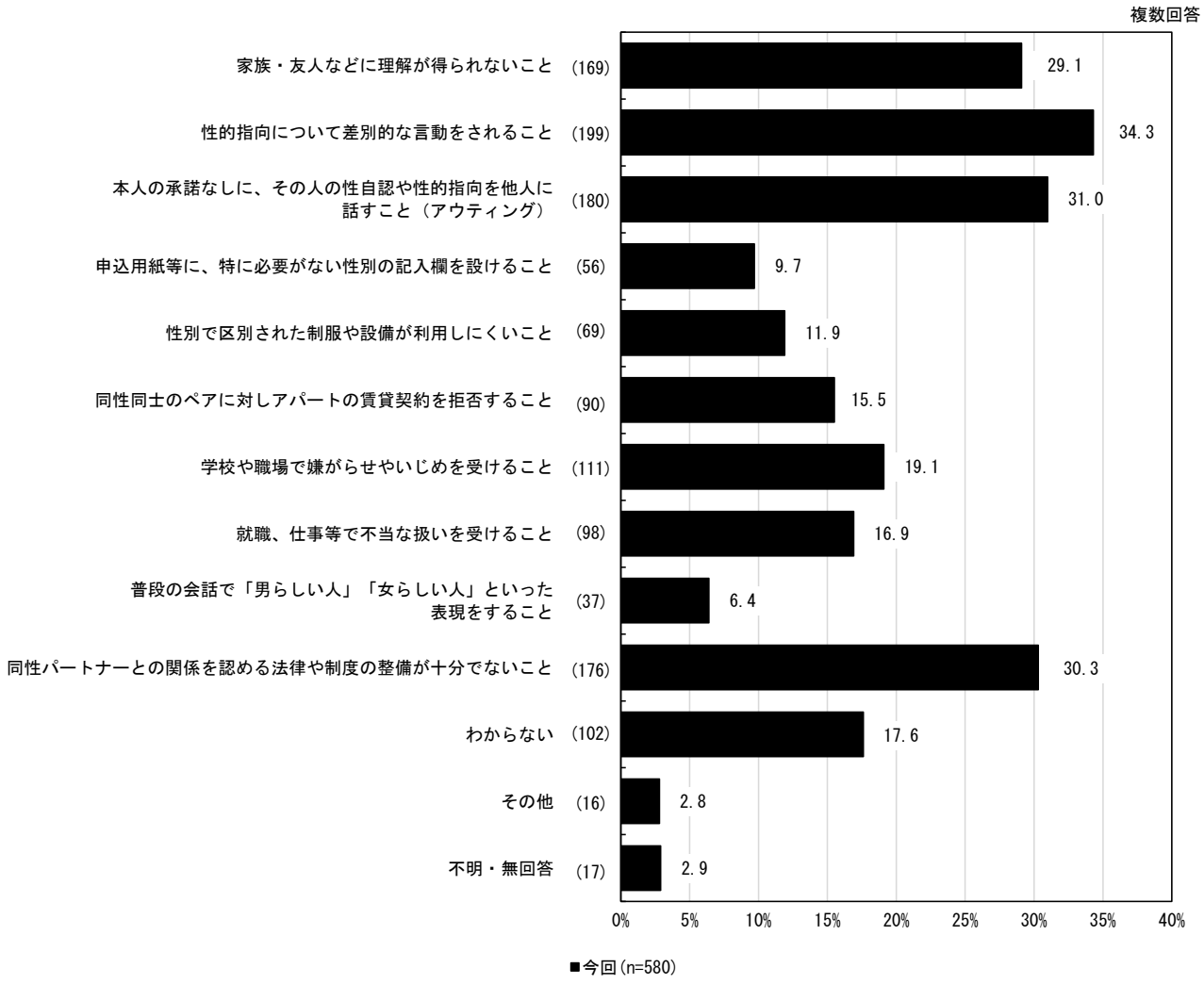
また、70 歳以上では「インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する」が５割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する	42.0%	35.8%	35.1%	33.3%	34.3%	53.0%
インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する	46.0%	49.3%	49.5%	48.7%	55.9%	45.5%
プロバイダに対し情報の停止・削除を求める	48.0%	52.2%	57.7%	65.8%	69.6%	63.6%
違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する	64.0%	74.6%	72.1%	76.1%	77.5%	65.9%
表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である	18.0%	13.4%	10.8%	12.0%	5.9%	9.1%
わからない	2.0%	3.0%	5.4%	1.7%	2.9%	9.8%
その他	0.0%	7.5%	7.2%	3.4%	1.0%	1.5%
不明・無回答	0.0%	1.5%	3.6%	3.4%	2.9%	5.3%

９．性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権について

問 37　性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権に関する事柄について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から3つまでお選びください。

「性的指向について差別的な言動をされること」が 34.3%と最も高く、次いで「本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）」が 31.0%、「同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと」が 30.3%と続いている。



【年齢別】

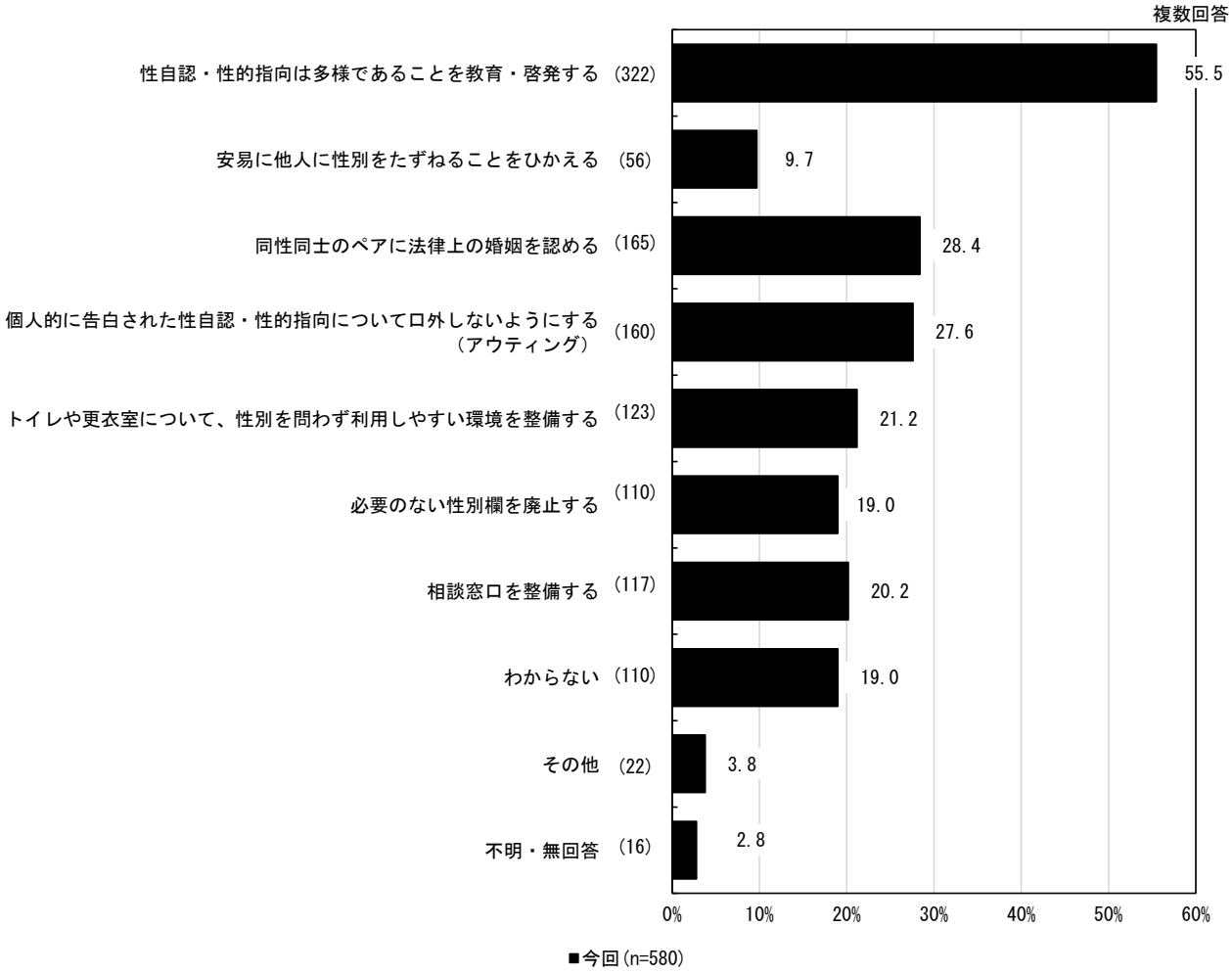
年齢別で見ると、18～39 歳及び 70 歳以上では「性的指向について差別的な言動をされること」、40～49 歳では「家族・友人などに理解が得られないこと」、50～59 歳では「同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと」、60～69 歳では「本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）」が最も高くなっている。

また、18～29 歳の「性的指向について差別的な言動をされること」及び、60～69 歳の「本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）」はそれぞれ４割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
家族・友人などに理解が得られないこと	18.0%	19.4%	34.2%	32.5%	29.4%	31.1%
性的指向について差別的な言動をされること	44.0%	35.8%	31.5%	29.9%	35.3%	35.6%
本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）	32.0%	34.3%	29.7%	29.1%	43.1%	22.0%
申込用紙等に、特に必要がない性別の記入欄を設けること	6.0%	3.0%	15.3%	11.1%	7.8%	9.8%
性別で区別された制服や設備が利用しにくいこと	16.0%	13.4%	14.4%	12.8%	5.9%	11.4%
同性同士のペアに対しアパートの賃貸契約を拒否すること	26.0%	25.4%	13.5%	15.4%	13.7%	9.1%
学校や職場で嫌がらせやいじめを受けること	28.0%	23.9%	16.2%	17.1%	15.7%	20.5%
就職、仕事等で不当な扱いを受けること	18.0%	13.4%	17.1%	13.7%	21.6%	17.4%
普段の会話で「男らしい人」「女らしい人」といった表現をすること	8.0%	11.9%	5.4%	9.4%	2.9%	3.8%
同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと	38.0%	31.3%	27.9%	41.0%	25.5%	22.7%
わからない	8.0%	16.4%	12.6%	12.0%	23.5%	26.5%
その他	6.0%	1.5%	6.3%	1.7%	2.0%	0.8%
不明・無回答	0.0%	1.5%	1.8%	0.9%	2.0%	8.3%

問38 あなたは、性的マイノリティ(LGBTQ等)の人権を守るためにはどのようなことが必要と思いますか。次の中から3つまでお選びください。

「性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する」が 55.5%と最も高く、次いで「同性同士のペアに法律上の婚姻を認める」が 28.4%、「個人的に告白された性自認・性的指向について口外しないようにする（アウティング）」が 27.6%と続いている。



【年齢別】

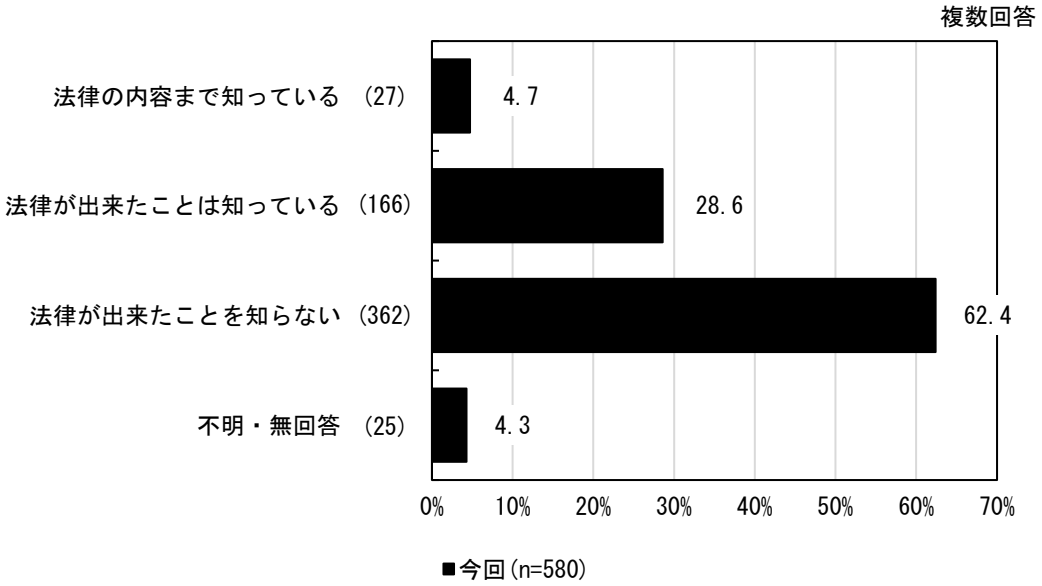
年齢別で見ると、すべての年代で「性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する」が最も高くなっている。

また、18～29 歳では「同性同士のペアに法律上の婚姻を認める」が４割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する	64.0%	58.2%	51.4%	56.4%	64.7%	47.0%
安易に他人に性別をたずねることをひかえる	4.0%	9.0%	7.2%	8.5%	9.8%	15.2%
同性同士のペアに法律上の婚姻を認める	46.0%	29.9%	30.6%	29.9%	21.6%	22.7%
個人的に告白された性自認・性的指向についてロ外しないようにする（アウティング）	36.0%	29.9%	27.0%	26.5%	31.4%	21.2%
トイレや更衣室について、性別を問わず利用しやすい環境を整備する	12.0%	20.9%	20.7%	17.1%	25.5%	25.8%
必要のない性別欄を廃止する	12.0%	16.4%	27.9%	20.5%	18.6%	14.4%
相談窓口を整備する	26.0%	17.9%	18.0%	19.7%	19.6%	21.2%
わからない	8.0%	14.9%	14.4%	16.2%	19.6%	31.1%
その他	4.0%	9.0%	5.4%	5.1%	1.0%	0.8%
不明・無回答	2.0%	0.0%	0.9%	0.9%	2.0%	8.3%

問 39　令和5年6月に、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から1つお選びください。

「法律が出来たことを知らない」が 62.4%と、「法律が出来たことは知っている」の 28.6%、「法律の内容まで知っている」の 4.7%と比べて高くなっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、すべての年代で「法律が出来たことを知らない」が最も高くなっている。

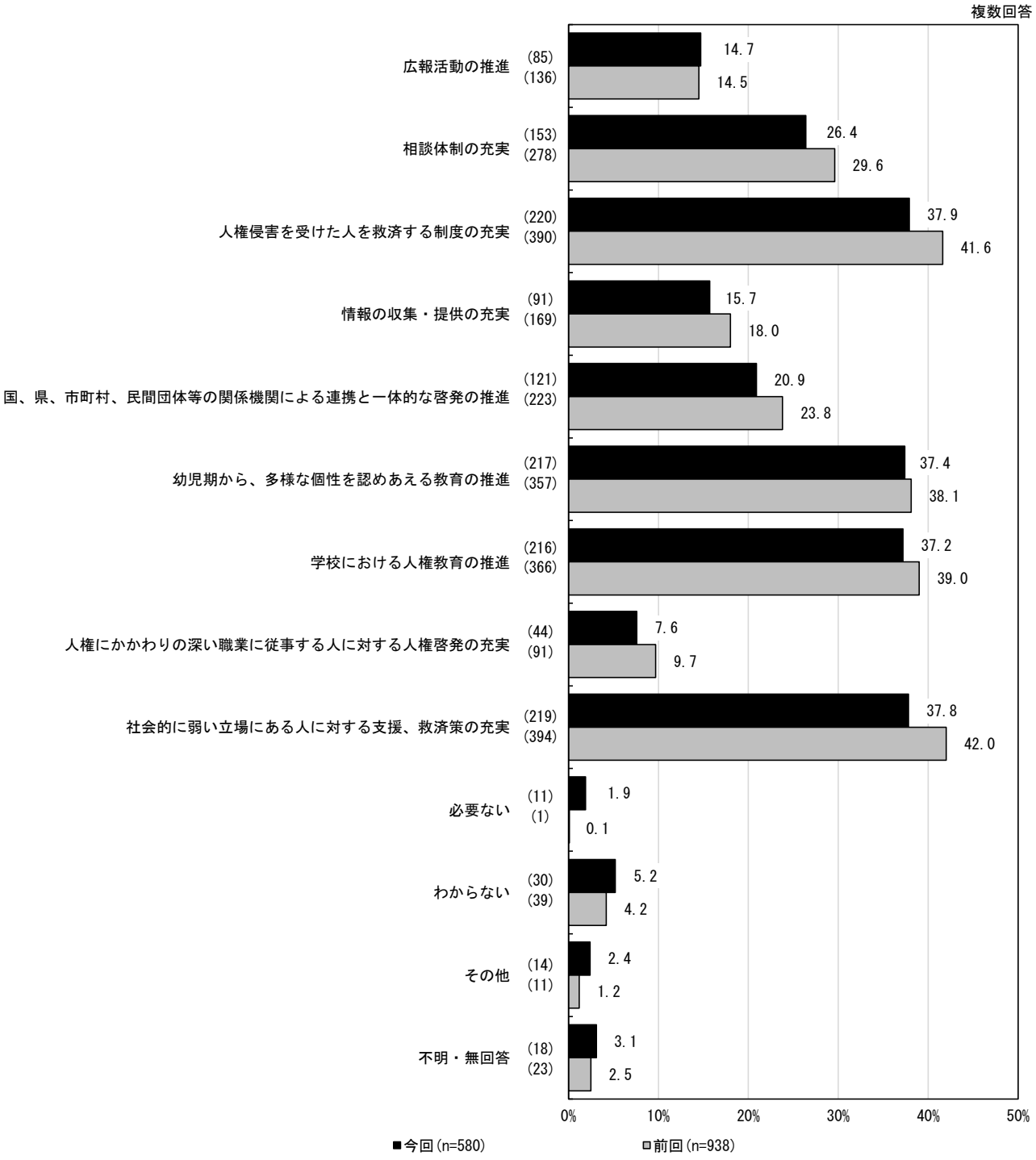
選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50人	67人	111人	117人	102人	132人
法律の内容まで知っている	6.0%	9.0%	5.4%	6.0%	3.9%	0.8%
法律が出来たことは知っている	30.0%	22.4%	26.1%	28.2%	31.4%	31.1%
法律が出来たことを知らない	60.0%	67.2%	65.8%	63.2%	61.8%	58.3%
不明・無回答	4.0%	1.5%	2.7%	2.6%	2.9%	9.8%

10. 人権問題への取組について

問 40 今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から3つお選びください。

「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が 37.9%と最も高く、次いで「社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実」が 37.8%、「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」が 37.4%と続いている。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向となっている。



【年齢別】

年齢別で見ると、18～39 歳及び 50～59 歳では「幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進」、40～49 歳では「学校における人権教育の推進」、60 歳以上では「人権侵害を受けた人を救済する制度の充実」が最も高くなっている。

また、70 歳以上では「広報活動の推進」が２割台と、他の年代と比べて高くなっている。

選択項目	18～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上
回答者数	50 人	67 人	111 人	117 人	102 人	132 人
広報活動の推進	10.0%	7.5%	8.1%	12.8%	14.7%	27.3%
相談体制の充実	22.0%	26.9%	23.4%	25.6%	27.5%	30.3%
人権侵害を受けた人を救済する制度の充実	30.0%	32.8%	34.2%	35.0%	47.1%	41.7%
情報の収集・提供の充実	24.0%	23.9%	17.1%	13.7%	14.7%	9.8%
国、県、市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進	16.0%	16.4%	14.4%	21.4%	23.5%	27.3%
幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進	50.0%	52.2%	32.4%	43.6%	35.3%	25.8%
学校における人権教育の推進	36.0%	32.8%	42.3%	40.2%	43.1%	28.0%
人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する人権啓発の充実	4.0%	11.9%	7.2%	6.0%	7.8%	8.3%
社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実	34.0%	32.8%	36.0%	37.6%	42.2%	40.2%
必要ない	0.0%	1.5%	2.7%	1.7%	2.0%	2.3%
わからない	4.0%	9.0%	5.4%	3.4%	2.9%	6.8%
その他	2.0%	0.0%	4.5%	4.3%	2.0%	0.8%
不明・無回答	4.0%	1.5%	2.7%	1.7%	2.9%	5.3%

11. 自由記述

問 41 【自由記述欄】人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください。

調査票の最後に「自由記述欄」を設け、人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください、としたところ、延べ 181 件の回答がありました。

以下にカテゴリーごとに抜粋した意見を掲載しています。

なお、ご意見の内容については、趣旨を損なわないように注意して一部要約したものもあります。

1. 人権全般に関する意見

内容	年齢
人権問題に関するワードは近年何度も耳にすることがあったが、問題そのものを深く考える機会はこれまであまり無かった。今回のアンケートをきっかけに、より国民誰もが幸せに、不自由なく暮らしやすい世の中を作っていかないとと強く思った。	18～29歳
人権問題については基準が人によって異なっているため、難しい問題であると感じています、おふざけ感覚、だっただけと思う人もいるのは事実あるかと思います。どのような行動、言動が人権問題につながるのか、過去の事例を知ることで意識を高めることができると思います。年齢によらず、定期的に人権問題に触れる機会があればより関心が深まると考えています。	18～29歳
非常に根深い問題だと考えております。高齢化社会になっているということは、生きてきた時代・環境・常識が、長いと、80年ほど違う人間が共存していることになります。日本では被害を受けた側が対策を、という風潮が強いですが、実際に問題があるのは加害者側であり、加害者側に対策するべきではないでしょうか。	18～29歳
今後も様々な分野で人権問題について出てくると思う。義務でなく権利のため、ある程度寛容であってほしいと願う。多数派の意見だけでなく、少数派の意見も受け入れられる世の中になってほしいと思う。ただし、その裏で権利の主張だけにならないように、ある程度の枠を設けることも大切であると考える。そして、法律や条例についてはもっと世の中の人々が関心をもち、理解できるような対策をとってほしい。	30～39歳
そもそもデリケートでセンシティブな問題を赤裸々に吐露すること自体とても勇気や決意がいる事。言葉にしたくてもしたくない、できない。思い出したくもないことも多い。問題が生じてからではなく、日々やコンスタントなコミュニケーションのもと構築された信頼関係が無ければ声を上げることすら難しい。相談窓口に立つ人間（特に女性問題、子供、育児、妊娠・出産など）が問題となる経験に対し無知・未経験では話にならない。	30～39歳
このような形で市民の声や感度、現状を知っていただけるのは大変有意義で効果的な取り組みだと思います。他にも草加市、埼玉県がより地元にもっと愛着を持てるよう、地元同士での交流を持てるような施策を行って頂きたいです。	40～49歳

内容	年齢
正直、今の日本では人権の侵害が酷いレベルであるとは思っていません。割と人権は尊重されていると感じています。しかし世間では男女平等、LGBTQ、外国人受け入れなど、もっと推進していくべきだという声が大きいのが事実です。そして、人権団体などが権利の主張について声高に発信していくことで、それが法律化されたりして歪み始めています。それが後にどんな歪みになるか、考えれば分かりそうなものですが、実際は、そういった声を取り込む方向で話が進みがちです。これを続けていったらどうなるか、日本が衰退の一途を辿るということだと思います。	40～49歳
若い方々は高齢者に比べて人権問題について自然に考えられるようになっていると思います。それは長年かかりながら少しずつ浸透してきたものだと思いますので、地道に啓発活動をしていくことが大切と思います。今現在困っている人たちには、わかりやすい相談窓口と聞く耳のある職員と丁寧な対応があるとよいと思います。	50～59歳
近年、多様な個性を積極的に認める世の風潮は感じています。但し、やはり認めるだけではなく、お互いを尊重し思いやる気持ちが重要であると考えます。最近は自分の事で手一杯となり､生活や生きていくのが精一杯の方が多いのでは？その様な方達への支援も含め、お互いを認め合う優しい社会の実現が叶うと人権問題解決への一助になるかと考えています。	50～59歳
当事者がもっと声をあげられる社会になると良いと思う。そのためにはまずは理解すること、子どもの頃から正しい知識を得られるような環境を作ることが重要だと思う。教える、というより、今差別を受けるような人が身近に普通にいる環境が当たり前と思えるようになると良い。	60～69歳
食べることも満足に出来ないから子供食堂などがある訳ですが、そういった事も家庭で教えてくれるはずもなく、学校では皆に貧しい事をかくしてついていくだけで必死なはず。いろんな事を教えてくれる人が身近にいない！行政の方達にかかわると大層な事になってしまうと子供は思ってしまう。気軽にいろんな事、大変な事が起きたら行政に頼るんだとかそんな事を教えてあげたい。	60～69歳
日常の生活の中で、人権に関する啓発活動がもっと行われていれば、私たちが知り、理解を深め、何か事が起こった時に自分の身におきかえて考えることもできるので、続けて啓発活動することは、大事だと考えています。	70歳以上

2. 女性に関する意見

内容	年齢
昨今、体は男だが心は女だから女性トイレで女性風呂に入りたいという声が聞こえてくる。それに対し、県や市が女性用トイレを撤廃してオールジェンダートイレを作る風潮が見られる。これは女性の人権が守られていないと思う。女性用トイレ、男性用トイレ、オールジェンダートイレの3つを作ればいいのに、何故女性用トイレを撤廃するのだろうかと疑問に思う。	18～29歳
性犯罪の厳罰化の推進、インターネットなどでの成人向け広告等のゾーニングは必要だと思います。国、議会など決定権を持つ場所に、女性をはじめとするマイノリティが進出しなければ、日本はジェンダーギャップ順位が低いままなのではないかと思います。健康な成人男性のみで形作られてきた「日本」を多様でみんなが安心して過ごせる、好きになれる日本にするために少しずつ改善出来たらいいと感じます。	18～29歳
LGBTQが話題になることが多いが、女性を自称して女性トイレや女湯に侵入し、その場にいる女性達を性的な目で見たり隠し撮りする等悪質な行為をする男性もいる。施設によっては女性トイレを廃止する所もあり、女性の権利が侵害されていると思われる場面が増えているように思う。元々性的マイノリティを抱えて生きてきた人々は、大々的に話題にされることを望まず、自分の身体的性別に合わせて生活しているようなので、特別法律や条例等を作る必要は無いと考えている。	30～39歳
ジェンダーについて、多様性を重んじすぎて公衆のトイレ・浴場・更衣室など一般の女性が尊重されていない。一般女性を無視しているとも思われる事例もある。男性・女性の他にジェンダーレス用などを設けられないのであれば、多様性という名のもとに一般女性をぞんざいに扱うのは違うと思う	50～59歳
私が20代のころは、電車内のちかん、ハラスメント、会社でのセクハラ（チークダンス強要、取引先とののみ会のお酌、そうじお茶くみなど)、マタハラ（「女はこれだからこまる」と一部上場企業の部長に言われる。）パワハラ（女の先輩による手柄の横取り、ミスの押しつけ）などは、日常であり、自分自身のふがいなさに涙するも、人権侵害であるという意識はありませんでした。〇〇ハラスメントという言葉ができたことで、多くの人に、人権意識が芽生えていると思います。どんどん、やさしい社会に。思いやりのある人が増えてほしいと思います。	50～59歳
女性の人権については、会社での活動がまだまだ男性中心であり、役職に就く女性も少ないのが現実であり、女性は子育て、家事等という昔からの考え方が少なくないのが現実である。	70歳以上

3. 子どもに関する意見

内容	年齢
子どもの人権に関しては経験格差が話題になっていますが、それを助長するような経験重視の入試はやめるべきです。経済格差が経験格差を生み、それがまた経済格差に繋がっていくとしか思えません。川口の地価が低めの地域で勤務していますが、夜ご飯が基本菓子パンの子どもや、家族旅行に行ったことのない子どもがたくさんいます。見えづらい貧困が確実にあります。	30～39歳
子どもの人権に対する認識の強化。保護者が子どもの写真や動画のSNS投稿や、子どもに選択肢を与えない（所有物のような扱い）など、身近で感じることがよくあります。子どもの気持ちを尊重できる社会になってほしい。	30～39歳
まず早急に考えなければいけないと思うことはいじめについてです。これは昔からずっと続いていることで、無くさなければならないことなのに未だに有り続け、傷つかなくて良い人達が沢山傷つき、家族も一緒に心を痛めているということです。そして大変残念なことは、学校やその他の教育機関が寄りそってくれる時と寄りそってくれない時の両方があるということ。又学校や教育機関が加害者被害者へ平等に対応をしなければならないことは理解しています。が、やはり第三者的に見ると、いじめを受けてしまった子どもや家族に対しての配慮や温かさが全く足りていないということです。そして市や県により、教育者の考え方、対応する力が異なるということ。そして非常に悔しくもどかしい気持ちになりました。私は今、義務教育の子どもを持つ親の一人です。わが子が当事者になってもならなくても、今が動けるとき、動くときだと考えております。と言っても、何からどうスタートして良いのかわからないのでこの想いに同調し、共有してくれる親達を増やしている状態です。	40～49歳
子供の虐めなどは、虐められた子は学校にも行けず辛い思いをするが、虐めた方は普通に学校に行っているのはおかしいと思います。虐めた子には何のペナルティもなく、虐めた方が勝ちみたいな世の中になっていると思います。虐めを行った人こそ児童相談所で施設に入れて教育をしてほしいと思います。	50～59歳
子ども同士のいじめや、教師の体罰、親の虐待による子供の死亡のニュースが後を絶たない世の中になっていることがとても悲しい。保護者や教師、対応する機関が早期の相談や対応できる体制を強化すべきである。対応不十分な教師や機関による子供の死を防いでほしい。いじめについては、被害者へのフォローや社会復帰活動を充実させるとともに、加害者への対応も考えてほしい。	60～69歳

4. 高齢者に関する意見

内容	年齢
いろいろ思うところがありますが、今の70-80代以上の方たちにかなり人権問題のイシキが低い。私も障がい者だけど近所のおばあさんたちは近づかなくなりました。哀しいことです。	50～59歳
あれこれ言っているのは、ごく一部の者だけで、それほど気にした事は無いが高齢者の事だけは考えた方が良いと思う。	50～59歳
インターネット（ネット社会について）一人暮しの高齢者がこまらない社会にしてほしい。ネットについて教育を受けていない高齢者に役所はもっと向き合ってほしい。パソコン、スマホ等希望する高齢者を対象に、講習等をしてほしい。（若者には分からないギモンを沢山かかえています。）	70歳以上
これから後期高齢者になる者にとって、振り込め詐欺などの被害に合わない様に色々な情報を理解し生活出来たらと思います。	70歳以上

5. 障害(がい)者に関する意見

内容	年齢
障害を持つ方が生きやすい世の中になれば、自動的に他の属性にも生きやすい世の中になるかと思います。	18～29歳
障がい者の人権について、こちらもとても大事だと思いますが、障がいも程度があってとても難しいです。つい最近も、職場へ他の職場の障がい者の方から執拗な嫌がらせが発生したばかりで、対処に憂慮しているところです。全部が守られてよいのか、疑問に感じています。	30～39歳
私は特に障がい者に対する人権問題について、まだまだ整備されていないと感じています。彼らは“好きでなった訳ではない”そういった人達が公然と差別をされている状況に怒りすら感じます。	50～59歳
息子は重度の知的障害者です。施設や精神病院において虐待のニュースが多く、胸が苦しくなります。言葉で伝えられない、怖くても逃げることのできない人たちになぜそんなひどいことができるのだろう…。バスの運転手さんや駅員さんの中にも「どうせこの人たちには言っても仕方ないでしょう」と冷たい対応をしたり、突然複数人で囲み質問攻めにし、パニックをおこした子がいます。ひどいトラウマになり、公共機関が使えなくなったようです。怖い人、変な人、気味悪い人、無理解、わからないということがとても大きいです。少しずつでも知っていただけたら本当に生活しやすくなり親としてもありがたく存じます。	50～59歳
障害者雇用に関して（正社員、アルバイト等） 1.正規の採用に比べ、時給や、労働時間の規定、仕事内容などに差をつけすぎと感じる。 2.身体より精神の障害を対象にしている企業が多く、特にサービス業は、詳しく聞かずに身体の障害者は不採用にする。（実際に見た目が悪いので不採用とされた事もある。人権問題だと思う） 3.採用されても、健常者と別の支店に障害者だけ集めて仕事をさせたり、研修に参加させなかったり、仕事を与えてもらえなかったりと、採用する企業は、ただ、雇っているというだけのような所が多々あった。 もっと企業側に障害者を雇用する際の人権を含め研修をしてほしい。	60～69歳

6. 同和問題に関する意見

内容	年齢
自分は東北地方出身ですが、県内全域で自分の集落のことを「部落」と日常的に呼んでいます。なので、記載の内容があまり理解できません。もしかしたら県自体が他県から部落差別を受けていたのか？と質問を読んで混乱しています。もし質問に記載のあるように一部地域だけ差別を受けていたとしたら、とても辛いと思います。まずは部落が何であるのか、から勉強したいと思いました。	30～39歳
私達は生まれる国、親、環境を選んで生まれるわけではありません。同和地区に生まれて、差別され、将来まで不安を持ち生活することになります。そういう方々への思いやりを持ち差別意識を無くすように思いがけているつもりです。	60～69歳
近所にも同和出身者と言われる人が居ますが、そんなこと関係なくよいおつき合いをしています。人間性の問題と思います。	70歳以上
半世紀以上前には、同和問題は最も人権尊重に反する問題だと日常生活にはびこっていました。中学生だった私は人種差別だと親たちの大人の世界のことだと思っていましたが、結婚適齢期になるとより強い差別を目にしたり聞いてきました。親に反対され同和地区の人と結婚された方は親子の縁を切り全く付き合いをしない（勘当）されたと聞いた人は、一人や二人ではありませんでした。歴史を知り理解を深め、地区の名称を廃止し平等な世の中になることを望みます。	70歳以上

7. 外国人に関する意見

内容	年齢
外国籍の人々が長期間日本にすんでいてみんなと同じように税金を納めている場合国の政治に影響を受けるのは当たり前であり選挙に参加する権利をもつべきではないかと思う。	18～29歳
外国人に関しても、私自身が外国人ですが受け入れてもらって当然、若しくは受け入れられる社会であるべきと思わないことが一番です。受け入れてもらうという発想では自分らが〝外〟であることを忘れてしまっているので烏滸がましいと思われても仕方ないです。外国人側が相応の努力（言語の取得や文化への適応など）を行うこと、それを支援することまでは役所の範疇かもですが、それ以上は必要ないと思います。	18～29歳
川口市で、不法滞在のクルド人や中国人による死亡事故や危険運転、治安の悪化を憂慮しています。市町単位の話ではないですが、法の穴をついたような免許取得等見直してほしいなと思います。このままだと適法に日本にいる外国人にもヘイトが向くと思います。	30～39歳
外国人の犯罪が多くなっていたり、日本人の価値観にそぐわない生活基準を貫く（寄り添うことや、自身が外国人であることの自覚がない）人々が本当に多く、受け入れたくても、受け入れたくない気持ちもあります。外国人にとってはあくまでも日本は海外であり、自分が「合わせていく」というスタイルの方には、救済の制度があっても良いと思いますし、私も助けたいと思いますが、自国の価値観をこちらに押し付けるような方々とは良い関係は築けませんし、人権も必要ないと考えてしまいます。	40～49歳
外国人に関する人権について。外国人に人権がある事は理解できる。しかし今、習慣の違いなどで度々問題も起きている。コンビニで集まっていったり、夜中大きな声で電話していたり、正直迷惑だと思う事もある、なんでもかんでも、人権で保護する考えは違うと思います。外国人側も住んでいる場所のルールをよく考え、日本人側も外国人への考えを理解する必要があります。お互いの歩み寄りが今後大切な事かと思います。	40～49歳
私は在日韓国でした。(今は帰化しました) 顔だけでは私が外国人だと判断することは、他人にはできないと思います。それで外国人であることは、言えない。そういう状況になってしまいます。言えない状況があとで何故言わなかったか？や、もしかして外国人？等の問題が起こります。私は在日韓国人の通称名は必要ないと思います。そうすればこちらから告白する必要もなく、最初から外国人として生きられます。	50～59歳
私の生まれた育った町、川口が誰でもが住みやすい町として、今後も発展してほしいと思います。川口は特に外国人労働者の方も多いので、そういった方々の人権（不当な待遇などのないように）も守られるといいなと思います。	60～69歳
今回のアンケートで私の考えと役所が出してきた質問に内容の差があるように思えました。人権問題は大切ですが今いる日本人を守り、その生活を安心させていってほしいです。外国人の人権を出す前に日本人が疎外されている（川口市のように）現状を直してほしいです。日本人は差別なんて他国のようにしていないと思います。	60～69歳
ヘイトスピーチ等を行っている人達は何故自分と違う人を認められないのか？人はひとりひとり別であって同じではない。色々な肌の色、考え方、言葉の違いを認めその人、その国等について知る事から始め、対話できる交流できる場を設けてほしい。	70歳以上

8. インターネットによる人権侵害に関する意見

内容	年齢
主にネットを中心に外国人や性的少数者に対する差別が広がり、差別的な言動がもてはやされるようになったと感じています。差別を無くすためにも差別的な言動を繰り返す人に対しては何らかの罰則が必要と考えています。また、子どもに対しては「差別は恥ずかしいこと」であると啓発をして頂きたいです。	18～29歳
SNSが当たり前の時代になり、誹謗中傷が多すぎる世の中に疲れています。	40～49歳
インターネットによるヘイト、差別発言の規制が必要と考えます。人権問題について考えることは、自分自身のため、家族、関わる人たちのために必要なことだと思う。 子どもの頃からの教育は大切だと思いますが、偏った道徳感などには注意が必要と考えます。	50～59歳
インターネット上の人権を守るためについて、ですが、近年ネット、スマホ社会で、10代くらいからスマホ利用できています。そこでゲームの課金や、闇バイト、悪徳商法など、情報が（悪い）多すぎます・・・実際に甥が百万円課金してしまったケースや商品注文代金支払い商品が届かず・・・さらに、カンタンに、高金利ローン借り入れてきてしまったり、がありました。目で見える犯罪も多いですが、ネットの犯罪は、もっともっと（見えてない分）多くて、コワイです。小学生、高校生の頃からもっとネット犯罪の知識の教育を入れ、国レベルで犯罪を取り締まっていくことが早期に大事だと思う！！まだ子ども（10代とか）はお金の価値がわからない・・・世間を甘くみて知らないと思う・・・。そういったところから、教育体制を整えるべきではないかと思う。未来の日本を繋いでいく若者だから。	50～59歳
SNS等での人権無視、誹謗中傷等　インターネット会社の掲載削除体制の強化が必要と思う（法的制限も含め）	60～69歳
SNS等で、人に対してキズつけたりする事が多い中で、自殺する者もでたりする世の中では、つらいのでは。道とくは大切だと思う。	70歳以上

9. 性的マイノリティ(LGBTQ等)に関する意見

内容	年齢
女性、子供、高齢者の人権だけでなく男性の人権の項目も追加していないことこそが男女年齢障がいに関わらず平等であるというものに反していると思います。確かに、ハラスメントやいじめなどの被害者に男性がならないとは限りませんし、今までも少なからず被害を受けた方もいます。また何かを相談した際に男なんだからと一蹴されてしまうこともあります。だからと言って男性の方が上だとか言っている訳ではありません。必ずしも男性のみに起こると限ったことではないですが、全ての人の現状を把握しそれを解消していくようにしていかないと平等には近づかないのでは？と、アンケートに回答していて、ふと、思いました。	18～29歳
性的マイノリティの人権問題については問題かどうか見極める必要があると思います。例えば選択肢の「アパートが借りられない」は明らかに差別ですがトイレに関しては彼らがマイノリティである以上多少不便を受け入れてもらう必要もありそうです。実際受け入れている人も多くいるはずです。	18～29歳
よく「女性スペースに身体男性が入りたがっている」というトランスジェンダー差別を目にする。(逆は聞いたことがない)解決方法が見えず平行線で、トランスジェンダーの人の立場がどんどん悪くなり心配。	30～39歳
同性婚を認める社会になってほしい。	40～49歳
性的マイノリティの人権を守るために、トイレや更衣室等を性別問わず利用できるようにすることは、やめてほしいです。何故なら、外見だけでは精神的性別を判断できませんし、女性を装って女子トイレ等を利用する男性が性犯罪を犯すことも考えられます。女性や子どもの安全や尊厳、権利を守るために、従来通りの男女別トイレや更衣室は必要です。	40～49歳
LGBTQに関しては、受け入れられるべきだと思うが、トイレ、更衣室など個室を一緒に使用することに抵抗を感じる。性的な指向については何とも思わないし、サポートされたり理解された方が良いと思うが、偽りのLGBTQにより犯罪が起こらないとは言いきれず不安が多い。	50～59歳

10. 人権教育に関する意見

内容	年齢
差別を無くすためにも差別的な言動を繰り返す人に対しては何らかの罰則が必要と考えています。また、子どもに対しては「差別は恥ずかしいこと」であると啓発をして頂きたいです。	18～29歳
私が今感じるのは、子供の頃、こういう障害を持っている人がいるよや、男の人で男の人が好きな人もいるよなど、そういったことを当たり前のように知る機会があったら、大人になった時、偏見を持つことなく接することができるのではないのかなと思います。自分の子供が2人いますが、もし子供達が同性の方を好きになったら、それは素晴らしいことだし、人を好きになること自体が素敵だよと教えたいなと思います。それと同様に障害のある方や外国人の方などへの理解も子供のうちから深めていって欲しいなと思います。	30～39歳
妊娠中に優先席の前に立っていても席を譲ってもらえなかったことを今でもある意味心に残っている。妊娠をしている人や小さな子供がいる人たちに優しい世界になってほしいと思うが、自分がその立場にならないとわからないのかもしれない。そのためには、その立場になった体験・実感をすることが大切だと思うが、学校以外でできる機会はあるのだろうか？教育現場では教えることがひっ迫し過ぎている。「人権」を大切にするためには教育現場はやることを整理し、今課題になっていることを勉強すべきだと思う。	30～39歳
「人権問題」の言葉だけが先行していて、理解を深めるための教育や、風通しの良い環境がまだまだ足りないと感じている。雇用機会の拡大と生活に必要な賃金の確保に力を入れてほしい。また子どもの人権については、学校内での道徳教育（対子ども）、子育てセミナー（対家族）の徹底が求められると思う。老若男女問わず、ひとりひとりがイキイキと生活しやすい社会になることを切に願っています。	40～49歳
若い世代では、親や祖父母の世代よりも差別意識が低くなってきていると感じます。（特にジェンダーに関して）。学校教育で人権意識を高めることは非常に重要と思います。	40～49歳
子供の頃、学校の授業で同和問題については学びましたが、それ以外の人権問題について正直しっかり考えてきたことはありませんでした。今回の“調査”を受け自分自身で調べ考えなければいけないと思いました。	50～59歳
人権問題は短日では理解普及しないので、幼児期からの長い教育の中で、しっかりと人権問題をとらえ、啓蒙活動が必要と思う。	70歳以上
現在は特に人権問題については中々一歩踏み込めない環境にあり色々と理解しても難しい問題です。その為、学校で人権教育を少しずつ推進していく事が早道ではないかと考えます。	70歳以上

４．人権意識調査票

※該当する選択肢の番号に○をつけてください。

あなた自身のことについておたずねします。

問１　あなたの年齢は次のどれにあてはまりますか。

１　１８～２９歳
２　３０～３９歳
３　４０～４９歳
４　５０～５９歳
５　６０～６９歳
６　７０歳以上

「人権」全般についておたずねします。

問２　今の日本は、基本的人権が尊重されている社会であると思いますか。次の中から１つお選びください。

１　そう思う
２　どちらともいえない
３　そうは思わない
４　わからない

問３　国民一人ひとりの人権意識は、以前に比べて高くなっていると思いますか。次の中から１つお選びください。

１　そう思う
２　どちらともいえない
３　そうは思わない
４　わからない

問４　「近ごろ、人権尊重が叫ばれる一方で、権利のみを主張して、他人の迷惑を考えない人が増えてきた」という意見がありますが、あなたはこの意見についてどう思いますか。次の中から１つお選びください。

１　そう思う
２　どちらともいえない
３　そうは思わない
４　わからない

問５　日本の社会には、人権にかかわるいろいろな問題がありますが、あなたが特に関心をお持ちのものを次の中から３つまでお選びください。

1	女性に関する人権
2	子どもに関する人権
3	高齢者に関する人権
4	障害（がい）者に関する人権
5	同和問題（部落差別）
6	アイヌの人々に関する人権
7	外国人に関する人権
8	エイズウィルス感染者・ハンセン病患者の人権
9	インターネットによる人権侵害
10	性的指向の異なる人・性同一性障害者の人権
11	その他（　　）

問６　あなたは、最近（過去５年間）、自分の人権が侵害されたと思ったことがありますか。次の中から１つお選びください。

1	ある	→ 問７へお進みください。
2	ない	→ 問９へお進みください。
3	わからない	→ 問９へお進みください。

（問６で「１　ある」と答えた方におたずねします。）
問７　どのような人権侵害でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

1	あらぬ噂（うわさ）をたてられたり、他人から悪口や陰口を言われた
2	名誉・信用を傷つけられたり、侮辱された
3	社会的地位、慣習、脅迫などにより、意に反することをさせられたり権利の行使を侵害された
4	人種・信条・性別などにより、不平等または不利益な取扱いを受けた
5	学校、職場、地域において、不当な待遇や言動を受けた
6	プライバシーを侵害された
7	性的嫌がらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた
8	特定の人に執拗（しつよう）につきまとわれた（ストーカー被害）
9	その他（　　）

（問７で答えた方におたずねします。）

問８　その時、どうされましたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

1	友達、同僚、先輩、教師、上司に相談した
2	家族、親戚に相談した
3	警察に相談した
4	弁護士に相談した
5	公共機関(県、市町村、法務局、人権擁護委員や人権相談)に相談した
6	民間団体に相談した
7	相手に抗議するなど自分で解決した
8	黙って我慢した
9	忘れた・わからない
10	その他（　　）

女性に関する人権についておたずねします。

問９　女性に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

1	男は仕事、女は家庭など、男女の固定的な役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）があること
2	昇給昇進時の男女差や、責任ある仕事を任せてもらえない、妊娠、出産等を理由に不利益な扱いを受ける（マタニティ・ハラスメント）など、職場において女性であることを理由とする待遇の差があること
3	育児、家事、介護等を男女が共同で担うことができる社会システムが整備されていないこと
4	夫やパートナーから暴力をふるわれること（ドメスティック・バイオレンス）
5	職場等で性的嫌がらせをされること（セクシュアル・ハラスメント）
6	性や身体のことを自分で決め、守ることができる権利（リプロダクティブ・ヘルス／ライツ）の意識が浸透していないこと
7	売春・買春
8	女性のヌードがアダルトサイトやビデオ、ＤＶＤ、雑誌などにおいて商品化されていること
9	女性だけが「奥様」、「婦人」、「未亡人」と言われること
10	わからない
11	その他（　　）

問10　女性の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　女性のための各種相談体制を充実する
2　女性の人権を守るための啓発活動を推進する
3　男女平等や性についての教育を充実する
4　女性の就業機会の確保や、職業能力開発の機会、ワーク・ライフ・バランスを推進する環境を充実する
5　議員、企業役員や行政の審議会等への女性の参画を促進する
6　女性が暴力等の被害から避難するための「シェルター・緊急待避所」を整備する
7　女性が被害者になる犯罪の取締りを強化する
8　相談機関などが暴力を受けた被害者の意思や気持ちに配慮した対応をする
9　捜査や裁判で、女性の担当者を増やし、被害女性が届け出しやすいようにする
10　テレビ、映画、新聞、雑誌、インターネットなどのメディアの倫理規程を強化する
11　わからない
12　その他（　　）

子どもに関する人権についておたずねします。

問 11　子どもに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

1　言うことを聞かない子どもに保護者がしつけのつもりで体罰を加えること
2　保護者が子どもに対して身体的、心理的に虐待すること
3　子ども同士が「暴力」、「仲間はずれ」、「無視」などのいじめをすること
4　いじめをしている子どもや、いじめられている子どもを見て見ぬふりをすること
5　学校や就職先の選択等について大人が子どもの意思を尊重しないこと
6　教師が子どもに体罰を加えること
7　児童買春・児童ポルノ等
8　わからない
9　その他（　　）

問 12　子どもの人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　子どものための各種相談体制を充実する
2　子どもの人権を守るための啓発活動を推進する
3　体罰禁止を徹底する
4　学力偏重の入試制度のあり方を改める
5　教師の人間性、資質を高める
6　大人が他人に対する思いやりなどを教える（善悪や道徳等）
7　大人が子どもの個性を尊重する
8　わからない
9　その他（　　）

高齢者に関する人権についておたずねします。

問 13　高齢者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

1　働ける能力を発揮する機会がないこと
2　悪徳商法や振り込め詐欺による高齢者の被害が多いこと
3　病院での看護や福祉施設での対応が十分でないこと
4　高齢者を邪魔者扱いし、高齢者の意見や行動を尊重しないこと
5　介護制度が十分でないこと
6　情報がひとり暮らしの高齢者に十分につたわらないこと
7　家族が高齢者の世話を避けること
8　道路の段差解消、エレベーターの設置その他の高齢者が暮らしやすい街づくりや住宅づくりが進んでいないこと
9　わからない
10　その他（　　）

問 14　高齢者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　高齢者のための各種相談体制を充実する
2　高齢者を思いやり、人権を守るための啓発活動を推進する
3　高齢者が自立し、生活しやすい環境を整える
4　病院での看護や福祉施設での対応を改善する
5　看護・介護に関する情報を細かく広報する
6　高齢者の就職機会を増やす
7　高齢者への犯罪に対して、取締りを強化する
8　高齢者と他の世代との交流を進める
9　成年後見制度(＊)など、高齢者の人権と財産を守るための制度の利用を促進する
10　高齢者のための社交場をつくる
11　わからない
12　その他（　　）

(＊)成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財産管理や契約などの法律、生活面を支える制度

障害（がい）者に関する人権についておたずねします。

問15　障害（がい）者に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

1　障害（がい）または障害（がい）者についての理解が十分でないこと
2　就職活動や職場において不利な扱いを受けること
3　施設サービスが十分でないこと
4　在宅サービスが十分でないこと
5　病院や施設で本人の意思に反して自由を制限したりすること
6　知的障害（がい）者、精神障害（がい）者等で判断能力が十分でない者に財産管理等経済生活をめぐる権利侵害があること
7　道路の段差や、駅や建物の段差などにより、外出に支障があること
8　スポーツ、レクリエーション、文化・芸術活動への参加の機会が少ないこと
9　結婚の際、周囲から反対を受けること
10　わからない
11　その他（　　）

問16　あなたは、障害（がい）者の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　障害（がい）者のための各種相談体制を充実する
2　障害（がい）者の人権を守るための啓発活動を推進する
3　障害（がい）者の就職機会を確保する
4　成年後見制度(＊)など、障害（がい）のある人の権利と財産を守るための制度の利用を促進する
5　障害（がい）のある人が、安心して外出できるように、建物の設備や公共交通機関を改善する
6　障害（がい）のある人がスポーツや文化活動などに参加しやすくする
7　障害（がい）のある人とない人との交流を促進する
8　学校教育の中で、障害（がい）者理解教育を充実する
9　病院や施設の職員の研修を充実する
10　わからない
11　その他（　　）

(＊)成年後見制度とは、判断能力が不十分な人に対して、裁判所が選んだ後見人が財産管理や契約などの法律、生活面を支える制度

問17　平成２８年４月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から１つお選びください。

1　法律の内容まで知っている
2　法律が出来たことは知っている
3　法律が出来たことを知らない

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」とは

全ての国民が、障害（がい）の有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障害（がい）を理由とする差別の解消を推進することを目的としています。

この法律では、国・地方公共団体や会社・お店などの事業者が、障害（がい）のある人に対して正当な理由がなく障害（がい）を理由とした「不当な差別的扱い」を禁止するとともに、「合理的配慮の提供」を義務化されていることなどについて規定されています。

同和問題（部落差別）についておたずねします。

問18　あなたは、同和問題（部落差別）について知っていますか。次の中から１つお選びください。

1　言葉も内容も知っている（問19にお進みください）
2　言葉は知っている（問30にお進みください）
3　知らない（問30にお進みください）

問19　あなたが同和問題（部落差別）について初めて知ったのは、いつ頃ですか。次の中から１つお選びください。

1　６歳まで
2　７歳～１２歳
3　１３歳～１５歳
4　１６歳～１８歳
5　１９歳以上
6　はっきり覚えていない

問20　あなたが同和問題（部落差別）について初めて知ったのは、誰（なに）からですか。次の中から１つお選びください。

1　家族（祖父母、父母、兄弟姉妹など）
2　親戚
3　近所の人
4　職場の人
5　友人
6　学校の授業、先生
7　テレビ、ラジオ、新聞、本など
8　人権に関する集会や研修会
9　県や市町村の広報紙や冊子
10　はっきり覚えていない
11　その他（　　）

問 21　あなたは同和問題（部落差別）の起源について、どのように受けとめていますか。次の中から１つお選びください。

1	人種（民族）が違った
2	宗教が違った
3	職業（仕事）が違った
4	生活が貧しかった
5	江戸時代の政策によってつくられた
6	わからない
7	その他（　　）

問 22　同和問題（部落差別）に関する事柄で、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

1	就職において不利な扱いを受けること
2	結婚の際、周囲から反対を受けること
3	日常生活の中での近所付き合いなどの交際を避けられること
4	職場で不利な扱いや差別的な待遇を受けること
5	学校の中で友だちから仲間はずれやいじめなどを受けること
6	インターネット上に差別を助長する表現が掲載されること
7	わからない
8	その他（　　）

問 23　あなたは、過去に実社会やインターネット上で、部落差別による被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしたことがありますか。あるいは、あなたの親族・知人が、過去に同様の被害を受けたり、反対に、部落差別に当たる言動をしたりしているのを見聞きしたことがありますか。あるとしたら、どのような場面、事例でしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

1	結婚や交際
2	就職や職場
3	戸籍（閲覧、取得等）
4	落書き、貼り紙
5	悪口
6	インターネット上の書き込み
7	同和地区名の公表
8	その他（　　）
9	覚えていない
10	そのような場面、事例はない

問24　同和問題（部落差別）に関して、インターネット上で人権侵害事例を見たことがありますか。あるとしたら、どのような内容のものでしたか。次の中から該当するものすべてお選びください。

1　個人を名指しした悪口
2　個人を名指ししない、集団に対する悪口
3　同和地区名の公表
4　差別の呼びかけ
5　その他（　　）
6　見たことがない
7　インターネットを利用したことがない

問 25　あなたは、住宅や生活環境を選ぶ際に、同和地区であった場合、避けることがあると思いますか。次の中から１つお選びください。

1　まったく気にしない（避けない）
2　どちらかといえば気にしない（避けることはない）
3　どちらかといえば避ける
4　避ける
5　わからない

問26　あなたは、結婚や就職の際に同和地区出身者であるか身元調査をすることについて、どのようにお考えですか。次の中から１つお選びください。

1　身元調査は差別につながるおそれがあるので、すべきでないと思う
2　よくないことだが、ある程度はしかたがないことだと思う
3　身元調査をすることは当然のことだと思う
4　わからない

問 27　あなたのお子さんが同和地区出身の人と結婚しようとした場合、あなたはどのように対応しますか。次の中から１つお選びください。

1　同和地区出身の人であるかないかに関係なく、子の意思を尊重する
2　自分としては反対だが、子の意思が強ければ仕方がない
3　自分としては反対しないが、家族や親せきに反対があれば、結婚は認めない
4　自分は反対であり、絶対に結婚は認めない
5　わからない

問 28　あなたが結婚しようとする相手が、同和地区出身の人であるとわかった場合、あなたはどうされますか。次の中から１つお選びください。

1　家族や親戚から反対されても自分の意思を貫いて結婚する
2　できるだけ家族や親戚の理解を得て、自分の意思を貫いて結婚する
3　家族や親戚の反対があれば、結婚しない
4　絶対に結婚しない
5　わからない

問 29　あなたは、同和問題（部落差別）を解決するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　同和問題を解決するための啓発広報活動を推進する
2　同和問題への正しい知識を身に付けるための学校教育を充実する
3　同和問題にかかる人権相談、電話相談を充実する
4　えせ同和行為(＊)を排除する
5　同和問題について、自由な意見交換ができる環境をつくる
6　インターネットを利用した差別を助長するような情報の防止対策を充実する
7　同和地区のことや差別のことなど口に出さないで、そっとしておく
8　わからない
9　その他（　　）

(＊)えせ同和行為とは、同和問題を口実として行われる不法、不当な行為や要求

問30　平成２８年１２月に、「部落差別の解消の推進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から１つお選びください。

1　法律の内容まで知っている
2　法律が出来たことは知っている
3　法律が出来たことを知らない

「部落差別の解消の推進に関する法律」とは

現在もなお部落差別が存在するとともに、情報化の進展に伴って部落差別に関する状況の変化が生じていることを踏まえ、部落差別のない社会を実現することを目的としています。

この法律では、部落差別は許されないものであるとの認識のもと、国や地方公共団体の責務や相談体制の充実、教育及び啓発、部落差別の実態に係る調査などについて規定されています。

問31　令和４年７月に、「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」が施行されました。あなたは、この条例をご存じですか。次の中から１つお選びください。

1　条例の内容まで知っている
2　条例が出来たことは知っている
3　条例が出来たことを知らない

「埼玉県部落差別の解消の推進に関する条例」とは

部落差別の解消に関し、基本理念を定め、県、県民及び事業者の責務を明らかにするとともに、部落差別の解消を総合的に推進するために必要な事項を定めることにより、部落差別の解消を推進し、もって部落差別のない社会を実現することを目的に制定された条例で、令和４年７月に施行されました。

この条例では、図書、地図その他資料の公表又は流布、インターネットの利用による情報の提供、結婚又は就職に際しての身元の調査、土地建物等を取引の対象から除外するための調査その他の行為による部落差別の禁止などについて規定されています。

外国人に関する人権についておたずねします。

問 32　日本に居住している外国人に関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から<u>３つまでお選びください。</u>

1　就職活動や職場において不利な扱いを受けること
2　年金制度などの福祉政策が、日本人と同じように適用されないこと
3　選挙権がないこと
4　アパートなどの住宅を容易に借りることができないこと
5　習慣等が違うので、地域社会で受け入れられにくいこと
6　結婚の際、周囲から反対を受けること
7　病院や公共施設に十分な外国語表記がないのでサービスが受けにくいこと
8　お店やレストランなどで十分なサービスが受けにくいこと
9　いわゆるヘイトスピーチが公然と行われていること
10　わからない
11　その他（　　）

問 33　あなたは、日本に居住している外国人の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　外国人のための各種相談体制を充実する
2　外国人の人権を守るための啓発活動を推進する
3　外国人の就職機会を確保する
4　外国人の地方参政権や行政への参画を促進する
5　日常生活に必要な情報を外国語により提供する
6　外国人の文化や伝統を尊重し、外国の人々と協調する態度をはぐくむなど国際理解教育を進める
7　地域における行事などを通じ、外国人と地域住民との交流を図り、相互理解を深める
8　わからない
9　その他（　　）

問 34　平成２８年６月に、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から１つお選びください。

1　法律の内容まで知っている
2　法律が出来たことは知っている
3　法律が出来たことを知らない

「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」（ヘイトスピーチ解消法）とは

近年、日本以外の国・地域の出身者又はその子孫で日本に適法に居住する人（本邦外出身者）を地域社会から排除することを煽動（せんどう）する「不当な差別的言動」が行われていることを踏まえ、こうした本邦外出身者に対する「不当な差別的言動」を解消することを目的としています。

この法律では、本邦外出身者に対する「不当な差別的言動」のない社会の実現のため、国や地方公共団体の責務や教育の充実、相談体制の整備、啓発活動などについて規定されています。

インターネットによる人権侵害についておたずねします。

問35　インターネットに関する事柄で、人権上、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

１　他人の身元を暴いたり、誹謗(ひぼう)中傷する表現を掲載すること
２　差別を助長する表現を掲載すること
３　出会い系サイト、ＳＮＳなどが犯罪を誘発する場となっていること
４　捜査対象となっている未成年者の実名や顔写真を掲載すること
５　わいせつ画像や残虐な画像など、有害な情報を掲載すること
６　個人情報が流出していること
７　インターネットを利用した悪徳商法の被害が起こっていること
８　わからない
９　その他（　　）

問 36　インターネット上の人権を守るためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から３つまでお選びください。

１　インターネットによる人権侵害を受けた人のための相談体制を充実する
２　インターネット利用者やプロバイダ等に対して、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるための教育・啓発を推進する
３　プロバイダに対し情報の停止・削除を求める
４　違法な情報発信者に対する監視・取締りを強化する
５　表現の自由に関わる問題であり、対策には慎重な対応が必要である
６　わからない
７　その他（　　）

性的マイノリティ（ＬＧＢＴＱ等）の人権についておたずねします。

問37　性的マイノリティ（ＬＧＢＴＱ等）の人権に関する事柄について、特に問題があると思うのはどのようなことですか。次の中から３つまでお選びください。

1　家族・友人などに理解が得られないこと
2　性的指向について差別的な言動をされること
3　本人の承諾なしに、その人の性自認や性的指向を他人に話すこと（アウティング）
4　申込用紙等に、特に必要がない性別の記入欄を設けること
5　性別で区別された制服や設備が利用しにくいこと
6　同性同士のペアに対しアパートの賃貸契約を拒否すること
7　学校や職場で嫌がらせやいじめを受けること
8　就職、仕事等で不当な扱いを受けること
9　普段の会話で「男らしい人」「女らしい人」といった表現をすること
10　同性パートナーとの関係を認める法律や制度の整備が十分でないこと
11　わからない
12　その他（　　）

問38　あなたは、性的マイノリティ（ＬＧＢＴＱ等）の人権を守るためにはどのようなことが必要と思いますか。次の中から３つまでお選びください。

1　性自認・性的指向は多様であることを教育・啓発する
2　安易に他人に性別をたずねることをひかえる
3　同性同士のペアに法律上の婚姻を認める
4　個人的に告白された性自認・性的指向について口外しないようにする（アウティング）
5　トイレや更衣室について、性別を問わず利用しやすい環境を整備する
6　必要のない性別欄を廃止する
7　相談窓口を整備する
8　わからない
9　その他（　　）

問39　令和５年６月に、「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」が施行されました。あなたは、この法律をご存じですか。次の中から１つお選びください。

1　法律の内容まで知っている 2　法律が出来たことは知っている 3　法律が出来たことを知らない

「性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に関する国民の理解の増進に関する法律」とは

性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性を受け入れる精神を涵養（かんよう）し、もって性的指向及びジェンダーアイデンティティの多様性に寛容な社会が実現することを目的としています。 この法律では、性的指向及びジェンダーアイデンティティを理由とする不当な差別があってはならないとの認識の下、性の多様性に関する国民の理解を増進するため、国や地方公共団体、事業主等が努めるべき事項について規定されています。

人権問題への取組についておたずねします。

問 40　今後、市町が人権問題の解決に向けて、取り組むべきことについて、あなたのお考えに近いものはどれですか。次の中から３つお選びください。

1　広報活動の推進 2　相談体制の充実 3　人権侵害を受けた人を救済する制度の充実 4　情報の収集・提供の充実 5　国、県、市町村、民間団体等の関係機関による連携と一体的な啓発の推進 6　幼児期から、多様な個性を認めあえる教育の推進 7　学校における人権教育の推進 8　人権にかかわりの深い職業に従事する人に対する人権啓発の充実 9　社会的に弱い立場にある人に対する支援、救済策の充実 10　必要ない 11　わからない 12　その他（　　）

問41　【自由記述欄】人権問題について考えておられることを、ご自由にお書きください。

これで調査は終了になります。ご協力ありがとうございました。

本調査票は同封の返信用封筒で、令和６年１０月３１日（木）までに、郵便ポストにご投函くださいますようお願い申し上げます。

人権意識調査報告書

発行年月：令和７年３月
発　行：北足立郡市町同和対策推進協議会